

令和5年度 研修ガイドブック



～センターは学び続ける教職員と

これからの学校を応援します～



静岡県総合教育センター

目 次

研修に際しての参考事項

I	研修の概要	-----	1
1	静岡県教員研修計画について	-----	2
2	令和5年度年間研修予定	-----	12
II	希望研修	-----	24
1	希望研修一覧表	-----	25
2	希望研修受講方法（あすなろeゼミナール含む）	-----	29
3	希望研修案内	-----	34
III	あすなろeゼミナール	-----	71
	あすなろeゼミナール対象講座一覧	-----	72
	外部研修（NITS校内研修シリーズ）の紹介	-----	75
IV	教育DX推進課主催の研修	-----	80
	教育DX推進課主催の希望研修	-----	81
V	幼稚園等の教職員等を主な対象とする研修	-----	87
1	幼児教育センター主催の希望研修	-----	88
2	幼児教育センター主催の希望研修申込方法	-----	90
3	総合教育センター等が主催する 幼稚園等の教職員等を対象とする研修	-----	91
VI	悉皆・推薦による研修	-----	92
1	教員の悉皆研修	-----	93
2	事務職員の悉皆研修	-----	101
3	推薦研修	-----	102
VII	欠席等の手続	-----	103
	欠席・変更等の手続について	-----	104
	★欠席・変更届	-----	105
VIII	学校等支援研修	-----	106
	学校等支援研修	-----	107
	各種リンク一覧	-----	108
	ICTを活用した研修プログラム一覧表	-----	109
	あすなろ学習室のご案内	-----	110
	交通案内、研修員駐車場案内		

★は様式を示しています。



■研修に際しての参考事項

1 研修受講上の配慮事項について

研修を受講する上で、特に身体的理由等による配慮を必要とする場合は、研修担当者まで御相談ください。

2 自然災害等による研修の中止等について

- (1) 研修の中止、延期もしくは開始時刻の変更（以下「中止等」という）については、気象庁及び静岡地方気象台が発表する警報、感染症の拡大状況等により決定します。
- (2) 研修の中止等の情報は、総合教育センターで決定次第、センターホームページの「お知らせ」に掲載します。
- (3) 研修の全部又は一部を中止等とした場合の代替措置等は、別途連絡します。

3 夏季の軽装化・冬季の防寒対策等について

- (1) 夏季の各研修の参加に際しては、軽装化（ノーネクタイ、ノー上着の励行）を推進しています。（ただし、講師に失礼にならないように留意してください）
- (2) 冬季の各研修の参加に際しては、各自で防寒の対応をお願いします。

4 個人情報の取扱いについて

各研修の実施に伴い、教職員の氏名、職員番号、年齢等の個人情報を取得しますが、静岡県個人情報保護条例に従い、保有する個人情報を保護するために以下のように取り扱います。

- (1) 研修の運営を円滑に行うために、取得した個人情報を基に参加者名簿等を作成します。
- (2) 取得した個人情報は、研修運営のみに利用し、いかなる第三者へも提供することはありません。
- (3) 研修中に撮影する写真は、センターの広報で使用する場合があります。御了承願います。

I 研修の概要

静岡県教育委員会は、教育公務員特例法に基づく「静岡県教員研修計画」を策定しています。この計画は、法の趣旨に則り策定された「静岡県校長育成指標」「静岡県教員育成指標」に基づき、静岡県公立学校の校長及び教員等の研修の方針等について定めたもので、静岡県の教員研修は、「静岡県教員研修計画」に拠り、行われます。本研修ガイドブックに掲載されている研修は勿論、静岡県教育委員会が実施する各教員研修は、「静岡県教員育成指標」に示す五つの資質能力と四つのキャリアステージに基づいて策定されています。

また、教育行政職員については、「教育行政職キャリア・デベロップメント・プログラム」、小中学校事務職員については、「公立小・中・義務教育学校事務職員キャリアプラン」に基づき、研修を実施します。

一人一人の教職員は、自らの資質能力の発揮・向上を目指し、研修に取り組むことになります。

1	静岡県教員研修計画について	-----	2
2	令和5年度年間研修予定	-----	12

1 静岡県教員研修計画について

(1) 策定の背景

教育公務員特例法の一部改正に伴い、任命権者に、教員研修計画の策定が義務付けられました。本県においても、平成 29 年 11 月に策定され、令和 4 年 3 月に改訂された「静岡県校長育成指標」「静岡県教員育成指標」に基づき、本県公立学校（政令市立学校を除く）の校長及び教員等が、教職人生を通して、学び続けることができるよう、体系的かつ効果的に研修を実施するための「静岡県教員研修計画」を策定しました。

(2) 対象

「静岡県教員研修計画」は、校長及び教員等※を対象とした計画です。

※「教員等」とは、副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、任期付教員、栄養職員、実習助手、寄宿舎指導員、臨時的任用教育職員、会計年度任用教員を指す。

(3) 研修実施の基本方針

「静岡県教員研修計画」の策定に際し、静岡県教育委員会では、以下の基本方針を定めました。これは、静岡県教育振興基本計画の計画期間（令和 4～令和 7 年度）を見通した、本県の教員研修が向かっていく方向といえます。

ア 基本的な考え方

- (ア) 誰一人取り残さない教育を実現し、「有徳の人」づくりに資する研修を実施します。
- (イ) 「校長育成指標」「教員育成指標」に基づいた研修を実施し、キャリアステージごとに示された資質能力の向上を支援します。
- (ウ) 研修実施に当たっては、他の研修と重複がないよう内容を整理するとともに、効果的かつ効率的な方法で実施します。

イ 具体的方策

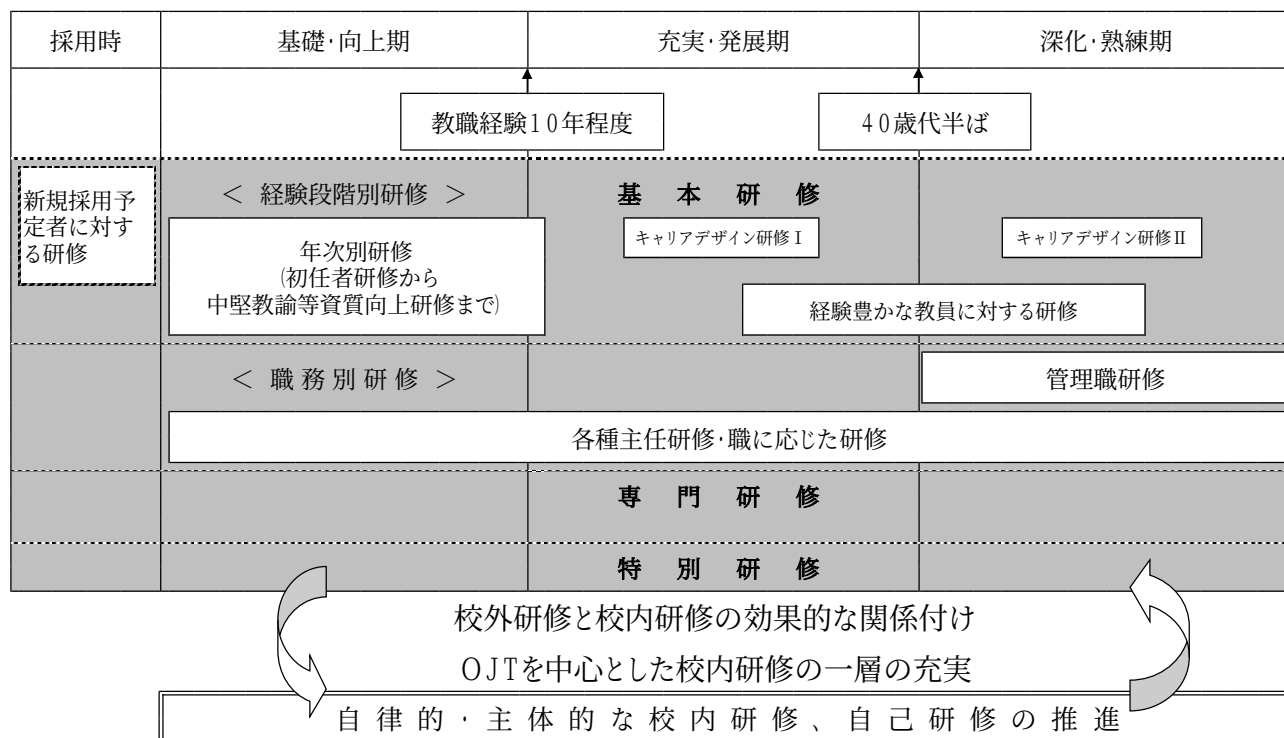
- (ア) 個別最適な学び、協働的な学び、時代の変化に対応した学びを実現するための研修を実施します。
- (イ) キャリアステージに応じた資質能力の向上に資する研修を実施します。
- (ウ) 研修の性質に応じた研修実施方法の選択や研修成果を実践と往還させることで研修効果の向上を図るなど、効果的・効率的な方法で研修を実施します。
- (エ) 研修の高度化、幅広い研修機会を提供するため、関係機関と連携・協働します。

以上の方針により、各研修の質的向上と負担軽減を図ることで、本県の教員は、誰もが「学び続ける教員」を目指し、その職責を果たしていくことになります。

新学習指導要領の実施や新型コロナウイルスの影響による社会の急激な変化に対応するため、今、本県の教員研修が大きな変わり目を迎えています。

予測困難な時代の中でも、子供たちに信頼され、一人一人の夢の実現へと導くために必要な資質能力や社会環境の変化に適時適切・柔軟に対応するために必要な資質能力の向上を図る研修を実施します。

(4) 教員研修体系



○基本研修：経験段階別研修、職務別研修

○専門研修：授業力に関する専門研修、生徒指導力に関する専門研修

教育業務遂行力に関する専門研修、組織運営力に関する専門研修

○特別研修：長期研修、実務研修、海外派遣研修、民間企業等長期派遣型研修、青年海外協力隊、日系社会青年ボランティア、大学・大学院派遣研修、教職大学院派遣研修 等

(5) 学び続ける教員を目指して

教員の資質能力の発揮・向上のためには、教員個々が理想の教員像を持ち、教員人生を通して学び続ける姿勢を持ち続けるとともに、教員のキャリアステージに応じた資質能力の向上のために目標を立て、その実現に向けて自己の研鑽に取り組むことが重要です。

また、教員の自己実現に向けて効果的、効率的な研修体系を構築することが必要となります。

(6) 令和5年度新規研修及び主な充実・改善研修

＊「静岡県教育振興基本計画(2022→2025)」の各重点取組に沿って整理しています。

ア 重点取組1 「知性」・「感性」を磨く学びの充実

- ・個別最適な学び・協働的な学び・探究的な学びの深化
- ・ICT等の活用による新たな学びの展開
- ・乳幼児の教育・保育の充実

新規	研修名	区分	内容等	研修主催者
○	家庭科授業づくり研修 (小・中)	希望	大学教授の講義や演習を通じて、成人年齢引き下げに対応した消費者教育やグローバル化した社会の中で地域の生活文化の良さを体感する授業づくりの方法を学ぶ。	総合教育センター (小中学校支援課)
	高等学校数学科授業づくり基礎研修	希望	教育データの活用も視野に、数学Bの「統計的推測」に焦点を当て、統計分野の指導力を向上させる。	総合教育センター (高等学校支援課)
○	英語教員のためのCAN-DOテスト作成研修	希望	授業力の向上に資するテスト作成力の向上を図るための研修をオンラインにて実施する。	総合教育センター (高等学校支援課)
	STEAM教育基礎研修	希望	幅広い教員が受講できるようオンライン化し、STEAM教育の概念、授業づくりの視点の手掛かりを得られるようにする。	総合教育センター (高等学校支援課)
	総合的な学習の時間(小中学校初任者研修)	悉皆	総合的な学習の時間の目標や基本的な内容を理解し、児童生徒の主体性を重視した横断的・総合的な学習や探究的な学習を指導する力を養う。	総合教育センター (小中学校支援課)
	総合的な探究の時間(高等学校初任者研修)	悉皆	総合的な探究の時間における学習指導の基本的な考え方と学習過程の理解を図り、総合的な探究の時間を中心としたカリキュラム・マネジメント、「考えるための技法」を活用した授業の実践ができる力を養う。	総合教育センター (高等学校支援課)
○	探究学習担当研修会	悉皆	探究学習の組織的な運営方法と各学校の教育目標を踏まえた総合的な探究の時間を軸としたカリキュラム・マネジメントを推進する資質向上を図る研修を実施する。	高校教育課
○	「総合的な学習の時間」における探究的な授業づくり研修	希望	「総合的な学習の時間」の充実に向け、探究的な学習を推進するために必要な資質能力を育む研修を実施する。	教育政策課 (人権・教員育成班)
	探究指導者養成研修(課題設定編)-高等学校魅力化につながる総合的な探究の時間の充実に向けて-	希望	「探究指導者養成研修-総合的な探究の時間の充実に向けて-」を充実させ、「探究指導者養成研修(課題設定編)」 「探究指導者養成研修(調査・分析編)」の2つの研修に分けて実施する。	総合教育センター (高等学校支援課)
○	探究指導者養成研修(調査・分析編)-高等学校魅力化につながる総合的な探究の時間の充実に向けて-	希望	「総合的な探究の時間」における単元構想、探究の指導方法についてより理解を深めるため、データサイエンスやファシリテーションの考え方を研修に取入れ、総合的な探究の時間を推進する教員の育成を目指す。	総合教育センター (高等学校支援課)
○	特別支援教育における1人1台端末を活用した学びの充実	希望	特別な支援を必要とする子どもの多様性を考慮した1人1台端末の活用について、基本的な考え方や方法を理解するための研修を実施する。	総合教育センター (特別支援課)
	GIGAスクール構想とICT機器を活用した授業づくり研修(入門編)	希望	「総合的な学習の時間」でのICTを活用した探究的な学習を基に、各教科等におけるICTを活用した効果的な指導の向上を図る。	総合教育センター (小中学校支援課)
	個別最適な学びと協働的な学び実現に向けたICTの活用(発展編)	希望	基礎編の考え方を元に、大学教授による講義演習を通じて、ICTを活用した個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業実践をテーマにした研修を実施する。	総合教育センター (総務企画・ICT推進課)
	ICT活用研修(入門編)	希望	東部会場(三島長陵高校)を追加	教育DX推進課
	ICT活用研修(基礎編)	希望	東部会場(三島長陵高校)を追加	教育DX推進課
	ICT活用研修(実践編)	希望	東部会場(三島長陵高校)を追加	教育DX推進課
	新しい時代に向けたICT活用研修	希望	東部会場(三島長陵高校)を追加	教育DX推進課
	幼児理解研修	希望	幼児期の子供たちの表れの効果的な見方を学び、幼児理解をより深める。	義務教育課 (幼児教育センター)
	幼小接続期の教育・保育研修	希望	幼児教育と小学校教育の連携について理解を深め、円滑につなげるための連携の在り方について考える。	義務教育課 (幼児教育センター)

- イ 重点取組２ 「技芸を磨く実学」の奨励
- ・社会的・職業的自立に向けた教育の推進
 - ・スポーツに親しむ環境づくりと健康教育の推進
 - ・多彩で魅力的な文化・芸術の創造・発信
 - ・地域資源の活用と未来への継承

新規	研修名	区分	内容等	研修主催者
	工業科教員のための技術力・指導力向上研修	希望	テーマを電子回路組立に変更し、授業改善に必要な技術力、授業力の向上のための知識と技術を身に付けられるようにする。	総合教育センター (高等学校支援課)
	栄養教諭２年次研修	悉皆	栄養教諭として教科等における食に関する指導の授業力向上を図るため、指導案検討及び授業実践・研究協議など実践的な研修内容を取り入れる。	健康体育課 (健康食育班)

ウ 重点取組３ 学びを支える魅力ある学校づくりの推進

- ・高等学校等の魅力化・特色化
- ・教職員の資質向上及び学校マネジメント機能の強化
- ・教職員の働き方改革の推進
- ・学校施設等の安全・安心の確保

新規	研修名	区分	内容等	研修主催者
	新任校長研修	悉皆	学校における最高責任者としての自覚を高めるとともに、必要な知識・技能について理解を深めることにより、校長に求められる資質能力の向上につながるよう研修内容を検討する。	静東教育事務所 静西教育事務所
	新任教頭研修	悉皆	教頭としての自覚を高めるとともに必要な知識・技能について理解を深めることにより、教頭に求められる資質・能力の向上につながるよう研修内容を検討する。	静東教育事務所 静西教育事務所
	新任教務主任研修	悉皆	教育計画、学校運営及び教育法規に関する講義・演習を通して、教務主任としての自覚と資質の向上につながるよう内容を検討する。	静東教育事務所 静西教育事務所
	研修主任研修会	悉皆	子供の学びを支える校内研修推進者としての意欲向上と資質向上を目指し、今年度の指導訪問や研修主任研修会のアンケート結果等を踏まえ、研修内容を見直す。	静東教育事務所 静西教育事務所
	任期付職員等研修会	希望	研修員のアンケートに基づいて、困り感やニーズをつかみ、授業づくりや生徒指導を柱に実践的な研修内容を取り入れていくように改善する。	静東教育事務所 静西教育事務所
	キャリア教育研修会	悉皆	校内での全職員によるキャリア教育推進体制の構築を目指し、参加者の検討を行う。	静東教育事務所 静西教育事務所
	公立高等学校生徒指導主事研修会	悉皆	前年度の中央研修に参加した生徒指導主事の報告により、いじめ問題への理解を深め、各学校におけるいじめの未然防止や早期発見・対応につなげる。	高校教育課
	公立高等学校特別支援教育コーディネーター研修会	悉皆	特別支援学校のセンター的機能を活発に活用することにより、各学校において発達障害等のある生徒への支援につなげていく。	高校教育課
	特別支援学校部主事研究協議会	悉皆	特別支援学校の部主事として学部経営に必要な資質向上を図るため、学校組織マネジメント、働き方改革に関する内容を取り入れる。	特別支援教育課
	子どもの「学びに向かう力」を支える非認知能力涵養研修	希望	基礎向上期の教員が、非認知能力について理解を深め、教育活動を通じて、児童・生徒の非認知能力を向上させる方策を学ぶことができるようオンラインで実施する。	総合教育センター (総務企画・ICT推進課)
	各年次別研修及びキャリアデザイン研修Ⅰ・Ⅱ	悉皆	すべての年次別研修において、コンプライアンス意識の向上に係る内容を導入する（メニュー化が困難な場合は動画（教育総務課作製）の視聴を課す）	教育総務課・義務教育課・高校教育課・特別支援教育課・総合教育センター
	相談員研修	悉皆	教職員の不祥事根絶のため、学校運営の中核となる教員を対象とした倫理観や使命感の高揚を図る研修である。	教育総務課
	不祥事防止研修～犯罪心理学の視点から～	希望	教職員の不祥事根絶のため、管理職を対象とした臨床心理士の視点を踏まえた研修である。	教育総務課

○	マネジメント講座 1 - 危機管理と労務管理 -	悉皆	労務管理に加え、危機管理については分科会を設け、それぞれの課題に応じて選択し、管理職に必要な管理運営能力の向上を図る。	総合教育センター (研修課)
	ライフプラン講習会	希望	45 歳、55 歳、59 歳を対象としていたが、30～40 歳台、50 歳台～定年、退職直前とし、より幅広い年齢層に情報提供を可能とする。	教育厚生課
	マネジメント講座 9 - 教職員のための勤務・服務 -	希望	全講義・演習をオンラインで実施する。	総合教育センター (研修課)
	マネジメント講座 10 - 学校事故と情報公開 -	希望	全講義・演習をオンラインで実施する。	総合教育センター (研修課)

エ 重点取組 4 多様性を尊重する教育の実現

- ・人権を尊重する教育の推進と人権文化の定着
- ・多様な課題に応じたきめ細かな支援
- ・特別な支援が必要な児童生徒への教育の充実
- ・外国人県民・外国人児童生徒への教育の充実

新規	研修名	区分	内容等	研修主催者
	人権課題を「知る」「見つめる」「感じる」研修	希望	学校現場で必要となる人権感覚について校種を越えて幅広い視野で学ぶことができるよう、オンライン化により受講環境を整備する。	総合教育センター (高等学校支援課)
○	多様性を認め合う学級づくり実践研修	希望	性別や障がいの有無、社会的出身や国籍、人種、民族及び考え方の違いなどを乗り越え、子どもたちが多様性を認め合う学級づくりに資する研修を実施する。	教育政策課 (人権・教員育成班)
	ヤングケアラー支援のための資質向上研修	希望	ヤングケアラーの実態について理解を深めるとともに、早期発見及び適切な支援に繋げる方法等について取り上げ、学校における支援体制の充実を図る。	総合教育センター (総務企画・ICT 推進課)
	集団における「気になる子」の理解と効果的な支援 — 教育相談的な視点から —	希望	不登校背景要因の一つにヤングケアラーを取上げ、ヤングケアラーについての理解を深めることができるように研修を設計した。	総合教育センター (教育相談課)
○	いじめに対応する学校づくり推進研修	希望	いじめの未然防止、早期発見、早期対応に対応する学校づくりに資する研修を実施する。	教育政策課 (人権・教員育成班)
	学級経営力向上研修	希望	全講義・演習をオンライン化する。	総合教育センター (高等学校支援課)
	教育相談スキルアップ研修 1 - 信頼関係を築く教育相談の基本姿勢 -	希望	教育相談（カウンセリング）に関する研修を 3 段階に分類し、経験に応じて受講できるように整理した。また、この研修は e ラーニングと集合研修を合わせたベストミックス型で実施する。	総合教育センター (教育相談課)
	教育相談スキルアップ研修 2 - 明日から使える学校カウンセリングスキル -	希望	教育相談（カウンセリング）に関する研修を 3 段階に分類し、経験に応じて受講できるように整理した。	総合教育センター (教育相談課)
	教育相談スキルアップ研修 3 - 保護者との効果的な教育相談 -	希望	教育相談（カウンセリング）に関する研修を 3 段階に分類し、経験に応じて受講できるように整理した。なお、この研修にはいじめ初期に対応できるよう、いじめ初期の保護者対応を想定したロールプレイを盛り込む。	総合教育センター (教育相談課)
	通級指導教室担当者研修会	希望	通級指導教室担当者の指導力向上や市町等からのニーズを踏まえ、発達通級、言語通級の二つの研修会に分けて実施する。	義務教育課 (指導班)
	新任特別支援学級担任・通級指導教室担当研修	悉皆	子供の特性に応じた支援の充実を図るため、子供自身及び担当教員等の困り感に対応した演習や事例紹介を取り入れる。	静東教育事務所 静西教育事務所
○	特別支援教育における 1 人 1 台端末を活用した学びの充実（再掲）	希望	特別な支援を必要とする子どもの多様性を考慮した 1 人 1 台端末の活用について、基本的な考え方や方法を理解するための研修を実施する。	総合教育センター (特別支援課)
○	重度知的障害のある子どもの理解と指導	希望	重度知的障害のある子どものアセスメントに関する知識・技能を身につけるための研修を実施する。	総合教育センター (特別支援課)

	子どもの困難さへのアプローチ～発達を支える指導の充実～	希望	発達障害を含む困難さを抱えた児童・生徒への対応についてより多くの先生方が理解できるようにするため、集合とオンライン同時配信のハイブリッド型で実施する。	総合教育センター (特別支援課)
	知的障害のある子どもの国語・算数(数学)	希望	特別支援学校、特別支援学級等で知的障害の教育課程で学ぶ児童生徒の指導にあたる教員を幅広く支援するために、集合とオンライン同時配信のハイブリッド型で実施する。	総合教育センター (特別支援課)

オ 重点取組5 グローバル・グローバル人材の育成

- ・国際的な学びと地域学の推進
- ・優れた才能や社会に貢献する力を伸ばす教育の充実
- ・地域産業を担う人材の育成
- ・自他の安全を守るために適切な判断・行動のできる人材の育成
- ・環境保全と経済活動の両立を支える人材の育成

新規	研修名	区分	内容等	研修主催者
	SDGs教育推進研修	希望	SDGsスクールアワードと連携し、外部講師による講演を実施するほか、県内学校の実践発表を取り入れる。	総合教育センター (総務企画・ICT推進課)
○	教員向け消費者教育実践講座	希望	消費者教育を推進し、児童生徒に消費者トラブルを回避したり、問題を解決したりすることができる資質能力の育成に繋がる研修を実施する。	県民生活課 教育政策課 (人権・教員育成班)

カ 重点取組6 高等教育の充実

- ・高等教育機能の教科
- ＊公立大学法人が推進する教育・研究活動や大学と企業、高等学校等との連携により推進する。
- また、「ふじのくに地域・大学コンソーシアム」の取組への支援等により推進する。

キ 重点取組7 生涯を通じた学びの機会の充実

- ・全世代に対する学びの機会の充実
- ・誰もがともに学ぶことのできる機会の充実
- ＊生涯学習や社会教育を推進する人材の養成や資質向上、市町や関係機関と連携した多様な学習
- 情報の提供、県民が図書館を利用しやすい環境の整備等により推進する。

ク 重点取組8 社会とともにある開かれた教育行政の推進

- ・社会全体の意見を反映した教育行政の推進
- ・市町と連携した教育行政の推進
- ＊「ふじのくに「有徳の人」づくり大綱」及び「静岡県教育振興基本計画」の進行管理や、「静岡県総合教育会議」における社会の変化に対応した教育施策についての協議・調整、教育に関する情報の積極的な広報、各市町の主体的な取組への支援等により推進する。

ケ 重点取組9 地域ぐるみの教育の推進

- ・学校・家庭・地域の連携推進
- ・家庭や地域における教育力の向上

新規	研修名	区分	内容等	研修主催者
	地域とともにある学校づくり研修 ～「社会に開かれた教育課程」の実現を目指して～	推薦	小中学校の教員を対象に地域と学校が連携・協働する意義や、「社会に開かれた教育課程」を実現するための具体的方策を静岡県に縁のある講師から学ぶ。	総合教育センター (総務企画・ICT推進課)

「有徳の人」を育み、誰一人取り残さない教育を実現するため、
生涯を通じて学び続け、子供たちの伴走者として夢の実現へと導く教員の育成を目指す

キャリア ステージ	採用時	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期
	○教育に対する真摯な姿勢を持つとともに、求められる資質能力の基盤を形成しようと努める。	○他者との関わりや仕事上の経験を経て、教員としての資質能力の向上を目指す。 ○様々な学校の異動を経験する中で、視野を広げる。	基礎・向上期に身に付けた力に加え、 ○自らの立場や役割を自覚して学校運営に参画し、ミドルリーダーとしての資質能力の向上を目指す。 ○教員としての幅をさらに広げ、自己の強みを確かなものにする。	充実・発展期に身に付けた力に加え、 ○指導的な立場として、学校運営のサポート役や校内の人材育成の推進役を務めるとともに、専門性をより深め、自らの描いた理想とする教員像の実現を目指す。 ○学校運営をリードする立場として、組織的に教育活動を推進する体制を構築する。
資質能力	キャリアステージに応じて、実践・省察・改善を繰り返しながら、必要な資質能力を身に付ける			
教育的素養・総合的人間力	○教職人生を通して、教育者としての使命感、倫理観・人権意識、社会性、教育に対する誇りを持ち、新しい知識・技能を学び続け、子供への共感・理解や教育的愛情の涵養、信頼関係の構築を図っている。 ○教職人生を通して、真摯に学び続ける姿勢と自律心、変化を恐れぬ積極性とリーダーシップを持ち、広い視野と社会環境への理解を基に地域社会と関わり、豊かな人間性の向上を図っている。 ○「才徳兼備」の人づくりを担う一人として、常に児童生徒の模範となるよう行動している。			
授業力 授業づくりに関わる力	○学習指導要領の趣旨を踏まえ、指導内容や指導方法（ICTを活用した指導方法含む）について理解し、実践しようとしている。 ・教科領域専門性 ・児童生徒の実態把握 ・授業構想・授業展開 ・個に応じた指導 ・ICT・教育データを活用した指導 ・評価・改善 など	○児童生徒の実態把握を的確に行い、主体的・対話的で深い学びを実現するため、個別最適な学びや協働的な学びのある授業を実践している。 ○幼小中高の学びの継続性及び教科等横断的な視点を持った授業を実践している。 ○各教科等と地域の人的・物的資源をつなげ、学習成果を高める授業を構想し、ICTを効果的に活用し展開している。	○児童生徒個々の特性に合わせ、主体的・対話的で深い学びを実現するため、個別最適な学びや協働的な学びのある授業、幼小中高の学びの継続性と教科等横断的な視点を持った授業の実践を深めている。 ○専門性を高めるために得意分野の伸長を図り、同僚に対する指導・助言を行っている。 ○地域の人的・物的資源を有効活用し、高い学習効果を上げる授業を構想し、ICTを効果的に活用し展開している。	○変化を恐れぬ積極性とリーダーシップを持ち、授業力向上のための体制づくりに参画している。 ○自己の確かな実践に基づき、学校・家庭・地域の実態や特性等を踏まえ、児童生徒の資質能力を伸ばすためにICTの効果的な活用等、必要な指導計画の策定とその実践をリードしている。 ○同僚に的確な指導・助言を行い、効果を上げている。
生徒指導力 児童生徒理解を深め、健全な成長を支援する力	○児童生徒の発達等に関する知識を得ることや、多様な児童生徒と接する経験を持つことなどを通して、児童生徒理解に努めるとともに、人権尊重の意識を深めている。 ・児童生徒理解・学級経営 ・生徒指導（ICT・教育データの活用） ・特別支援教育 ・ユニバーサルデザインの視点の共有・人権教育 ・キャリア教育・SDGs ・保護者・地域・外部と連携した指導 ・グローバル人材の育成 など	○児童生徒一人一人に寄り添い、個々の特性に応じた発達を促すとともに、発達段階に即して好ましい人間関係をつくれるよう、地域や外部関係者と連携して支援している。 ○保護者等との信頼関係を基盤とした個に応じた指導・支援に取り組んでいる。 ○特別支援教育の対象となる児童生徒一人一人に応じた指導計画を作成するとともに、合理的配慮を踏まえた的確な指導を行っている。	○児童生徒一人一人を取り巻く環境を的確に捉え、理解を深めるとともに、よりよい集団づくりを促進し、個々の資質能力を最大限発揮させるための環境づくりに努めている。 ○外部機関と連携し、主体的・組織的に生徒指導に取り組んでいる。 ○特別支援教育に関わる専門性を高めるとともに、自らの実践を通して、同僚への指導・助言を行っている。	○児童生徒一人一人について、教職員相互の理解・支援を促進するために組織や地域・外部関係者に働き掛け、学年・学校全体として生徒を支援する機能の充実を図っている。 ○外部機関と連携して組織的な生徒指導を推進し、指導・助言を行っている。 ○児童生徒の社会的自立を目指す特別支援教育について、組織的に教育活動の改善を図っている。
教育業務遂行力 授業力、生徒指導力以外の専門的な力	○教員の仕事の全体像を認識し、教育に携わる者として、社会の変化や様々な教育課題等について関心と知識を持っている。 ・様々な教育課題（社会の変化、継続的な業務改善、校務におけるICT・教育データ活用等）への対応 ・管理（安全対策、保健管理、栄養・衛生管理） など	○様々な教育課題に対応するため必要な知識・技能を習得し、実践するとともに、常に改善意識を持って取り組んでいる。 ○常に安全確保に取り組み、危険を察知した際の報告・連絡・相談、事故等への対応、再発防止の実施が迅速にできている。	○様々な教育課題を速やかに把握し、率先・協働して改善・解決するとともに、同僚への指導・助言を行っている。 ○危険を予測した未然防止の取組、事故等への適切な対応、事後の検証と再発防止が、同僚と協働して組織的にできている。	○様々な教育課題に対して模範となる実践を行うとともに、学校全体を見据えて、魅力ある学校づくりを推進している。 ○危険の未然防止や事故等の再発防止のための体制整備を組織的に推進するとともに、適切な指導・助言を行っている。
組織運営力 組織目標を達成するために必要な力	○組織の一員としての自覚と責任、自ら進んで課題を発見し解決しようとする姿勢、聴く力や読み解く力などコミュニケーション力を身に付けている。 ・対話・協働・信頼 ・コミュニケーション・ファシリテーション ・課題解決、危機管理 ・コミュニティ・スクール活用 ・ICT・教育データ活用 ・人材育成 など	○組織の一員として、学校経営計画の実現に向け、他の教職員と協働して自らの役割に課せられた責任を果たしている。 ○組織運営について先輩教職員から学ぶとともに、後輩のよき相談役となっている。	○学校経営計画の実現のための取組を、ミドルリーダーとして同僚に働き掛けて協働的に進めている。 ○教職員間の信頼に基づき、多様な意見を尊重して、リスク回避に努め、組織的な学校改善を推進している。	○学校運営上の課題を適時・的確に分析し、その解決のために指導的な立場で参画している。 ○チームとしての学校として協働的な組織体制・信頼体制の構築を主導的に推進している。危機管理を徹底させている。 ○人材育成の重要性を踏まえ、自らの経験・スキルを率先して後進に伝えている。

静岡県校長育成指標～校長に求められる資質能力～

「有徳の人」を育み、誰一人取り残さない教育を実現するため、
学校の最高責任者として変化を恐れない積極性とリーダーシップを発揮し、
魅力ある学校づくりを推進する校長の育成を目指す

資質能力	項目	具体的行動例
学 校 分 析 ・ 企 画 ・ ビ ジ ョ ン の 実 現 す る 力	教職員、児童生徒、保護者、地域等に共有される学校経営のビジョンを示し、その実現のために、社会に開かれた教育課程を編成し、魅力ある学校づくりにリーダーシップを発揮し取り組んでいる。	
	情報の収集と課題等の把握（アセスメント能力）	○学校の実態（児童生徒の学習・生活、保護者・地域からの期待、地域社会の環境等）に関する情報を広く収集し、学校経営に関する課題等を的確かつ継続的に把握している。
	ビジョンの構築と共有	○社会の動向や国、県、市町村の教育施策及び地域の期待や学校の実態を踏まえ、学校経営のビジョン（例：スクール・ポリシー、グランドデザイン等）を構築し、カリキュラム・マネジメントに反映させ、校内外（全ての教職員、児童生徒、保護者、及び地域等）と共有している。
	必要な諸資源の把握とその活用（ファシリテーション能力）	○教育内容や時間を適切に配分し、地域の教育力をカリキュラムに取り入れた魅力ある教育活動を計画的に推進している。 ○コミュニティ・スクール等を通して、地域、他機関や家庭と渉外・調整を行い、必要な人的・物的な資源を活用し、協働体制を構築している。
	ビジョンの実現に向けた評価・点検及び改善	○ビジョンを明確に示し、実現に向かって、目標を具現化し、共有を図っている。学校全体でPDCAサイクルを確立し、教育効果を高めようと努めている。
管 理 運 営 力	児童生徒の実態や個々の教職員の状況を把握しながら、校務分掌等の組織をチームとして編成し、教育活動が計画的・効果的に行われるようにしている。	
	学校運営体制の確立	○チーム学校としての考え方を踏まえ、リーダーとして学校業務の改革・改善、外部機関との連携・外部人材の活用を図る等、教育活動が計画的・効果的に行われる体制を構築している。
	危機管理体制の確立	○幅広い危機管理の認識の下、リスクマネジメントの徹底に努めている。 ○児童生徒と教職員が、安全・安心な環境の中で教育活動に取り組めるように、情報収集力を高め、現状を分析し、その後の予測を立てた上で、関係機関と連携し、適切に判断している。 ○「命を守る教育」や危機管理を意識した組織的な活動を推進できるような体制を構築している。
	施設管理・事務管理	○施設・設備の管理、会計処理、事務手続き等、学校事務に關して的確に把握するとともに適切に指導をしている。
	教職員の勤務・サービスの管理・監督	○教職員の勤務状況及び心身の健康状態等を的確に把握し、適切なサービス監督と人事管理に努めている。
人 材 育 成 力	教職員としての資質向上を支援するための体制づくり、環境づくり、人づくりを教職員の互いの協力を促しながら行っている。	
	教育活動活性化への体制づくり	○より質の高い教育活動を実現するために、教職員が意欲的に新たな指導方法等を学び続けることができる体制を構築している。
	働きやすい職場環境づくり	○教職員の間、心理的安全性の高い、公正・公平の姿勢・態度、信頼・協働の関係が定着するような環境をつくっている。
	各教職員に対する理解・支援・育成	○教職員一人一人の資質能力やキャリア形成等を的確に把握するとともに、それぞれの背景・個性・考え方を理解した上で、指導・助言をしている。 ○教職員のキャリアステージを考慮し、校内での適材適所の人材配置をしている。

- ※ 静岡県教育委員会のホームページには、「静岡県教員研修計画」が掲載されています。
 (静岡県総合教育センターのホームページにもリンクがあります。)
 令和5年度に実施する全ての研修について、該当するキャリアステージ及び資質能力を確認することができます。



研修・講座	研修
・研修管理システム、eラーニング、Web聴講 ・研修の概要 ・高等学校年次別研修 ・希望研修	子どもの未来を語り、教育実践者としての資質・能力・識見を高めることを目的として、研修を行っています。 センターで実施する研修については、「令和5年度静岡県教員研修計画」に基づき策定されています。各研修の該当するキャリアステージ及び資質能力はこちらで確認できます。 ・令和5年度 教員研修計画（県教育委員会HPへリンク）



県教育委員会の
ホームページへ
リンクします

令和5年度 静岡県教員研修計画 静岡県教育委員会	目 次 はじめに 第1章 静岡県の教員に求められる資質能力..... 2 1 教育の基本目標..... 2 2 教育の現状と課題..... 2 3 求める教員像..... 3 (1) 静岡県教員育成指標 (2) 静岡県校長育成指標 ～校長に求められる資質能力～ 第2章 教員研修の実施方針..... 6 1 研修実施の基本方針..... 6 (1) 基本的な考え方 (2) 具体的な方策 2 研修区分..... 10 (1) 校外研修 (2) 校内研修 3 研修体系..... 10 4 研修の評価..... 11 (1) 評価の目的 (2) 目的・目標設定上の視点 (3) 研修員に対するアンケート調査 (4) 研修主催者による研修評価 (5) 追跡調査 5 研修を奨励するための方策..... 11 (1) 研修受講環境の整備 (2) 研修情報の提供 (3) 政令市立小中学校、市立高等学校、私立学校との連携 6 研修履歴を活用した対話に基づく受講奨励..... 12 (1) 研修履歴の記録の目的 (2) 対象となる教員等の範囲 (3) 研修履歴の記録の範囲 (4) 研修履歴の記録の内容 (5) 研修履歴の記録の方法 (6) 研修履歴の記録の時期 (7) 研修履歴の記録の閲覧・提供 (8) 対話に基づく受講奨励の方法・時期
--	---

活用してください！センターホームページ

静岡県総合教育センターのホームページには、研修案内、授業のアイデア、特別支援教育、生徒指導、生涯学習、情報教育、進路指導、教育相談など、豊富な情報を掲載しています。

日頃の実践のヒントが、きっと見つかります！

<https://www.center.shizuoka-c.ed.jp/>

右の二次元コードからもアクセスできます。



センターホームページに掲載されている動画の一例です。

是非御覧ください。

動画タイトル	内容	二次元コード
「ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業づくり」リーフレットの活用推進	特別支援教育推進用 リーフレットの内容に関する解説と講義の動画	
ケース会議で活用する「A-Pシート」の活用推進	教育相談用 「A-Pシート」の内容に関する解説と講義の動画	
「主体的・対話的で深い学び」実現のためのマイクロ・コンテンツ集	「主体的・対話的で深い学び」実現に向けた授業づくり	

令和5年度年間研修予定 4月

						1 (土)	2 (日)
センター主催							
本庁等主催							
	3 (月)	4 (火)	5 (水)	6 (木)	7 (金)	8 (土)	9 (日)
センター主催							
本庁等主催	新規採用教職員辞令伝達式<静西>				市町教育長連絡協議会<静西>		
	10 (月)	11 (火)	12 (水)	13 (木)	14 (金)	15 (土)	16 (日)
センター主催	新採研 (小・中・司) I 期	新採研 (小・中・司) I 期	新任校長研修 (高・特)				
本庁等主催	教務主任連絡協議会<特支>				初任研指導教員研修会/【オンライン】<静西> SC・SSW活用事業連絡協議会<静西>		
	17 (月)	18 (火)	19 (水)	20 (木)	21 (金)	22 (土)	23 (日)
センター主催	高校体育主任研修会	公立高校研修主任研	新任校長研修 (小・中) (一日目)	新任校長研修 (小・中) 静西 (二日目)			
本庁等主催	公立小中学校長会<静西>	幼稚園等初任者研修指導員研修会<義務>			公立学校新任学年主任連絡会<特支> トータルサポート<静西>		
	24 (月)	25 (火)	26 (水)	27 (木)	28 (金)	29 (土)	30 (日)
センター主催		新任校長研修 (小・中) 静東 (二日目)【ブラサヴェルデ】			高校任期付教員研	昭和の日	
本庁等主催		新任特別支援学級担任・通級指導教室担当者研 I 期<義務> (静西)	市町教委生徒指導担当者連絡会議<静西>	共同学校事務室長等会議<静西>			
	その他日程						
センター主催							
本庁等主催	道徳教育研修【オンデマンド (4/25-7/29)】						

令和5年度年間研修予定 5月

	1 (月)	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	7 (日)
センター主催	前期第1回高等学校教育課程研究委員会		憲法記念日	みどりの日	こどもの日		
本庁等主催		教育課題講習会＜静西＞					
	8 (月)	9 (火)	10 (水)	11 (木)	12 (金)	13 (土)	14 (日)
センター主催	新任教頭研修 (小・中) (一日目)	第1回初任研 (特) 新任教頭研修 (小・中) 静西 (二日目)	第1回初任研 (高) 公立高校教諭 (実習) 初任研			高校会計年度任用職員研	
本庁等主催		第1回新規採用寄宿舎指導員研修＜特支＞ 第1回新規採用自立活動教諭研修＜特支＞		学校体育主任研＜健体＞			
	15 (月)	16 (火)	17 (水)	18 (木)	19 (金)	20 (土)	21 (日)
センター主催	教育キャリア開発セミナー共通	新任副校長・教頭研修 (高・特)	新任教頭研修 (小・中) 静東 (二日目)【ブラサヴェルデ】 第1回6年次研 (高)	第2回初任研 (小・中) 静東【沼津市民文化センター】	2年次研 (特) 生徒指導研究協議会静西		
本庁等主催	新任教務主任研修会＜静西＞	水泳実技指導協力者派遣会議＜健体＞		研修主任研修会＜静西＞			
	22 (月)	23 (火)	24 (水)	25 (木)	26 (金)	27 (土)	28 (日)
センター主催		第1回中堅研 (小・中) 静西	第1回中堅研 (小・中) 静東	第2回初任者研修 (小・中) 静西	生徒指導研究協議会静東【沼津市民文化センター】 教育行政新任研		
本庁等主催		第1回中堅研 (栄)＜健体＞		第2回新採研 (養)＜健体＞ 第2回新採研 (栄)＜健体＞	第1回幼稚園等初任者研修＜義務＞ 特別支援教育コーディネーター研＜高校・特支＞		
	29 (月)	30 (火)	31 (水)	その他日程			
センター主催	第1回6年次研 (特) フォローアップ研 (特)	第1回6年次研 (小・中)	第2回中堅研 (小・中) 静西				
本庁等主催	新規採用事務職員等研修会①＜静西＞ 外国人児童生徒担当教員等研修会＜静西＞	第1回6年次研 (養)＜健体＞ 第1回6年次研 (栄)＜健体＞	第2回中堅研 (栄)＜健体＞	道徳教育研修【オンデマンド (4/25-7/29)】			

令和5年度年間研修予定 6月

センター会場…黒字
 外部会場 …赤字
 オンライン …青字
 ハイブリッド…緑字

				1 (木)	2 (金)	3 (土)	4 (日)
センター主催				第2回初任研 (高)	第2回中堅研 (小・中) 静東【ブラサヴェルデ】		
本庁等主催				新任特別支援学級担任・通級指導教室担当者研2<義務>	公立図書館等職員基礎研修 (レファレンス基礎研修) <中央図書館>		
	5 (月)	6 (火)	7 (水)	8 (木)	9 (金)	10 (土)	11 (日)
センター主催	マネジメント研Ⅰ期	マネジメント研Ⅰ期	マネジメント研Ⅰ期	第3回初任研 (中)	第3回初任研 (中)		
本庁等主催							
	12 (月)	13 (火)	14 (水)	15 (木)	16 (金)	17 (土)	18 (日)
センター主催	第1回中堅研 (高)Ⅰ期	第1回中堅研 (高)Ⅰ期 第2回初任研 (特)【学校会場】	第3回初任研 (小) 静西	第3回初任研 (小) 静西	2年次研 (高)		
本庁等主催	第1回中堅研 (養) <健体> 任期付職員等研修会<静西> 特別支援学校進路指導連絡協議会<特支> 探究学習担当研修会<高校> 【あざれあ】	第1回中堅研 (養) <健体>					
	19 (月)	20 (火)	21 (水)	22 (木)	23 (金)	24 (土)	25 (日)
センター主催	キャリア開発セミナーⅢ	第1回中堅研 (特)Ⅰ期 産業教育専門研 (Ⅰ期)	第1回中堅研 (特)Ⅰ期 教育相談スキルアップ研修1- 信頼関係を築く(教育相談の基 本姿勢-【ブラサヴェルデ】	第3回初任研 (小) 静東	第3回初任研 (小) 静東		
本庁等主催	第2回幼稚園等初任者研修<義務> 進路指導主事研修会<高校>		第3回新採研 (養) <健体> 第3回新採研 (栄) <健体> 第3回中堅研 (栄) <健体>	第3回新採研 (栄) <健体>			
	26 (月)	27 (火)	28 (水)	29 (木)	30 (金)	その他日程	
センター主催		第1回中堅研Ⅱ期 (高)	第1回中堅研Ⅱ期 (特)	第3回中堅研 (小・中) A	第3回中堅研 (小・中) B	マネジメント講2【オンデマンド(6/19-8/31)】	
本庁等主催	教務主任研修会<高校> 社会教育基礎研修 (中西部) <社教>					道徳教育研修【オンデマンド(4/25-7/29)】	

令和5年度年間研修予定 7月

						1 (土)	2 (日)
センター主催							
本庁等主催							
	3 (月)	4 (火)	5 (水)	6 (木)	7 (金)	8 (土)	9 (日)
センター主催	生徒指導総合研Ⅰ期【リアルタイム】	第1回キャリアデザイン研修Ⅰ(高・特) 生徒指導総合研Ⅰ期	第1回キャリアデザイン研修Ⅰ(小・中) 静東【プラサヴェルデ】 生徒指導総合研Ⅰ期 1人1台端末環境下における多様なメディア活用ー学校図書館活用研修ー【センター・賀茂キャンパス】	「主体的・対話的で深い学び」を支える授業研究	第1回キャリアデザイン研修Ⅰ(小・中) 静西 障害のある子どもの保護者支援		
本庁等主催	家庭教育支援基礎講座＜社教＞ GIGAスクールサポート研修						
	10 (月)	11 (火)	12 (水)	13 (木)	14 (金)	15 (土)	16 (日)
センター主催		新採研(小・中・司)Ⅱ期 地域とともにある学校づくり研修 子どもの困難さへのアプローチ【センター・リアルタイム】	マネジメント研修Ⅱ期	マネジメント研修Ⅱ期			
本庁等主催	特別支援学校生徒指導連絡協議会＜特支＞	国庫補助金事務研修会＜静西＞			第3回幼稚園等初任者研修＜義務＞ SDGs教育推進研修＜政策＞		
	17 (月)	18 (火)	19 (水)	20 (木)	21 (金)	22 (土)	23 (日)
センター主催	海の日		不登校の未然防止ー子どものレジリエンスを育てるー				
本庁等主催		学力向上連絡協議会＜静西＞			地域学校協働活動推進員等養成講座＜社教＞ トータルサポート事業研修会＜静西＞		
	24 (月)	25 (火)	26 (水)	27 (木)	28 (金)	29 (土)	30 (日)
センター主催	キャリア開発セミナーⅡ	第3回初任研(高) 授業の基礎技術研修	第3回初任研(高) 情報モラル教育実践研修【リアルタイム】	第4回初任研(小・中) 静西 工業科教員のための技術力・指導力向上研修 高校教育課程研究会(水産)【学校会場】	第4回初任者研修(小・中) 静東【沼津市民文化センター】 工業科教員のための技術力・指導力向上研修 高等学校共通教科情報「情報Ⅰ」基礎研修 商業科職員のための授業づくり研修		
本庁等主催	通級指導教室担当者研修＜義務＞ ICT活用研修(基礎編)＜DX＞ 新しい時代に向けたICT活用研修＜DX＞ ICT活用研修(入門編)＜DX＞	ICT活用研修(実践編)＜DX＞	地域支援会議＜静西＞	第4回新採研(養)＜健体＞ 第4回新採研(栄)＜健体＞	新規採用事務職員等研修会②＜静西＞ 若手メンタル研修＜厚生＞		
	31 (月)	その他日程					
センター主催	高校教育課程研究会(総則)【リアルタイム】	国語の授業づくり研修(小)【オンデマンド(7月-11月)】 マネジメント講2【オンデマンド(6/19-8/31)】					
本庁等主催	新任特別支援学級担任・通級指導教室担当者研3＜義務＞	道徳教育研修【オンデマンド(4/25-7/29)】					

令和5年度年間研修予定 8月

		1 (火)	2 (水)	3 (木)	4 (金)	5 (土)	6 (日)
センター主催		高校教育課程研究会 (外国語) 高校教育課程研究会 (数学) [リアルタイム] 技術・家庭科 (技術分野) 授業づくり研修 [静岡県大学]	高校体育指導者講習会 [草薙総合運動場] 高校教育課程研究会 (工業) [リアルタイム]	高校教育課程研究会 (芸術) [リアルタイム] 小中体育指導者講習会 (静岡) [焼津シーガルドーム] 高校教育課程研究会 (商業) [リアルタイム]	高校教育課程研究会 (看護・福祉) 小中体育指導者講習会 (静岡) [プラサヴェルデ]		
本庁等主催		2年次研 (栄) <健体>	2年次研 (栄) <健体>				
	7 (月)	8 (火)	9 (水)	10 (木)	11 (金)	12 (土)	13 (日)
センター主催	第3回初任研 (特) 高校教育課程研究会 (理科) 英語教員のためのCAN-DOテスト作成研修	第3回初任研 (特) 国語の単元構想力アップ研修 高等学校理科教材づくり研修	第5回初任研 (小・中) 静岡	第5回初任研 (小・中) 静岡	山の日		
本庁等主催	第2回新規採用寄宿舎指導員研修<特支> 第2回新規採用自立活動教諭研修<特支>	第2回新規採用寄宿舎指導員研修<特支> 第2回新規採用自立活動教諭研修<特支> 中堅研 (幼稚園教諭等) <義務>					
	14 (月)	15 (火)	16 (水)	17 (木)	18 (金)	19 (土)	20 (日)
センター主催				小学校英語指導力向上研修	図画工作科・美術科授業づくり研修 [県立美術館]		
本庁等主催				新規来日ALT掛川オリエンテーション<高校>	新規来日ALT掛川オリエンテーション<高校>		
	21 (月)	22 (火)	23 (水)	24 (木)	25 (金)	26 (土)	27 (日)
センター主催	知的障害のある子どもの国語・算数 (数学) [センター・リアルタイム] 小学校におけるプログラミング教育実践研修 社会科授業づくり研修 (小) 音楽科授業づくり研修 高等学校数学科授業づくり基礎研修 家庭科/福祉科教員のための技術力・指導力向上研修 [外部会場]	学校体育実技 (武道) 認定講習 [県武道館] マネジメント講座9 [リアルタイム] 家庭科授業づくり研修 (小・中) 中学校理科教材づくり研修 小学校算数科授業づくり研修	学校体育実技 (武道) 認定講習 [県武道館] 産業教育専門研 (Ⅱ期) 探究指導者養成講座 (課題設定編) ―総合的な探究の時間の充実に向けて― 子どもの「学びに向かう力」を支える非認知能力涵養研修 [リアルタイム] STEAM教育基礎研修 [リアルタイム] 学級経営力向上研修 [リアルタイム]	学校体育実技 (武道) 認定講習 [県武道館] 不登校に対するチーム支援のあり方 GIGAスクール構想とICT機器を活用した授業実践研修 (入門編) GIGAスクール構想とICT機器を活用した授業実践研修 (オンライン編) [リアルタイム]	個別最適な学びに向けたICTの活用 (基礎編) [リアルタイム] 重度知的障害のある子どもの理解と指導		
本庁等主催		学校給食衛生管理研<健体> [リアルタイム]	寄宿舎指導員連絡協議会<特支> 都道府県協議会<静岡>	高特養護教員研<健体>			
	28 (月)	29 (火)	30 (水)	31 (木)	その他日程		
センター主催	中学校数学科授業づくり研修	事務職員のための学校マネジメント研修 [オンライン]			国語の授業づくり研修 (小) [オンデマンド (7月-11月)] マネジメント講2 [オンデマンド (6/19-8/31)] マネジメント講座10 [オンデマンド (8/17-11/30)]		
本庁等主催		社会教育実践研修<社教>	社会教育実践研修<社教>				

令和5年度年間研修予定 9月

					1 (金)	2 (土)	3 (日)
センター主催					小学校理科教材づくり研修		
本庁等主催					任期付職員等研修会<静西> 乳幼児保育研修<義務>		
	4 (月)	5 (火)	6 (水)	7 (木)	8 (金)	9 (土)	10 (日)
センター主催		特別支援教育における1人1台 端末を活用した学びの充実	マネジメント講座6 特別の教科道徳授業づくり研 修①	第4回初任研 (高)	キャリア開発セミナー I 特別の教科道徳授業づくり研 修②【東部総合庁舎】		
本庁等主催	新体力テスト説明会 (西部地 区) <健体>	新任養護教諭等研<健体>			第4回幼稚園等初任者研修< 義務>		
	11 (月)	12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	16 (土)	17 (日)
センター主催	教育相談スキルアップ研修2- 明日から使える学校カウンセリ ングスキル-	マネジメント講座1		生徒指導総合研Ⅱ期【リアルタ イム】	生徒指導総合研Ⅱ期		
本庁等主催							
	18 (月)	19 (火)	20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	24 (日)
センター主催	敬老の 日	マネジメント講座4			みんなでつこう学校図書館講 座	秋 分 の 日	
本庁等主催			学校・家庭・地域の連携推進研 修会<社教>	高特保健主事研<健体>	キャリア教育研修会(静西)		
	25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	29 (金)	30 (土)	その他日程
センター主催	新採研 (小・中・司) Ⅲ期	新採研 (小・中・司) Ⅲ期	社会科授業づくり研修 (中・高)		マネジメント研修Ⅲ期 (小・中) 静東【東部総合庁舎】 マネジメント研修Ⅲ期 (小・中) 静西		国語の授業づ くり研修 (小)【オ ンデマンド(7月 -11月)】 マネジメント講 座10【オンデマ ンド(8/17- 11/30)】
本庁等主催		幼小接続期の教育保育研修< 義務>	社会教育実践研修<社教>	社会教育実践研修<社教>			

令和5年度年間研修予定 10月

							1 (日)
センター主催							
本庁等主催							
	2 (月)	3 (火)	4 (水)	5 (木)	6 (金)	7 (土)	8 (日)
センター主催	後期第1回高等学校教育課程研究委員会	第4回中堅研 (小・中) 静西	第6回初任研 (中)	第6回初任研 (中)	第4回中堅研 (小・中) 静東 [沼津市民文化センター]		
本庁等主催	スマホルールアドバイザー養成講座<社教>	第8回新採研 (養) <健体> 第4回中堅研 (栄) <健体>					
	9 (月)	10 (火)	11 (水)	12 (木)	13 (金)	14 (土)	15 (日)
センター主催	スポーツの日	第4回初任研 (特)	第4回初任研 (特)	第6回初任研 (小) 静西	第6回初任研 (小) 静西		
本庁等主催		第3回新規採用寄宿舎指導員研修<特支> 第3回新規採用自立活動教諭研修<特支> スクールカウンセラー研修会<静西>	第3回新規採用寄宿舎指導員研修<特支> 第3回新規採用自立活動教諭研修<特支> ICT活用研修 (実践編) <DX>				
	16 (月)	17 (火)	18 (水)	19 (木)	20 (金)	21 (土)	22 (日)
センター主催	集団における「気になる子」の理解と効果的な支援—教育相談的な視点から—	6年次研 (小・中) 全体研修Ⅱ	第2回中堅研Ⅰ期 (特)	第5回初任研 (高)	第5回初任研 (高)		
本庁等主催	SSWスキルアップ研修会<義務>						
	23 (月)	24 (火)	25 (水)	26 (木)	27 (金)	28 (土)	29 (日)
センター主催		マネジメント講座3	経験3年研Ⅰ期 (小・中)	第6回初任研 (小) 静東	第6回初任研 (小) 静東		
本庁等主催	教育課程研修会 (静西)	健康教育指導者講習会<健体>	家庭教育支援フォローアップ研修会<社教>				
	30 (月)	31 (火)	その他日程				
センター主催			国語の授業づくり研修 (小) [オンデマンド(7月-11月)] マネジメント講座10 [オンデマンド(8/17-11/30)] 第2回6年次研 (高)・第2回中堅研Ⅰ期 (高)・3年次研 (高)				
本庁等主催	社会教育実践研修<社教>	社会教育実践研修<社教>					

令和5年度年間研修予定 11月

			1 (水)	2 (木)	3 (金)	4 (土)	5 (日)
センター主催			国語の授業づくり研修 (小) [リアルタイム]	教育相談スキルアップ研修3ー保護者との効果的な教育相談ー	文化の日		
本庁等主催				第5回幼稚園等初任者研修<義務> 新規採用養護教員研<健体>			
	6 (月)	7 (火)	8 (水)	9 (木)	10 (金)	11 (土)	12 (日)
センター主催		第3回中堅研Ⅰ期 (高) 第5回初任研 (特) [学校会場]		第7回初任者研修 (小・中) 静西 [学校会場]	経験3年研Ⅱ期 (小・中) キャリアデザイン研修Ⅱ (高・特) 西		
本庁等主催	教務主任連絡協議会<特支>	第2回中堅研 (養) <健体>			新規採用事務職員等研修会③<静西>		
	13 (月)	14 (火)	15 (水)	16 (木)	17 (金)	18 (土)	19 (日)
センター主催				第5回中堅研 (小・中) 静西	第5回中堅研 (小・中) 静東		
本庁等主催	公立高等学校入学者選抜実施要領等の説明会<静西> 特別支援学校生徒指導連絡協議会<特支>	任期付職員等研修会<静西> 外国語講師授業力向上研<高校>	特別支援学校進路指導連絡協議会<特支> 外国語講師授業力向上研<高校>				
	20 (月)	21 (火)	22 (水)	23 (木)	24 (金)	25 (土)	26 (日)
センター主催		キャリアデザイン研修Ⅱ (小・中) 静西		勤労感謝の日	第3回中堅研Ⅰ期 (特)		
本庁等主催							
	27 (月)	28 (火)	29 (水)	30 (木)	その他日程		
センター主催	生徒指導総合研Ⅲ期 [リアルタイム]	キャリアデザイン研修Ⅱ (高・特) 東 [プラサヴェルデ] 生徒指導総合研Ⅲ期	キャリアデザイン研修Ⅱ (小・中) 静東 [プラサヴェルデ] 静岡県生涯学習推進フォーラム [リアルタイム]	第7回初任者研修 (小・中) 静東 [学校会場]	国語の授業づくり研修 (小) [オンデマンド(7月-11月)] マネジメント講座10 [オンデマンド(8/17-11/30)] 第6回初任研 (高) [教科別に定める1日]		
本庁等主催			地域学校協働活動推進員等養成講座<社教> 地域支援会議<静西>				

令和5年度年間研修予定 12月

					1 (金)	2 (土)	3 (日)
センター主催					産業教育実技講習 (商業)【静岡商業高校】		
本庁等主催					第6回幼稚園等初任者研修＜義務＞		
	4 (月)	5 (火)	6 (水)	7 (木)	8 (金)	9 (土)	10 (日)
センター主催	商業実習研 工業実習研	第6回初任研 (特)【学校会場】	マネジメント研Ⅳ期	マネジメント研Ⅳ期	マネジメント研Ⅳ期		
本庁等主催	第3回中堅研 (養)＜健体＞	第10回新採研 (養)＜健体＞					
	11 (月)	12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	16 (土)	17 (日)
センター主催	「主体的・対話的で深い学び」を支える授業研究			第2回6年次研 (特)	人権課題を「知る」「見つめる」「感じる」研修【リアルタイム】		
本庁等主催		公立学校新任学年主任連絡会＜特支＞ 学力向上連絡協議会＜静岡＞		第2回6年次研 (養)＜健体＞			
	18 (月)	19 (火)	20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	24 (日)
センター主催				高等学校キャリア教育研修			
本庁等主催	トータルサポート事業研修会＜静岡＞						
	25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	29 (金)	30 (土)	31 (日)
センター主催		探究指導者養成講座 (調査・分析)－総合的な探究の時間の充実に向けて－					
本庁等主催							
	その他日程						
センター主催							
本庁等主催							

センター会場・・・黒字
 外部会場・・・赤字
 オンライン・・・青字
 ハイブリッド・・・緑字

令和5年度年間研修予定 1月

	1 (月)	2 (火)	3 (水)	4 (木)	5 (金)	6 (土)	7 (日)
センター主催 元旦							
本庁等主催							
	8 (月)	9 (火)	10 (水)	11 (木)	12 (金)	13 (土)	14 (日)
センター主催 成人の日				第2回中堅研Ⅱ期(高・特)	第7回初任研(高)		
本庁等主催							
	15 (月)	16 (火)	17 (水)	18 (木)	19 (金)	20 (土)	21 (日)
センター主催				第8回初任研(小・中) 静西	農業・水産実習研修会【学校会場】 マネジメント講座5		
本庁等主催							
	22 (月)	23 (火)	24 (水)	25 (木)	26 (金)	27 (土)	28 (日)
センター主催		第7回初任研(特)	8年次研(高)	第8回初任者研修(小・中) 静東 【沼津市民文化センター】			
本庁等主催		第4回新規採用寄宿舎指導員 研修＜特支＞			第7回幼稚園等初任者研修＜ 義務＞ 人権教育指導者研修＜政策＞		
	29 (月)	30 (火)	31 (水)	その他日程			
センター主催							
本庁等主催		第5回中堅研(栄)＜健体＞ 第8回新採研(栄)＜健体＞	第5回中堅研(栄)＜健体＞ 第8回新採研(栄)＜健体＞				

センター会場・・・黒字
 外部会場・・・赤字
 オンライン・・・青字
 ハイブリッド・・・緑字

令和5年度年間研修予定 2月

				1 (木)	2 (金)	3 (土)	4 (日)
センター主催				第2回キャリアデザイン研修Ⅰ (高・特)	第2回キャリアデザイン研修Ⅰ (小・中) 静西		
本庁等主催							
	5 (月)	6 (火)	7 (水)	8 (木)	9 (金)	10 (土)	11 (日)
センター主催		第8回初任研 (高)	第2回キャリアデザイン研修Ⅰ (小・中) 静東【プラサヴェルデ】		「高3担任」進学指導スキル アップ研修		
本庁等主催							
	12 (月)	13 (火)	14 (水)	15 (木)	16 (金)	17 (土)	18 (日)
センター主催							
本庁等主催							
	19 (月)	20 (火)	21 (水)	22 (木)	23 (金)	24 (土)	25 (日)
センター主催					天皇誕生日		
本庁等主催							
	26 (月)	27 (火)	28 (水)	29 (木)	その他日程		
センター主催							
本庁等主催							

センター会場…黒字
 外部会場 …赤字
 オンライン …青字
 ハイブリッド…緑字

令和5年度年間研修予定 3月

					1 (金)	2 (土)	3 (日)
センター主催							
本庁等主催							
	4 (月)	5 (火)	6 (水)	7 (木)	8 (金)	9 (土)	10 (日)
センター主催							
本庁等主催					トータルサポート事業研修会<静西>		
	11 (月)	12 (火)	13 (水)	14 (木)	15 (金)	16 (土)	17 (日)
センター主催							
本庁等主催							
	18 (月)	19 (火)	20 (水)	21 (木)	22 (金)	23 (土)	24 (日)
センター主催			春分の日				
本庁等主催							
	25 (月)	26 (火)	27 (水)	28 (木)	29 (金)	30 (土)	31 (日)
センター主催							
本庁等主催							
	その他日程						
センター主催							
本庁等主催							

Ⅱ 希望研修

個々の課題に応じて参加する研修です。

教員育成指標、校長育成指標を参照し、自己の目標と身に付けたい力を確認しながら、研修を受講してください。

※ 申し込む際には、希望する研修の対象者や内容等について、希望研修案内を必ず確認してください。

※ 参加時には、開催通知を持参してください。

※ 政令市（小・中学校）の教職員が希望研修に参加する際は、各市の教育センターへ問い合わせてください。

※ 研修を受講する上で、特に身体的理由等による配慮を必要とする場合は、研修担当者まで御相談ください。

※ あすなろ e セミナールは希望研修と異なりますので、御注意ください。

1	希望研修一覧表	-----	25
2	希望研修受講方法（あすなろ e セミナールを含む）	-----	29
3	希望研修案内	-----	34

1 希望研修一覧表

申込方法については、P. 29を参照

- No.の  は「新規・リニューアルの研修」を表しています。
- 研修名の①、②は、同じ内容の研修を日時や場所を変えて行うものです。

-  …オンデマンド配信で行う研修

-  …リアルタイム配信で行う研修

-  …集合とリアルタイム配信を同時に行う研修（申込時にどちらかを選択）

※表示がない研修は集合研修です。（一部オンデマンド、リアルタイム配信が含まれる集合研修を含みます）

- 「選択」の欄の「特支初任研」「特支6年次研」における●の研修は、2つ選択で1日分の研修となります。
- 研修名欄の※1・※2については、P.27の注意欄を参照してください。
- 職種について

教 員 → 副校長、教頭、主幹教諭、教諭、養護教諭、栄養教諭、任期付教員（※会計年度任用職員は含まれません）

事務職員 → 県教育委員会事務局事務職員、県立学校事務職員、県費負担事務職員、任期付職員（※会計年度任用職員は含まれません）

教職員 → 校長、園長、教員、事務職員、学校栄養職員、実習助手、寄宿舎指導員、臨時的任用教職員

- 下表の希望研修ごとに示すキャリアステージは目安であり、そこに該当しなくても、受講できます。自己の資質能力開発の視点としてください。

No.	研 修 名	開催日	受講対象					選択		教員育成指標との関係								内 容 案 内 ペ ー ジ			
			職 種	校 種					小 中 6 年 次 研	特 支 初 任 研	基 礎 ・ 向 上 期	充 実 ・ 発 展 期	深 化 ・ 熟 練 期	総合的 素養・ 人間力	授 業 力	生徒 指導 力	教育 業務 遂行 力		組織 運営 力		
				幼	小	中	高	特 高 外													
1	マネジメント講座2ー学校事務理解ー 	6/19(月)～ 8/31(木)	管理職等				○	○						○	○				●	34	
2	マネジメント講座3ー学校の経営ビジョンづくりと共有化ー	10/24(火)		○	○	○	○	○	○						○	○			○	●	35
3	マネジメント講座4ー組織の活性化と管理者の役割ー	9/19(火)		○	○	○	○	○	○						○	○			○	●	35
4	マネジメント講座5ー職場における人材育成ー	1/19(金)		○	○	○	○	○	○						○	○			○	●	36
5	マネジメント講座6ーこれからの学校における働き方改革ー	9/6(水)					○	○							○	○				○	36
6	マネジメント講座9ー教職員のための勤務・服務ー 	8/22(火)	教職員		○	○	○	○					○	○	○	○			●	37	
7	マネジメント講座10ー学校事故と情報公開ー 	8/17(木)～ 11/30(木)	教職員		○	○	○	○					○	○	○	○			●	○	37
8	授業の基礎技術研修(発問・指示・板書)	7/25(火)午後	教員		○	○	○	○	○	○	●	●	○		○	○	●				38
9	国語科授業づくり研修(小) 	7/26(水)～ 11/1(水)	教員		○			○	○	○			○		○	○	●				38
10	国語の単元構想力アップ研修(中・高)	8/8(火)	教員			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●			39
11	社会科授業づくり研修(小)	8/21(月)	教員		○			○	○	○	○	○	○	○		○	○	●			39
12	社会科授業づくり研修(中・高)	9/27(水)	教員			○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	●			40
13	小学校算数科授業づくり研修	8/22(火)	教職員		○			○	○	○		○	○		○	○	●				40
14	中学校数学科授業づくり研修	8/28(月)	教職員			○		○	○	○		○	○		○	○	●				41
15	高等学校数学科授業づくり基礎研修	8/21(月)	教員				○	○	○				○		○	○	●				41
16	小学校理科教材づくり研修	9/1(金)	教員		○			○	○	○	○	○	○	○		○	○	●			42
17	中学校理科教材づくり研修	8/22(火)	教員			○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	●			42
18	高等学校理科教材づくり研修	8/8(火)	教員				○	○	○		○	○	○		○	○		●			43
19	小学校英語指導力向上研修	8/17(木)	教員		○	○		○	○	○	○	○	○	○		○	○	●			43
20	英語教員のためのCANーDOテスト作成研修 	8/7(月) 午後	教員			○	○	○	○	○	○	●		○	○	○	○	●			44

No.	研 修 名	開催日	受講対象							選択		教員育成指標との関係								内 容 案 内 ペ ー ジ			
			職 種	校 種					公 立 外	小 中 6 年 次 研	特 支 初 任 研	基 礎 ・ 向 上 期	充 実 ・ 発 展 期	深 化 ・ 熟 練 期	キャリアステージ				資質能力				
				幼	小	中	高	特							総合的 素養・ 人間力	授 業 力	生 徒 指 導 力	教 育 業 務 遂 行 力	組 織 運 営 力				
21	音楽科授業づくり研修	8/21(月)	教員		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	●					44
22	図画工作科・美術科授業づくり研修	8/18(金)	教員		○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	●					45
23	技術・家庭科(技術分野)授業づくり研修	8/1(火)	教職員			○		○	○	○	○	○	○				○	●					45
24	家庭科授業づくり研修(小・中)	8/22(火)	教員		○	○		○	○	○	○	○	○				○	●					46
25	家庭科／福祉科教員のための技術力・指導力向上研修	8/21(月)	教員				○	○	○			○	○	○	○		○	●					46
26	小学校におけるプログラミング教育実践研修	8/21(月)	教職員	○			○	○	○	○	○	○	○				○	●					47
27	GIGAスクール構想とICT機器を活用した授業実践研修(入門編)	8/24(木)	教職員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○				○	●					47
28	GIGAスクール構想とICT機器を活用した授業実践研修 (オンライン編)	8/24(木)	教職員	○	○	○	○	○	○	○			○				○	○				●	48
29	小学校体育指導者講習会	静西8/3(木)午後 静東8/4(金)午後	教員		○			○	○				○				○	●					48
30	中学校体育指導者講習会	静西8/3(木)午前 静東8/4(金)午前	教員			○		○	○				○				○	●					49
31	高等学校体育指導者講習会 ※1	8/2(水)	教員				○	○					○				○	●					49
32	学校体育実技(武道)認定講習	8/22(火)～ 8/24(木)	教員		○	○	○	○	○				○				○	●					50
33	特別の教科 道徳授業づくり研修①	9/6(水)	教員		○	○		○	○	○	○	○	○				○	●					50
34	特別の教科 道徳授業づくり研修②	9/8(金)	教員		○	○		○	○	○	○	○	○				○	●					50
35	商業科教員のための授業づくり研修	7/28(金)	教員				○		○				○	○			○	●					51
36	工業科教員のための技術力・指導力向上研修 ※1	7/27(木)～ 7/28(金)	教職員				○						○	○			○	●					51
37	STEAM教育基礎研修	8/23(水)	教員			○	○			○			○	○			○	●					52
38	高等学校共通教科情報「情報Ⅰ」基礎研修	7/28(金)	教員				○	○					○	○			○	●					52
39	産業教育専門研修Ⅱ期(農業・水産)	8/23(水)	教員				○						○	○	○		○	●					53
40	産業教育専門研修Ⅱ期(商業)	8/23(水)	教員				○						○	○			○	●					53
41	産業教育専門研修Ⅱ期(家庭・福祉)	8/23(水)	教員				○						○	○			○	●					54
42	高等学校キャリア教育研修-生徒のキャリア発達支援-	12/21(木)	教員				○		○				○	○			○		○				54
43	「高3担任」進路指導スキルアップ研修	2/9(金)	教員				○	○	○			○	○				○		○		●		55
44	探究指導者養成研修(課題設定編) —高等学校魅力化につながる総合的な探究の時間の充実に向けて—	8/23(水)	教職員				○	○	○				○	○	○		○	●					55
45	探究指導者養成研修(調査・分析編) —高等学校魅力化につながる総合的な探究の時間の充実に向けて—	12/26(火)	教職員				○	○	○				○	○	○		○	●					56
46	SDGs教育推進研修	7/14(金) 午後	教職員		○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○		○		○				56
47	ヤングケアラー支援のための資質向上研修	2/8(木) 午前	教職員		○	○	○	○	○	○	●		○	○	○		○		○				57
48	障害のある子どもの保護者支援-基礎的理解から支援の実践へ-	7/7(金)	教職員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		●		57
49	子どもの困難さへのアプローチ-発達を支える指導の充実-	7/11(火)	教職員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○	○				58
50	知的障害のある子どもの国語・算数(数学)	8/21(月)	教職員		○	○		○	○	○	○	○	○	○			○	●	○				58

No.	研 修 名	開催日	受講対象							選択			教員育成指標との関係										内 容 案 内 ペ ー ジ
			職 種	校 種					小 中 6 年 次 研	特 支 初 任 研	特 支 6 年 次 研	キャリアステージ			資質能力								
				幼	小	中	高	特 立 外				基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	総合的 素養・ 人間力	授 業 力	生徒 指導 力	教育 業務 遂行 力	組織 運営 力				
51	特別支援教育における1人1台端末を活用した学びの充実	9/5(火)	教職員	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○					59
52	重度知的障害のある子どもの理解と指導	8/25(金)	教員					○			○	○		○	○	○	○	●	○				59
53	教育相談スキルアップ研修1ー信頼関係を築く教育相談の基本姿勢ー※2	6/21(水) 午後	教職員	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○		○		○		○			60
54	教育相談スキルアップ研修2ー明日から使える学校カウンセリングスキルー	9/11(月)	教職員		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○		○			60
55	教育相談スキルアップ研修3ー保護者との効果的な教育相談ー	11/2(木) 午後	教職員	○	○	○	○	○	○	○		●	○	○	○	○		○	○	○			61
56	不登校の未然防止ー子どものレジリエンスを育てるー	7/19(水)	教職員		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○		○			61
57	不登校に対するチーム支援の在り方	8/24(木)	教職員		○	○	○	○	○					○	○	○		○		○		○	62
58	集団における「気になる子」の理解と効果的な支援ー教育相談的な視点からー	10/16(月)	教職員		○	○	○		○					○	○	○		○		○			62
59	学級経営力向上研修 	8/23(水)	教員		○	○	○	○	○	○	○		○	○		○		○		○			63
60	情報モラル教育実践研修 	7/26(水)午前	教職員		○	○	○	○	○	○	●		○			○	○		○	○			63
61	人権課題を「知る」「見つめる」「感じる」研修 	12/15 (金) 午後	教職員	○	○	○	○	○	○	○			○			○		○					64
62	地域とともにある学校づくり研修 ～「社会に開かれた教育課程」の実現を目指して～	7/11(火)	教職員		○	○		○ 小 中	○ 小 中					○	○	○					○	○	64
63	1人1台端末環境下における多様なメディア活用 ー学校図書館活用研修ー	7/5(水)	教職員		○	○		○ 小 中	○ 小 中					○		○				○			65
64	個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICTの活用 (発展編) 	8/25 (金) 午後	教職員		○	○	○	○	○	○	●			○		○	○		○				65
65	子どもの「学びに向かう力」を支える非認知能力涵養研修 	8/23 (水) 午後	教職員	○	○	○	○	○	○	○	●		○			○		○		○			66
66	事務職員のための学校マネジメント研修 (発展編) 	8/29 (火) 午後	事務職員		○	○	○	○	○														66
67	通信教育研修支援	7月～12月	事務職員		○	○	○	○															67

- ※1 申込方法が異なる研修について
申込方法が他の研修と異なります。P.29に記載の方法では申込みできません。
各学校に通知を送付するので、その案内に従って申し込んでください。
- ※2 「教育相談スキルアップ研修1ー信頼関係を築く教育相談の基本姿勢ー」の受講について
「初任者研修」と一部重なる内容があるので、重複して受講しないようにしてください。

教育DX推進課主催の希望研修

申込方法はP. 29参照。
問合せは教育DX推進課へ。

No.	研 修 名	開催日	受講対象							選択			教員育成指標との関係								内 容 案 内 ペ ー ジ
			職 種	校 種					小 中 6 年 次 研	特 支 初 任 研	基 礎 ・ 向 上 期	充 実 ・ 発 展 期	深 化 ・ 熟 練 期	総合的 素養・ 人間力	授 業 力	生 徒 指 導 力	教 育 業 務 遂 行 力	組 織 運 営 力			
				幼	小	中	高	特 立 外													
68	(三島長陵・8月2日) ICT活用研修 (入門編)	8/2(水) 午前	教 員	○	○	○	○	○						○	○	○	◎		81		
69	(センター・7月24日) ICT活用研修 (入門編)	7/24(月) 午前	教 員	○	○	○	○	○						○	○	○	◎		81		
70	(三島長陵・8月2日) ICT活用研修 (基礎編)	8/2(水) 午後	教 員	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	◎		82		
71	(センター・7月24日) ICT活用研修 (基礎編)	7/24(月) 午後	教 員	○	○	○	○	○				○	○	○	○	○	◎		82		
72	(三島長陵・8月4日) ICT活用研修 (実践編)	8/4(金)	教 員		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	◎		83		
73	(センター・7月25日) ICT活用研修 (実践編)	7/25(火)	教 員		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	◎		83		
74	(センター・10月11日) ICT活用研修 (実践編)	10/11(水)	教 員		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	◎		84		
75	(三島長陵・8月1日) 新しい時代に向けたICT活用研修	8/1(火)	教 員		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	◎		84		
76	(センター・7月24日) 新しい時代に向けたICT活用研修	7/24(月)	教 員		○	○	○	○	○			○	○	○	○	○	◎		85		
77	アプリケーションの使用方法	 5月～2月	教 員		○	○	○	○	○			○	○	○			◎		85		
78	令和5年度ICTを活用した授業動画の共有	 4月から3月	教 員		○	○	○	○	○			○	○	○	○	◎			86		
79	情報セキュリティ入門	 7月～12月	教 員		○	○	○	○	○			○	○	○	○		◎		86		

幼児教育センター主催の希望研修

申込方法はP. 90参照。
問合せは幼児教育センターへ。

No.	研 修 名	開催日	受講対象							選択		教員育成指標との関係							内容案内ページ			
			職 種	校 種					小中6年次研	特支初任研	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	総合的人間力	教育的素養・授業力	生徒指導力	教育業務遂行力	組織運営力				
				キアラステージ																資質能力		
				幼	小	中	高	特												公立外	中	小
80	インクルーシブ保育研修  集合/リアルタイム	7/27 (木)	教職員等	○	○			○	○				○	○	○	○		◎			88	
81	乳幼児保育研修  集合/リアルタイム	9/1 (金)	教職員等	○	○				○	○			○	○	○	○		◎			88	
82	幼小接続期の教育・保育研修  集合/リアルタイム	9/26 (火)	教職員等	○	○				○	○			○	○	○	○	◎				89	
83	幼児理解研修 ～エピソード記録と保育～  集合/リアルタイム	10/6 (金)	教職員等	○	○				○	○			○	○	○	○		◎			89	
84	幼児教育マネジメント研修  集合/リアルタイム	10/27 (金)	教職員等	○	○				○	○					○	○			◎		90	

2 希望研修受講方法（あすなろeゼミナールを含む）

(1) 申込期間

- ・ 6月～7月14日(金)までに開催する希望研修
令和5年5月10日(水)から各研修実施日の4週間前まで
- ・ 7月18日(火)以降に開催する希望研修
令和5年6月1日(木)から
7月31日(月)までは各研修実施日の4週間前まで
8月1日(火)からは各研修実施日の6週間前まで

※申込期限を別で設定している研修があります。希望研修案内の備考欄を御確認ください。

※あすなろeゼミナール（オンデマンド型配信）は、令和6年3月19日（火）まで。

※複数日程の場合は、初日を研修実施日とします。

※申込数が定員に達し次第、受付を終了します。

(2) 申込方法

対象者により申込方法が異なります。研修、あすなろeゼミナールのいずれも共通です。

<対象者>

- ・ 市町立学校の教職員（政令市小中除く）
- ・ 県立学校の教職員
- ・ 国立学校の教職員（政令市籍の教職員を除く）

① 以下のURLから研修管理システムにアクセスしてください。

<https://shizuoka.generalist.jp/tsblms/>

② ログインIDとパスワードを入力して、ログインしてください。

③ 左上のタブ（横三本線）から、検索ボタンをクリックしてください。

④ キャリアステージなどから受講する研修を検索し、該当の研修にチェックを入れて、受講申請をしてください。

⑤ 申請が完了したら、各所属の管理職に承認依頼をしてください。

注意！

個人の受講申請だけでは申込完了になりません。

ステータスが「実施中」になっているかを必ず確認してください。

受講/実績状況のステータス欄で申請状況を確認することができます。

○ 実施中…申込完了

× 受講申請中…申込完了していません→管理職へ承認を依頼してください

× 研修名がない…申請ができていません

※承認処理は、受講申請時に選択した管理者が承認できますが、特に指定しなかった場合は、所属の管理職であれば誰でも可能です。

区分	研修名	残日数	ステータス
希望	【あすなろeゼミナール】個別最適な学び…	---	受講申請中
希望	Googleクラスルーム ホームルームの作り方	---	実施中

× 申込完了していません

○ 申込完了

<対象者>

- ・私立学校の教職員
- ・幼稚園、こども園の教職員
- ・会計年度任用職員

※政令市小中学校の方は各教育センターへお問い合わせください。

- ① 以下のURLから研修管理システムにアクセスしてください。
<https://shizuoka.generalist.jp/tsblms/>
- ② 所属のログインIDとパスワードを入力して、ログインしてください。
- ③ 左上のタブ（横三本線）から、検索ボタンをクリックしてください。
- ④ キャリアステージなどから受講する研修を検索し、該当の研修にチェックを入れて、受講申請をしてください。
- ⑤ 申請が完了したら、承認処理をしてください。
- ⑥ 以下のURLまたは二次元コードから研修参加者用アンケートに回答してください。
 - ・アンケートで、参加される方の職名・氏名等を入力していただきます。
 - ・あすなろeゼミナールの申請についてはアンケート回答不要です。

<https://forms.gle/ZygGiLWdVrgU8dUm8>



1つのIDで申込できるのは1名のみです。

注意！

承認処理をしないと申込完了になりません。
ステータスが「実施中」になっているかを必ず確認してください。

受講/実績状況のステータス欄で申請状況を確認することができます。

- 実施中…申込完了
- × 受講申請中…申込完了していません→承認処理を行ってください
- × 研修名がない…申請ができていません

区分	研修名	残日数	ステータス
希望	【あすなろeゼミナール】個別最適な学び…	---	受講申請中 0%
希望	Googleクラスルーム ホームルームの作り方	---	実施中

× 申込完了していません

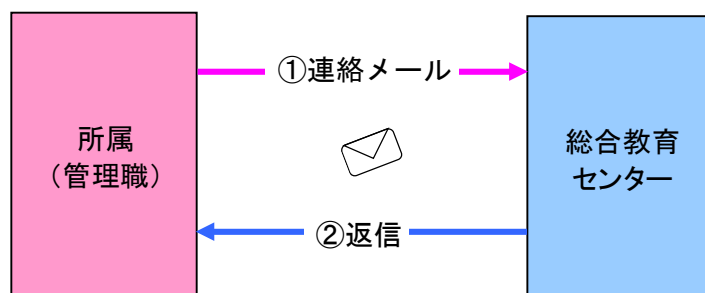
○ 申込完了

(3) 申し込んだ研修のキャンセル

申込み後、開催通知が發送されるまでの間に、やむを得ず参加できなくなった場合は、管理職からメールで連絡をしてください。

※あすなろeゼミナールは手続き不要です。

ア 手順



- ① **管理職**は、研修をキャンセルする旨をメールで連絡してください。
- ② メールが確認でき次第、本センターから受領した旨を返信します。

イ 提出先

(担 当) 静岡県総合教育センター
総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班
(メールアドレス) centerkensyu@pref.shizuoka.lg.jp

メールはこちらの二次元コードまたはURLから作成
できます。必要事項入力後、送信してください。



<http://mail-to.link/m8/63k4hi>

【メール連絡必要事項】

- ①所属名
- ②申込者職員番号
- ③申込者氏名
- ④キャンセルする研修名

※メールには、必要事項のみを記載して下さい。

※センターからの返信を必ず確認して下さい。

※開催通知が發送された後のキャンセルは欠席扱いとなりますので、P.104を参照し、欠席・変更届を提出してください。

(4) 研修員の決定と通知

研修員の決定は、開催通知、実施要項等の發送をもってかえます。開催通知、実施要項等は、研修実施3～4週間前をめどに送付します。研修参加時には必ず持参してください。

※2週間前の時点で開催通知が届いていない場合は、研修主催者へ御連絡ください。

※あすなろeゼミナールはメールによる通知を行いません。受講に必要な資料等は研修管理システムの該当研修の受講ページからダウンロードしてください。

(5) 申込状況の確認方法

各研修の申込状況は、研修管理システム、センターホームページ等で随時確認できます。

(6) 受講区分一覧

名称	集合研修	オンライン研修		あすなろeゼミナール(聴講)	
		リアルタイム型 	オンデマンド型 	リアルタイム型	オンデマンド型
研修日	研修受講日	研修受講日	視聴期間内	研修受講日	視聴期間内
開催場所	総合教育センター等	各所属等		各所属等	
アプリケーション		Zoom	研修管理システム	Zoom	研修管理システム
開催通知等の送付	あり	あり	あり	なし 研修受講日の前日までに研修管理システムの該当研修の受講ページにミーティングID等を掲載します。各自確認をして当日参加してください。	なし 受講開始日以降都合の良い時間(勤務時間中)に視聴してください。
受講に当たっての準備等		・Zoomが利用できる端末 ・カメラ、マイク、スピーカー(端末内蔵可)		・Zoomが利用できる端末 ・メールでの通知は原則しませんので、当日受講忘れないよう御注意ください。	

(7) オンライン研修受講方法

受講形態	受講方法
リアルタイム型 	① Zoomアプリを使用する場合は、以下のURLまたは二次元コードから「ミーティングに参加する」ページにアクセスしてください。 https://zoom.us/join  ② 実施要項等に記載のミーティングIDを入力して、参加ボタンをクリックしてください。 ③ 実施要項等に記載のパスコードを入力して、研修を受講してください。（パスコード入力が不要な研修もあります。） ※当日使用する端末で事前に接続テストを行うことを推奨します。 接続テストの方法はこちらを御確認ください。 ※当日のインターネットの接続環境により視聴できない場合があります。また、当日の視聴についてのお問い合わせには対応できかねますので、予め御了承ください。 ※あすなろeゼミナールは研修管理システムの該当研修の受講ページにミーティングID等を掲載します。（実施要項等の送付はありません）
オンデマンド型 	① 以下のURLから研修管理システムにアクセスしてください。 https://shizuoka.generalist.jp/tsblms/ ② ログインIDとパスワードを入力して、ログインしてください。 ③ 左上のタブ(横三本線)から、受講／実績状況ボタンをクリックしてください。 ④ 該当の研修の受講ボタンをクリックして、研修を受講してください。 ※同じ研修を再度受講する場合は、上部中央の実績ボタンをクリックすると研修名が表示されます。 

「マネジメント講座」の概要（No.1～7）

この講座では、教育活動を支えるマネジメント力の向上を目指します。

管理職対象講座	No.1 マネジメント講座2 -学校事務理解- No.2 マネジメント講座3 -学校の経営ビジョンづくりと共有化- No.3 マネジメント講座4 -組織の活性化と管理者の役割- No.4 マネジメント講座5 -職場における人材育成- No.5 マネジメント講座6 -これからの学校における働き方改革-
全教職員対象講座	No.6 マネジメント講座9 -教職員のための勤務・サービス- No.7 マネジメント講座10 -学校事故と情報公開- マネジメント講座11 -勤務条件制度・給与制度-（令和6年度実施予定）

※マネジメント講座1は、新任校長研修の悉皆研修として実施する。

No.1	マネジメント講座 2 － 学校事務理解 －						 オンデマンド	
開催日	6/19（月）～ 8/31（木）	対象	校長、副校長、教頭、部主事（高・特）				定員	無制限
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎組織運営力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【高特】新任校長・新任副校長	
目標	①勤務条件の重要性を理解する。 ②職員管理と勤務条件との関係性の理解を深める。 ③学校事務に関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。							
内容	オンラインによる研修です。学校事務に関する理解を深めます。 地方公務員法に基づく給与、勤務時間、その他の勤務条件の根本基準について理解を深めることにより、学校経営（運営）に携わる者に求められる管理運営力、組織運営力、その他の資質能力の向上を図ります。 ○講義・演習「学校事務の業務内容」「勤務・サービスに関する諸原則」 「給与に関する諸原則」「旅行命令と服務管理」 「旅行命令と旅費支給」 教育行政組織、法規事務、文書事務、公務員倫理に加え、学校事務の仕事（管財・会計・庶務）を理解する講座内容です。							
備考	・本研修の申込締切日は、令和 5 年 6 月 2 日（金）です。							

No.2 マネジメント講座 3 －学校の経営ビジョンづくりと共有化－							
開催日	10/24（火）	対象	管理職等（備考を御覧ください）				定員 50 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○教育業務遂行力 ◎組織運営力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【高特】 新任校長・新任副校長・ 新任教頭 【事務】 教育キャリア開発セミナーⅢ
目標	①経営ビジョンづくりと共有化における着眼点を理解する。 ②学校の内外資源を活用した、経営ビジョン構築の見通しを持つ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。						
内容	ビジョンづくりを中心に、学校組織マネジメントを網羅的に学べます。 マネジメントの考え方と進め方について、具体的な例を用いて、ビジョンづくり、組織づくり、人づくりなどの観点から分かりやすく学び、学校経営（運営）に必要な組織運営力、教育業務遂行力の向上を図ります。 ○講演・演習「学校の経営ビジョンづくりと共有化」 講師：兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野 良一 氏 研修員同士の対話をもとに進めていくので、自校の取組を今一度考えることができます。明日からの学校経営のヒントになる情報が盛りだくさんです。						
備考	・対象：校（園）長、教員（副校長、教頭、部主事、主幹教諭）及び事務職員（事務長、共同学校事務室参事、総括室長、室長、事務主幹、班長、主幹）						

No.3 マネジメント講座 4 －組織の活性化と管理者の役割－							
開催日	9/19（火）	対象	管理職等（備考を御覧ください）				定員 50 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○教育業務遂行力 ◎組織運営力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【高特】 新任校長・新任副校長・ 新任教頭 【事務】 教育キャリア開発セミナーⅢ
目標	①組織を活性化するための、管理者の役割を理解する。 ②学校組織の特徴を踏まえた、組織活性化のためのビジョン構築の見通しを持つ。 ③学校マネジメントを取り入れた自校の経営・運営に対する意欲を高める。						
内容	学校組織の特徴を分析し、活性化のためのビジョンを描く。 教育改革を視野に入れたこれからの学校経営のあり方について、講義・演習を通して検討し、学校組織の活性化の考え方について理解を深めることにより、学校の運営改善に必要な組織運営力、教育業務遂行力の向上を図ります。 ○講演・演習「学校組織の改善と活性化－管理職のリーダーシップと協働のマネジメント－」 講師：国士舘大学 教授 北神 正行 氏 現状分析からビジョン作りを行う手法と、そのビジョンをどのように関係者と共有していくのかを学びます。組織を一層活性化させたいと思う方にお勧めです。						
備考	・対象：校（園）長、教員（副校長、教頭、部主事、主幹教諭）及び事務職員（事務長、共同学校事務室参事、総括室長、室長、事務主幹、班長、主幹）						

No.4 マネジメント講座 5 －職場における人材育成－							
開催日	1/19（金）	対象	管理職等（備考を御覧ください）				定員 50 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○教育業務遂行力 ○組織運営力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【高特】 新任校長・新任副校長・ 新任教頭 【事務】 教育キャリア開発セミナーⅢ
目標	①人材育成に関する必要な知識・技能について理解を深める。 ②自校における人材育成上の課題を明確にする。 ③自校の経営・運営に資する人材育成に取り組む意欲を高める。						
内容	大人が育つ職場は、どのようにしてつくればよいのでしょうか。 教師や専門職にとって「学ぶ」とはどういうことか、学びを大切にする職場づくりをどう進めるかなどについて、最新の知見に基づき考えていきます。 ○講演・演習「大人が育つ職場づくり」 講師：帝京大学教職大学院 専任講師 町支 大祐 氏 講師の著書には「データからデザインする教師の組織的な学び」（2022）、「教師が学びあう学校づくり」（2021）、「データから考える教師の働き方入門」（2019）、「人材開発研究大全」（2017）があります。働き方改革を踏まえた学校における人材育成について考えることができる講座です。						
備考	・対象：校（園）長、教員（副校長、教頭、部主事、主幹教諭）及び事務職員（事務長、共同学校事務室参事、総括室長、室長、事務主幹、班長、主幹） ・本研修の申込締切日は、令和5年12月1日（金）です。						

No.5 マネジメント講座 6 －これからの学校における働き方改革－							
開催日	9/6（水）	対象	管理職等（備考を御覧ください）				定員 40 人
発揮向上を目指す資質能力	◎管理運営力 ○教育的素養・総合的人間力 ○組織運営力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【高特】 新任校長・新任副校長・ 新任教頭
目標	①業務改善に関する必要な知識・技能について理解を深める。 ②自校における業務改善の課題を明確にする。 ③自校の働き方改革に対する意欲を高める。						
内容	データに基づく話し合いを通して、主体的に業務改善に取り組む組織づくりを学べます。 学校の働き方改革の考え方と進め方について、勤務時間を削減する観点からだけでなく、教職員のやりがいの向上を図る手法を分かりやすく学び、学校経営（運営）に必要な組織運営力、教育業務遂行力の向上を図ります。 ○講演「これからの学校における働き方改革」 ○演習「データに基づく業務改善案づくりと共有化」 講師：帝京大学教職大学院 専任講師 町支 大祐 氏 自校の勤務時間データなど具体的な情報をもとに、研修員同士の対話をもとに進めていくので、自校の取組を今一度考えることができます。明日からの学校の働き方改革に取り組むヒントが満載です。						
備考	・対象：県立高等学校及び県立特別支援学校の校長、副校長及び教頭						

No.6	マネジメント講座 9 －教職員のための勤務・サービス－								
開催日	8/22（火）	対象	教職員（幼小中高特私学事務局）				定員	無制限	
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【事務】教育キャリア開発セミナーⅠ・Ⅱ		
目標	①教職員の勤務・サービスの基礎的知識を理解する。 ②教職員の勤務・サービスに関する実践的技能について理解を深める。 ③教職員の勤務・サービスに関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。								
内容	教職員の勤務とサービスの基礎について、実際の事例を通して学びます。 教育関係職員必携を使って根拠法令を確認しながら、教職員の勤務・サービスの基礎を学びます。演習問題を解くことで理解が深まり、日常業務の中で生じた疑問を解決することのできる研修です。 ○講義・演習「教職員の勤務・サービスについて（服務規程・身分・勤務時間等）」 ○講義・演習「教職員の勤務・サービスについて（休暇・休業）」 ※講師はZoomで登壇 教職員の勤務時間制度や休暇制度について基礎から学びたい方、理解を深めたい方にお勧めです。								
備考									

No. 7	マネジメント講座10 －学校事故と情報公開－						 NEW	 オンデマンド
開催日	8/17（木）～ 11/30（木）	対象	教職員（幼小中高特私学事務局）				定員	無制限
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○教育業務遂行力 ○組織運営力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【事務】教育キャリア開発セミナーⅠ・Ⅱ	
目標	①法的視点に立った学校事故の予防と対応について理解する。 ②情報公開制度と個人情報保護の基本について理解を深める。 ③学校事故と情報公開に関する知識を職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。							
内容	オンラインによる研修です。学校事故、情報公開に関する法規を学びます。 学校管理下における事故の予防と対応方法、情報公開に係る事務について、演習問題を通して学びます。 ○講義・演習 「学校事故の予防と対応」 ○講義・演習 「情報の管理と公開方法」 職務遂行のために必要な基本的な学校事故と情報公開について理解を深めることにより、教職員に求められる教育業務遂行力の向上を図る研修です。 学校管理下における事故の予防と対応方法、情報公開に係る事務について、具体的な事例と結びつけながら学びます。							
備考	・本研修の申込締切日は、令和5年8月3日（木）です。 ・令和3年度までの「教職員のためのマネジメント講座9」と同様の内容です。							

No. 8 授業の基礎技術研修（発問・指示・板書）							
開催日	7/25（火）午後	対象	教員（幼小中高特私学事務局）			定員	20人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①発問・指示・板書における授業技術を習得する。 ②発問・指示・板書における自己課題を把握し、真摯に学び続ける姿勢を持つ。 ③発問・指示・板書における改善の視点を得て、児童生徒の実態把握や実態に即した目標設定、教材研究、学習環境の整備についての理解を深める。						
内容	授業の基礎「発問・指示・板書」の技術を向上させたい先生方へ！ 事前のeラーニングによる講義を踏まえ、教科・校種の枠を超えた少人数集団の中で一人ずつ15分程度の模擬授業を行います。また、その後の協議を通して授業の基礎技術について学び合います。自己課題を把握し、夏休み後の授業実践に生かすことができる研修です。 ○講義「授業の基礎技術研修（発問・指示・板書）」（事前にeラーニングにて行います。） ○演習「模擬授業及びグループ協議」（半日の実技演習を行います。） この研修のために新たに指導案を作成する必要はありません。これまでに実践した授業の指導案（A4版1枚の略案）を基にした板書計画を持ち寄り、模擬授業を行います。						
備考	・事前に動画視聴あり						

No. 9 国語科授業づくり研修（小）							
開催日	7/26（水）～ 11/1（水）	対象	教員（幼小中高特私学事務局）			定員	30人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次
目標	①「学習内容の改善・充実」の理念や国語科の授業構想についての知識を理解し、学習指導案を作成、修正することができる。 ②国語科における学習評価について、基礎的な知識を理解し単元の評価規準を設定することができる。 ③単元の目標に基づきICTを活用した授業の実践に向けての意欲を持ち、授業改善の計画を立てることができる。						
内容	いつでも、どこでも、何度でも、国語科の授業づくりについて学ぶことができます！ 小学校国語科の単元構想、学習評価、ICT活用について解説した15分程度の動画（全10本）を基にしたオンデマンド型の研修です。11月1日（水）には、文部科学省教科調査官を講師に迎え、講演会を開催します。国語科における基礎・基本を再確認し、授業力の向上を目指しましょう。 ○動画の視聴（eラーニング） ○動画の内容を踏まえ、これまでに作成した学習指導案を見直し、修正する。 ○web会議アプリZoomを活用しての講演会。（必修）11/1 15:00～ 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 大塚 健太郎 氏 ※講師はZoomで登壇 <研修アンケートより>「自分の都合に合わせて、研修ができたので良かった。」「教科指導について基礎から学ぶことができ、大変勉強になった。」「単元や授業づくりにおいて、今回の資料を手元に置きながら、今後も活用したい。」						
備考	・本研修の講義・演習を基に、過去の学習指導案を加筆・修正し、課題として提出していただきます。 ・文部科学省教科調査官の講演会（必修）はリアルタイム型で開催します。						

No.10 国語の単元構想力アップ研修（中・高）							
開催日	8/8（火）	対象	教員（幼小中高特私学事務局）				定員 30 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①言語活動を生かした単元構想について理解を深める。 ②目標に準拠した評価の在り方について理解を深める。 ③単元構想案の作成を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業を実践する意欲を高める。						
内容	「主体的・対話的で深い学び」を実現する国語科の単元構想とは？ 学習指導要領では言語活動の一層の充実が求められていますが、とりわけ国語科には、その要となることが期待されています。今後、ますます重要視される言語活動と、学習評価を意識した単元構想の研修を通して、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業力を養います。 ○講義「国語科授業における指導と評価の改善」 ○実践発表「指導と評価の一体化を意識した単元構想」 ○演習「主体的・対話的で深い学びのための単元構想一問の工夫と評価」 社会生活に必要な「読むこと」の資質・能力を育成する授業とは、どのようなもののでしょうか。演習では、「読むこと」の指導の単元構想に取り組み、協議を通してブラッシュアップしていきます。						
備考							

No.11 社会科授業づくり研修（小）							
開催日	8/21（月）	対象	教員（幼小中高特私学事務局）				定員 30 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①学習指導要領における授業改善のポイントについて理解を深める。 ②子どもが思考する授業づくりに必要な視点や方法について理解を深める。 ③単元構想や授業構想の手掛かりを得る。						
内容	子どもが思考する社会科の授業づくりを学びましょう！ 学習指導要領では、子どもが課題を追究したり解決したりする活動の一層の充実が求められています。問題解決的な学習を充実させるための単元構想のポイントや小学校の授業改善のヒントを考えていきましょう。 ○講演「小学校社会科における単元デザインのポイント」 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 小倉 勝登 氏 ※講師はZoomで登壇 ○講義・演習 「授業構想」「主体的・対話的で深い学びの視点からの授業づくり」「子どもが思考する社会科の授業づくり」 小学校の教員を対象とした授業設計のための基礎的な研修です。社会科の授業づくりのヒントとなるように、実践に生かしていけるような演習を行います。						
備考							

No.12 社会科授業づくり研修（中・高）							
開催日	9/27（水）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員 40 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①社会的な見方・考え方について理解する。 ②社会的な見方・考え方を働かせた問いを軸にした単元構想、授業構想について知識を得る。 ③中学校社会科、地理歴史科、公民科の授業改善について見通しを持つ。						
内容	「思考力、判断力、表現力等」を育成する授業づくりについて学びます！ 「社会的な見方・考え方」を働かせる「問い」を軸に、「思考力、判断力、表現力等」を育成する中学校社会科、高等学校地理歴史科・公民科の授業づくりのポイントを学びます。 ○講演「「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成」 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 空 健太 氏 ○講義・演習 分野別研修（地理領域・歴史領域・公民領域） 午前は講演、午後は地理、歴史、公民の分野別研修を実施します。分野別研修についてはアンケートで事前に希望を調査します。						
備考							

No.13 小学校算数科授業づくり研修							
開催日	8/22（火）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員 24 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】6年次・ステップ
目標	①学習指導要領における小学校算数科の指導の要点を理解する。 ②小学校算数科における授業づくりのポイントを理解する。 ③学習指導案の検討を通して、教科指導力や授業構想力の向上のための手掛かりを得て、授業づくりに役立てようとする。						
内容	「算数科の授業力を向上したい！」そんな先生方におすすめです。 算数科における授業づくりの基礎・基本を再確認し、授業力向上を目指す研修です。 「小学校学習指導要領解説 算数編」の編集に関わっている笠井調査官の講演を直接聴くことができます。「算数科の授業づくりに悩んでいる」「算数科の授業をさらに充実させたい」と考えている小学校の先生方におすすめの研修です。 ○講演「小学校算数科における授業づくりのポイントについて」 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 笠井 健一 氏 ※講師はZoomで登壇 ○講義・演習「算数科授業づくりのポイントを押さえた授業構想」 <研修員の声> 講演を聞いて終わるのではなく、実際に指導案を検討することで、学びが生きてくると感じました。						
備考							

No.14	中学校数学科授業づくり研修						
開催日	8/28（月）	対象	教員（幼小中高特私学事務局）				定員 24 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】6年次・ステップ
目標	①学習指導要領における中学校数学科の指導の要点を理解する。 ②中学校数学科における授業づくりのポイントを理解する。 ③学習指導案の検討を通して、教科指導力や授業構想力の向上のための手掛かりを得て、授業づくりに役立てようとする。						
内容	「数学科の授業力を向上したい！」そんな先生方におすすめです。 数学科における授業づくりの基礎・基本を再確認し、授業力向上を目指す研修です。 全国学力・学習状況調査に深く関わっている伊吹調査官の講演を直接聴くことができます。「数学科の授業づくりに悩んでいる」「数学科の授業をさらに充実させたい」と考えている中学校の先生方におすすめの研修です。 ○講演「全国学力・学習状況調査を踏まえた中学校数学科における授業づくりのポイント」 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 学力調査官 伊吹 竜二 氏 ※講師はZoomで登壇 ○講義・演習「数学科授業づくりのポイントを押さえた授業構想」 ＜研修員の声＞ 生徒の実態に合った必要感のある問いや、単元を貫く課題について見直す機会となりました。						
備考							

No.15	高等学校数学科授業づくり基礎研修						
開催日	8/21（月）	対象	教員（幼小中高特私学事務局）				定員 20 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①高等学校数学科の統計分野における「付きたい力」について理解する。 ②小中学校での学習内容を踏まえた上で、高等学校における指導方法等について理解する。 ③統計分野の学習を通して問題解決能力や新たな課題を見いだす能力を育成する授業を実践する意欲を高める。						
内容	仮説検定について学び、授業構想を考える研修です。 ○講義「統計教育」 ○講義「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業構想」 ○演習「授業構想の作成」 データサイエンスって何？主張したいことは、帰無仮説それとも対立仮説のどちら？ 有意水準は、5%それとも1%？帰無仮説を棄却したら、対立仮説は正しいの？ 仮説検定について1から学び、これらの疑問を解決します！ ぜひ、数学Ⅰ、数学Ⅱの統計分野を扱う際のヒントを得てください。						
備考							

No.16 小学校理科教材づくり研修							
開催日	9/1 (金)	対象	教員 (幼 小 中 高 特 私学 事務局)				定員 24 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①小学校理科の基礎的な観察・実験方法や、授業における教材・教具の扱い方に関する知識・技能を習得する。 ②学習指導要領の趣旨を踏まえ、児童生徒の実態把握や実態に即した目標設定、教材研究、評価、学習環境の整備についての理解を深める。 ③理科教育における今日的な課題や動向について関心をもち、真摯に学び続ける姿勢を持つ。						
内容	「理科の授業づくり(講演)」と「観察・実験の教材づくり(演習)」を行います。 理科の授業力を向上させたい、そんな先生におすすめです。 日程＜午前＞講演「『指導と評価の一体化』を実現し、資質・能力を育む理科の授業づくり」 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 有本 淳 氏 ＜午後＞演習「観察・実験の教材づくり」 本年度は、「エネルギー領域」・「生命領域」の内容を扱います。 「エネルギー領域」については、光や電気についての物理実験等を行います。 「生命領域」については、顕微鏡を用いた観察等を行います。 「理科が専門でない」、「理科の授業の経験が浅い」、「理科の授業づくりを深めたい」という方におすすめです。						
備考							

No.17 中学校理科教材づくり研修							
開催日	8/22 (火)	対象	教員 (幼 小 中 高 特 私学 事務局)				定員 24 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①中学校学習指導要領の趣旨や内容、児童生徒の実態把握や実態に即した目標設定、教材研究、評価、学習環境の整備についての理解をより一層深める。 ②中学校理科の基礎的な観察・実験方法や、授業における教材・教具の扱い方に関する知識・技能を習得する。 ③理科教育における今日的な課題や動向について関心を持ち、真摯に学び続ける姿勢を持つ。						
内容	「中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 理科編」をふまえた理科の授業づくりや、教材・教具の制作方法等の基礎を学びます。 日程＜午前＞講演「これからの理科教育で求められる授業づくりの視点（仮）」 講師：日本大学文理学部 総合文化研究室教授 野内 頼一 氏 ＜午後＞演習「観察・実験の教材づくり」 本年度は、「粒子領域」・「地球領域」の内容を扱います。 「粒子領域」については、化学変化とイオンについての化学実験等を行う予定です。 「地球領域」については、地学実験や化石の観察等を行う予定です。 講演と演習は、ともに平成29年告示の学習指導要領を意識した内容です。 「これからの理科の授業について深く考えたい」という方におすすめです。						
備考	・講師の役職が変わりました。						

No.18 高等学校理科教材づくり研修							
開催日	8/8 (火)	対象	教員 (幼 小 中 高 特 私学 事務局)				定員 24 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①高等学校理科の観察・実験方法や、授業における教材・教具の扱い方に関する知識・技能を習得する。 ②4科目における観察・実験方法を学ぶことで、専門性を高めるとともに、非専門科目の授業力向上を図る。 ③高等学校学習指導要領の趣旨や内容について確認し、ICTを効果的に活用した授業構想について理解を深める。						
内容	観察・実験を通した探究活動を考えている先生にお勧めです。 高等学校理科における教材・教具の扱い方や製作方法、基礎的な観察・実験方法などを学ぶことを通して、基礎・向上期及び充実・発展期に求められる授業力、その他の資質能力の向上を図ります。 ○観察・実験Ⅰ：地学基礎に関するもの ○観察・実験Ⅱ：生物基礎・生物に関するもの ○観察・実験Ⅲ：物理基礎・物理に関するもの ○観察・実験Ⅳ：化学基礎・化学に関するもの 専門科目・非専門科目に関係なく、4科目全ての観察・実験を行います。						
備考	・ 事前に動画視聴あり						

No.19 小学校英語指導力向上研修							
開催日	8/17 (木)	対象	教員 (幼 小 中 高 特 私学 事務局)				定員 70 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①学習指導要領に対応した小学校外国語教育における授業づくりの視点を持つことができる。 ②教材やICTを効果的に活用した授業展開など、小学校外国語教育の要点を理解する。 ③外国語科の授業の評価の仕方について学び、指導と評価の一体化を図った授業づくりについて理解を深める。						
内容	子どもが自分の考えや気持ちを生き生きと伝え合う言語活動を中心に据えた授業づくり 外国語科における授業づくりの視点をもとに、講演・演習を通して言語活動を単元の中心に据えた授業づくりについて学びます。 ○講演「外国語活動と外国語科における授業づくり及び評価の視点」 講師：文部科学省 初等中等教育局 視学官 直山 木綿子 氏 ○演習「コミュニケーションの目的、場面、状況等を明確にした単元構想」 文部科学省初等中等教育局視学官 直山木綿子氏から、外国語活動・外国語科の授業づくりについて、お話を伺うことができます。講演で得た気づきを演習に生かしながら、一緒に学びを深めていきましょう。						
備考							

No.20 英語教員のためのCAN-DOテスト作成研修							
開催日		8/7（月）午後	対象	教員（幼小中高特私学事務局）			定員 50 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任
目標	①CAN-DOリストに基づく言語活動を中心とした授業づくりについて理解する。 ②言語活動を中心とした授業における評価の在り方について理解する。 ③CAN-DOリストに基づいたテスト作成の方法を身に付ける。						
内容	英語を使って「何ができるようになるか」の指導における評価力を高めよう！ 学習指導要領における外国語の教科指導の在り方について理解を深めることにより、目標に準拠した指導と評価の改善について、特にテスト作成のポイントについて学び、評価力の向上を図ります。 ○講演・演習「CAN-DOリストに準拠した指導と評価の一体的な改善について」 講師：敬愛大学 国際学部国際学科 教授 向後 秀明 氏 ○演習「何ができるか」の視点によるテスト改善 英語を使って「何ができるようになるか」を明確にした指導の結果、生徒が「何ができるようになったか」を適切に評価するためのテスト作成について悩んでいる先生方におすすめです。半日のオンライン研修になりますので、ぜひヒントを得てください！						
備考							

No.21 音楽科授業づくり研修							
開催日		8/21（月）	対象	教員（幼小中高特私学事務局）			定員 20 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】6年次・ステップ
目標	①児童・生徒の発達段階を把握し、学びの系統性を踏まえた授業構想についての知識を得る。 ②音楽づくり・創作の演習を通して協働的な授業展開について理解する。 ③講演・演習で得た知識や技能を授業に活用する意欲を高める。						
内容	創造性を育む「音楽づくり・創作」の授業づくり 「音楽づくり・創作の授業の大切さは理解しているけれど、活動の工夫や評価が難しいと思ってしまいます。」「児童生徒が創造性を発揮できるような授業構想を教えてください。」という声におこたえた研修です。基礎から一緒に学びましょう。 ○講演「授業で活かせる音楽理論入門」 ○演習「教科書を用いた基礎演習」「グループによる授業構想づくり」 講師：静岡大学教育学部 助教 東屋敷尚子 氏 「音楽づくり・創作」について理解し、研修後に授業で活用できるような基礎演習を多く行う研修です。楽器やICTを活用し、児童生徒の思考の流れをイメージしながら実際に旋律をつくっていきましょう。						
備考	・特別支援学校、高等学校については、定員を各4名までとします。 ・講師が変更になりました。						

No.22 図画工作科・美術科授業づくり研修 中部							
開催日	8/18（金）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員 20 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①学習指導要領の趣旨及び要点について理解する。 ②身近な美術作品を活用し、表現と鑑賞を関連させた授業を構想することで、学習効果を高める授業展開について考える。						
内容	美術館で図画工作科・美術科の授業を考えてみませんか 「図画工作科・美術科で育成を目指す資質・能力って何？」「表現と鑑賞を相互に関連させた授業はどうやってつくるの？」等について、一緒に考えてみましょう。きっと9月からの授業のヒントが見つかります。 ○講演「学習指導要領に基づく図画工作科・美術科の授業について」 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 平田 朝一 氏 ○演習「県立美術館の作品を使った授業構想」 〈R4受講者の声〉学習指導要領の内容に対する具体的な実践の紹介があり、分かりやすかったです。自分も紹介にあったような授業にチャレンジしてみたいと思いました。						
備考	・会場：静岡県立美術館						

No.23 技術・家庭科（技術分野）授業づくり研修 中部							
開催日	8/1（火）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員 10 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①「プログラミング」「制御と計測」を中心に学習指導要領で扱う内容について理解する。 ②日頃の教育実践を振り返り、授業改善の手掛かりを得る。 ③所属校における具体的な指導内容や方法を構想するための手法を理解する。						
内容	生徒が主体的に問題解決に取り組む授業づくりを考えましょう！ 「技術分野の学習過程」を意識し、内容D「情報の技術」に関する教材研究を行います。「技術による問題の解決」における「設計」について考えることで、主体的・対話的で深い学びを実現する題材を構想するための手掛かりを得ることができます。 ○講演「技術分野の学習過程を生かし、主体的・対話的で深い学びを実現する題材構想」 ○演習「内容D『情報の技術』における教材研究、演習」 講師：静岡大学教育学部 教授 紅林秀治 氏 免許外の先生、機器の操作が苦手な先生も参加できる内容です。他校の技術科の先生と情報交換もでき日頃の悩みを共有できます。昨年度、先生方の研修満足度100%の研修です。						
備考	・会場：静岡大学教育学部B棟 ・演習に必要な端末、機器等は、センターが用意します。						

No.24	家庭科授業づくり研修（小・中）							
開催日	8/22（火）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員	35 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ	
目標	①学習指導要領における家庭科の指導の要点を理解する。 ②学習過程をもとにした題材構想や授業構想の手掛かりを得る。							
内容	家庭科における授業づくりのポイントを一緒に学びましょう。 3名の講師を招いた家庭科教育のさまざまな領域について学ぶことのできる研修です。悩む先生も多い「課題と実践」や最近話題の「消費者教育」、「ICTの効果的な活用事例」などについても話題にします。夏休み明けから活用できる消費者教育教材を使った演習もあります。 ○講演「家庭科の本質に迫る授業づくり」 講師：静岡大学学術院 准教授 小清水 貴子 氏 ※講師はZoomで登壇 ○講義「県内の消費トラブルの実例、消費生活センターの活用」 講師：県民生活課職員、西部県民生活センター消費生活相談員 ○講義・演習「消費者教育」 「家庭科の授業経験が浅いから不安だな。」「成人年齢引き下げによる消費者教育って、どう取り組みればいいの？」などの声におこたえする研修です。							
備考								

No.25	家庭科／福祉科教員のための 技術力・指導力向上研修 中部							
開催日	8/21（月）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員	12 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【特支】6年次・ステップ	
目標	①講義・演習を通して、専門教育の指導に関する新しい知識・技術を習得する。 ②学習指導要領の趣旨及び教科で育成を目指す資質・能力について理解を深める。 ③家庭科/福祉科の指導の改善について理解を深める。							
内容	「高齢者の尊厳と介護、生活支援の技能」に関する理解を深め、指導力の向上を目指す研修です。 高等学校家庭科では、高齢化の進展に対応して、高齢者の尊厳と介護（認知症を含む）に関する内容、高齢者の生活支援に関する技能などの内容の充実が図られています。講義と演習（実技）を通して、理解を深め、授業づくりや授業改善の手がかりを得ましょう。 ○講演「高齢者の尊厳と自立生活の支援とは？」 ○講演・演習「生活支援に関する基礎的な技能」 講師：静岡福祉大学社会福祉学部 教授 新井 恵子 氏							
備考	・講義・演習では、高等学校 家庭科の授業を想定した内容を行います。 ・午後の演習では、介助に関する技能について体験的に学びます。 ・会場:静岡福祉大学（焼津市）							

No.26 小学校におけるプログラミング教育実践研修							
開催日	8/21（月）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員 24 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①学校におけるプログラミング教育の基本的な考え方の理解を図る。 ②教科等でのプログラミング教育の指導方法を知る。 ③プログラミング教育の演習を通して、簡単なプログラムを組む技能を身に付ける。						
内容	必修化されたプログラミング教育の着実な実施に向けて学びませんか？ 「プログラミング教育って何をすればいいの？」「プログラミングで育てる論理的思考って何？」そんな疑問が解消できます。初めてプログラミングをする先生方にも分かりやすい演習です。Scratchの他、小学校低学年から扱うことのできるアプリやmicro:bitなどを操作しながら研修を行います。 ○講演「学校におけるプログラミング教育の基本的な考え方」 ○演習「小学校におけるプログラミングの実践」 講師：静岡大学情報学部 講師 遠山 紗矢香 氏 プログラミングを授業で扱わなくてはならない、小学校5年算数科、6年理科を受け持つ先生が、指導のイメージをもつのに最適な研修です。						
備考	・演習に必要な端末、機器等は、センターが用意します。						

No.27 GIGAスクール構想とICT機器を活用した授業実践研修（入門編）							
開催日	8/24（木）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員 30 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①クラウドとICT機器を活用した授業改善の基本的な考え方の理解を図る。 ②ICT機器を活用した演習から、実際の指導の手がかりを得る。 ③ICT機器を活用した具体的な授業改善の計画を立てる。						
内容	問題解決・探究における学習場面を中心にICTの活用方法を学びます。 「クラウドやICT機器をどうやって授業に活かせばいいの？」「どんな場面でICTを活用するかわからない。」「準備はどうすればいいの？」そんな疑問が解消できます。ICT機器の操作が苦手な先生方にも分かりやすく演習を行っていきます。小中学校の実践を想定して研修を進めますが、小中学校の先行事例を知りたい高等学校の先生にも役立つ研修です。 ○講演「GIGAスクール構想下での主体的・対話的で深い学びの在り方」 ○演習「教科等の学習場面を想定したコンテンツの活用体験」 講師：静岡大学情報学部 講師 遠山 紗矢香 氏 端末の操作が苦手な先生を対象とします。操作に慣れている先生はオンライン編に挑戦してください。Google Workspaceを使用しますが、Microsoft Teamsなどにも応用できます。						
備考	・小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の定員を各7名程度とします。 ・演習に必要な端末は、センターが用意します。						

No.28	GIGAスクール構想とICT機器を活用した 授業実践研修（オンライン編）						 リアルタイム	
開催日	8/24（木）午後	対象	教員（幼 小 中 高 特 私立 事務局）				定員	36 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次	
目標	①クラウドとICT機器を活用した授業改善の基本的な考え方の理解を図る。 ②ICT機器を活用した演習から、実際の指導の手掛かりを得る。 ③ICT機器を活用した具体的な授業の計画や授業改善の方法を考える。							
内容	オンラインで効率的にICTの活用方法を学びます。 クラウドやICT機器の操作方法に慣れてきた先生方に向けての研修です。「授業でICTを活用しているけれど、本当に資質・能力の育成に役立っているの？」「もっと効果的な活用方法はないだろうか？」そんな悩みを解決する手がかりを得ることができる研修です。 ○講演「GIGAスクール構想下での主体的・対話的で深い学びの在り方」 ○演習「教科におけるコンテンツの活用体験と授業改善の検討」 講師：静岡大学情報学部 講師 遠山 紗矢香 氏 ※講師はZoomで登壇 オンライン（午後のみ）で開催します。Zoom、Googleへのログインなど基本的な操作ができれば大丈夫です。Google Workspaceを使用しますが、Microsoft Teamsなどにも応用できます。							
備考	・総合教育センターから発行されたIDでGoogle Classroomにログインできる端末が必要です。 ・アカウントは研修3週間前までにお伝えします。							

No.29	小学校体育指導者講習会							
	開催日	静西8/3（木）午後 静東8/4（金）午後	対象	教員（幼 小 中 高 特 私立 事務局）			定員	各70 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力		キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①学習指導要領の内容の理解を深める。 ②学習指導要領の内容理解を踏まえ、授業改善の視点を明確にする。 ③講師より伝達される講義、実技、演習を通して、具体的な指導方法を学ぶ。							
内容	指導のコツが学べ、明日からの授業にすぐに生かせる大人気の研修です。 子供たちが楽しさや喜びを実感できる授業が、豊かなスポーツライフの実現につながります。本研修では、子供たちが「わかった」「できた」「楽しい」「嬉しい」を実感できる授業づくりについて、実技や講義を通して学ぶことができます。 「体育・保健体育指導力向上研修（スポーツ庁主催）」に参加した講師による伝達講習会です。会場を一般体育館／会議室とし、熱中症に配慮した上で研修を実施する予定です。 資質・能力を育むことができる授業づくりのヒントが満載です。							
備考	・実施要項（講習会の詳細）は6月中旬頃、市町教育委員会を通じて関係学校に通知します。会場や日程等を御確認の上、研修管理システムにてお申し込みください。 ・人数が定員を超えた場合、人数の制限をする可能性があります。 ・日程の都合がつかない場合、別管内で行われる講習への参加も可能です。							

No.30	中学校体育指導者講習会						
開催日	静西8/3（木）午前 静東8/4（金）午前	対象	教員（幼 小 中 高 特 私立学 事務局）				定員 各70 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①学習指導要領の内容の理解を深める。 ②学習指導要領の内容理解を踏まえ、授業改善の視点を明確にする。 ③講師より伝達される講義、実技、演習を通して、具体的な指導方法を学ぶ。						
内容	指導のコツが学べ、明日からの授業にすぐに生かせる大人気の研修です。 子供たちが楽しさや喜びを実感できる授業が、豊かなスポーツライフの実現につながります。本研修では、子供たちが「わかった」「できた」「楽しい」「嬉しい」を実感できる授業づくりについて、実技や講義を通して学ぶことができます。 「体育・保健体育指導力向上研修（スポーツ庁主催）」に参加した講師による伝達講習会です。会場を一般体育館／会議室とし、熱中症に配慮した上で研修を実施する予定です。 資質・能力を育むことができる授業づくりのヒントが満載です。						
備考	・本研修は、参加を必須とする対象者がいます。（経験年数・年齢による悉皆対象者） ・実施要項（講習会の詳細）は6月中旬頃、市町教育委員会を通じて関係学校に通知します。会場や日程等を御確認の上、研修管理システムにてお申し込みください。悉皆対象者以外の参加も受け付けます。 ・日程の都合がつかない場合、別管内で行われる講習への参加も可能です。						

No.31	高等学校体育指導者講習会 中部						
開催日	8/2（水）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私立学 事務局）				定員 150 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①学習指導要領に対応した授業実践を体験することで、知識や理解を深める。 ②学習指導要領に関する知識や理解から、教材に活用できる見通しを持つ。 ③自己の授業改善の視点を明確にし、授業づくりへの意欲を高める。						
内容	体育・保健体育指導力向上研修（スポーツ庁）に参加した講師による伝達講習です。 体力や技能の程度、年齢や性別及び障害の有無等にかかわらず、スポーツの多様な楽しみ方を社会で実践できるよう、体育が苦手な児童生徒のための授業づくりを通して、運動やスポーツに親しむ資質・能力及び運動が健康に果たす役割、健康な生活を実践するための資質・能力の育成を図るなど、学習指導要領に対応した授業づくりのポイントについて理解を深めます。 〈研修者の声〉 ・体育授業の質を高めるために、指導と評価についての実践を進めていきたいと思います。 ・評価についてもポイントを分かりやすく伝えてもらい大変参考になりました。						
備考	・会場は、静岡県草薙総合運動場などの公営施設を予定しています。 ・実施要項（実施種目・講師等）は6月に関係学校に通知します。内容を確認の上、通知された様式で申し込んでください。						

No.32	学校体育実技（武道）認定講習 中部						
開催日	8/22（火）～24（木）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）			定員	20 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①武道（柔道）の指導に関する知識や理解を深める。 ②武道（柔道）の指導に関する自己の課題を明確にする。 ③武道（柔道）の技術を向上させる（昇段する）。						
内容	柔道の技能及び指導力の向上を目指して！（3日間連続の講習です。） 懇切丁寧な指導により、確実に柔道の技能及び指導力が向上します。 県柔道協会から派遣された経験豊富な先生方の懇切丁寧な指導により、柔道の指導に必要な知識を深めるとともに技能を高めます。 最終日には協会主催の昇段審査が実施され、段位の取得が可能です。						
備考	・剣道と柔道を隔年で実施します。本年度は柔道を実施します。 ・会場：県武道館（藤枝市） ・講習会終了後、協会主催の昇段審査会を実施します。（希望者のみ実施。審査料がかかります。） ・詳細は、6月上旬、関係学校に通知します。						

No.33 No.34	特別の教科 道徳授業づくり研修① ②東部						
開催日	①9/6（水） ②9/8（金）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）			定員	各30 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①講義により、道徳教育及び特別の教科 道徳の授業づくりについて理解する。 ②教材分析シートを活用して、教材の特性を生かした中心発問づくりの手掛かりを得る。 ③授業記録の分析を実施し、「多面的・多角的な見方」「自我関与」の視点からの見取りと評価の在り方について視野を広げる。						
内容	みんなで「特別の教科 道徳」の授業づくりをしませんか？ 特別の教科 道徳の授業づくりについて学ぶ研修です。講義や演習を通して、教材研究をしてみませんか。授業改善の視点や評価についても一緒に考えていきましょう。 ○講義「道徳教育及び『特別の教科 道徳』の授業づくり」 ○演習「教材分析シートを用いた中心発問づくり」 ○演習「授業分析と協議」 ○講義「子供の成長を促すための評価」 ・明日からの「特別の教科 道徳」の授業づくりに生かせる、実践的な研修です。 ・静東地区の先生方も参加しやすいように、沼津市の会場でも開催いたします。						
備考	会場：①総合教育センター ②東部総合庁舎						

No.35 商業科教員のための授業づくり研修							
開催日	7/28（金）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員 12 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①本県の商業教育の現状と課題について理解する。 ②マーケティング的な発想力・思考力を高める授業づくりや、マーケティングを現実社会やビジネスの課題にいかに関与しようとする意欲を高める。 ③自己の授業改善の視点を明確にし、授業に活用できる見通しを持つ。						
内容	主体的・対話的で深い学びの充実をケースメソッドを利用して考えます。 参加者中心型学習の一つとして注目を集めるケースメソッドの考え方、教授法、ケース作成方法について、具体的な例を用いて学びます。ケースメソッドによる主体的・対話的で深い学びを通して、魅力的な商業教育につながる授業力の向上を図ります。 ○講演「ケースメソッドを取り入れた商業教育の可能性」 ○演習「主体的な学びにつながるケースメソッドの教授法・ケース作成法」 講師：名古屋商科大学大学院 准教授 小山 龍介 氏 新商品開発や新規事業プロデュースを手掛ける一方、企業研修を多数行っている実績をもち、ハーバード・ビジネススクール公式プログラム「GloColl」を修了した講師からケースメソッドを取り入れた商業教育について学びます。						
備考							

No.36 工業科教員のための技術力・指導力向上研修							
開催日	7/27（木）～28（金）	対象	産業教育（工業）を担当する教員、実習助手				定員 10 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①実技系科目（電子回路組立）の授業改善に必要な教科領域専門性の向上のための知識と技術を高める。 ②実技系科目の有効な評価方法を学び、授業力の向上のための指導手法を知る。 ③実技系科目の授業力に関する自己の課題を明確にし、授業改善への意欲を高める。						
内容	電子回路組立の指導技術の向上を目指します！ 産業教育と生徒の技能向上に関する知識と高度な技術の習得を目指す研修です。 ○実習・演習「産業教育と、生徒の技能向上に関する知識と高度な技術の習得」 ○講義・演習「学習指導要領に対応した授業改善の手法の習得」 電子回路の製作を行い、その電子回路を動作させるためのプログラミング作成を行います。電子回路製作とプログラミングに興味のある方や、スキルアップしたい方に適した2日間の研修です。						
備考	・内容等の詳細は後日、関係高等学校に通知します。他の研修と申し込み方法が異なりますので、通知に記載された方法で申し込んでください。						

No.37 S T E A M教育基礎研修							
開催日		8/23（水）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）			定員 100 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次
目標	① S T E A M教育の概念について理解する。 ② S T E A M教育を取り入れた授業づくりの視点を得る。 ③ S T E A M教育を取り入れた授業づくりへの意欲を高める。						
内容	教科等横断的な学習について学ぶ研修です。 Science、Technology、Engineering、Mathematicsに加え、芸術、文化、生活、経済、法律、倫理等を含めた広い範囲でA（Liberal Arts）を定義し、各教科等での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育の推進が求められています。 講演を通して S T E A M教育について学んでみませんか？ 「S T E A M教育」講師：静岡大学教育学部 名誉教授・特任教授 熊野 善介 氏 「デザイン思考」講師：静岡文化芸術大学デザイン学部 教授 磯村 克郎 氏 ※講師はZoomで登壇 〈研修員の声〉海外の様子を意識することができました。課題研究で取り入れたい。普段考えることのない視点について考え、視野が広がりました。発想、アイデアを出すグループワークを授業に取り入れたい。						
備考							

No.38 高等学校共通教科情報「情報Ⅰ」基礎研修							
開催日		7/28（金）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）			定員 28 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	① 高等学校学習指導要領共通教科「情報」の指導内容や指導方法について理解する。 ② 科目「情報Ⅰ」の「アルゴリズムとプログラミング」について授業実践に向けた資質・能力を身に付ける。						
内容	「情報Ⅰ」の「アルゴリズムとプログラミング」の指導について学びます。 「情報Ⅰ」について「アルゴリズムとプログラミング」の指導方法について不安はありませんか？昨年度に公表された大学入学共通テスト試行問題における、この分野の取扱いも気になるところです。生徒の資質・能力の育成につながる指導法のヒントを得るために、ともに学びませんか？ ○講義「大学入学共通テストに向けて」 ○講演・演習「アルゴリズムとプログラミング」 講師：静岡県立大学経営情報学部 教授 湯瀬 裕昭 氏 〈研修員の声〉「アルゴリズムやattoをはじめとして知らなかったサービスを多く知ることができました。」「一部は授業でそのまま使えそうなので、二学期の授業に取り入れるつもりです。」「幅広い内容で、授業で使えそうなネタが見つかりました。」						
備考							

No.39 産業教育専門研修Ⅱ期（農業・水産） 中部							
開催日	8/23（水）	対象	産業教育（農業・水産）を担当する教員（高）			定員	10 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①専門教育の現状と課題を踏まえ、専門教育に携わる教員としての役割を自覚する。 ②専門教育の取り組み方向性について話し合うことを通して、教科横断的な視点を身に付ける。 ③魅力ある専門教育を推進するために必要な、専門的知識・技術を習得する。						
内容	「農業におけるマーケティング」とは何か？～考え方やポイントを学ぼう！～ 高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説農業編では、経営感覚の醸成と商品開発などへつなげるために、「農業経営」、「食品流通」でマーケティングに関する学習内容を充実すること、「野菜」、「果樹」、「草花」などにおいて、起業や六次産業化に関わる内容を扱うことが示されています。本研修では学習指導要領改訂に携わった岩崎邦彦氏を講師に、農業におけるマーケティングやブランド化について学びます。 ○講演「農業のマーケティング」 講師：静岡県立大学経営情報学部 教授 岩崎 邦彦 氏 ○演習「農産物のブランド化を考える」 <研修員の声>講演を聴き、「なるほど」と思うことがたくさんありました。授業でマーケティングを実践するために、多くの先生に聞いてほしい内容でした。						
備考	・産業教育専門研修Ⅱ期として行います。（Ⅱ期のみ希望研修の枠を設けます。） ・会場：静岡県立大学経営情報学部 ・本研修は、目標③の内容を中心に行います。						

No.40 産業教育専門研修Ⅱ期（商業）							
開催日	8/23（水）	対象	産業教育（商業）を担当する教員（高）			定員	10 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①専門教育の現状と課題を踏まえ、専門教育に携わる教員としての役割を自覚する。 ②専門教育の取り組み方向性について話し合うことを通して、教科横断的な視点を身に付ける。 ③魅力ある専門教育を推進するために必要な、専門的知識・技術を習得する。						
内容	各学校の実情に沿って探究活動を考えるきっかけとなる研修です！ 「問題分析」や「課題解決」の演習を通して、社会とつながる授業づくりをデザインします。 ○講演「課題解決だけでなく課題設定の力をどう身につけさせるか」 ○演習「創造的問題解決手法を踏まえた探究活動のデザイン」 講師：静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾 氏 研修員同士の対話とツールを体験しながら自校の取組を今一度考えることで、商業教育における探究学習のヒントとなる情報を得ることができます。						
備考	・産業教育専門研修Ⅱ期として行います。（Ⅱ期のみ希望研修の枠を設けます。） ・本研修は、目標③の内容を中心に行います。						

No.41 産業教育専門研修Ⅱ期（家庭・福祉）							
開催日	8/23（水）	対象	産業教育（家庭）を担当する教員（高）			定員	10 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①専門教育の現状と課題を踏まえ、専門教育に携わる教員としての役割を自覚する。 ②専門教育の取り組む方向性について話し合うことを通して、教科横断的な視点を身に付ける。 ③魅力ある専門教育を推進するために必要な、専門的知識・技術を習得する。						
内容	家庭科の授業力向上を目指す研修です。 家庭科で育成を目指す資質・能力を再確認し、自身の授業実践を振り返り、授業づくりや授業改善の手がかりを得ていきましょう。研修員同士の授業実践も情報共有できるため、授業づくりのヒントがたくさん得られる研修です。 ○講演「高等学校家庭科における主体的・対話的な授業」 ○講演・演習「目指す資質・能力の育成と授業構想」 講師：横浜国立大学教育学部 教授 堀内 かおる 氏 家庭科教育を専門とし、高校生向けの書籍を刊行したり、オープンキャンパス等で高校生対象の公開授業を実施している堀内かおる氏から、授業づくりについて直接お話を伺えます。						
備考	・本研修は、目標③の内容を中心に行います。 ・産業教育専門研修Ⅱ期として行います。（Ⅱ期のみ希望研修の枠を設けます。） ・共通教科「家庭」の学習指導案（作成済みのものがあれば）や授業で使用したワークシート等を御持参いただきます。						

No.42 高等学校キャリア教育研修 －生徒のキャリア発達支援－							
開催日	12/21（木）	対象	教員（幼小中高特私学事務局）			定員	30 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①キャリア教育の理念や基礎知識に関する理解を深める。 ②生徒のキャリア形成と自己実現のための支援について理解する。 ③教育課程全体を通じて推進するキャリア教育について理解する。						
内容	特別活動を要としたキャリア教育について学ぶ研修です。 実際のキャリア教育の指導計画の作成等を、研修員同士が協働的に学びます。キャリア教育を通して育成を目指す基礎的・汎用的能力を、各学校が生徒の実態に応じてどのように育成していけばいいのかについて理解を深めます。 ○講演「学習指導要領におけるキャリア教育」 講師：国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官 長田 徹 氏 ○講義・演習「キャリア教育の理念」 「生徒のキャリア発達を支援するキャリア教育デザイン」 〈研修員の声〉キャリア教育の目的を明確にし、計画を立てることの重要性を理解することができました。これからは生徒が主体的に行動していけるような特別活動を展開していきたいと思います。						
備考							

No.43 「高3担任」進学指導スキルアップ研修							
開催日	2/9（金）	対象	教員（幼小中高特私学事務局）				定員 30 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【特支】6年次・ステップ
目標	①学級経営に必要な大学進学のための進路指導の方法について理解する。 ②キャリア教育を踏まえた進路検討会の在り方について理解する。 ③個に応じた面談指導についての技能を知る。						
内容	担任として自信を持って進学指導を行うための第一歩としませんか？ 高等学校3年生の担任として大学進学を希望する生徒を支援するために必要な知識を学びたいと考える教員や進路指導を担当する基礎・向上期の教員に適した研修です。 ○講義「高3担任の進路指導」 ○演習①「進路データの分析と模擬進路検討会」（模擬試験等のデータ分析を通じた資料活用） ○演習②「面談指導」（生徒一人ひとりに対応した適切な面談指導） 「高3担任として、いつ何をすべきか知りたい」「進路検討会で資料やデータを活用したい」「進路決定時の面談のポイントを押さえたい」このような先生方にお勧めです。						
備考							

No.44 探究指導者養成研修（課題設定編） －高等学校魅力化につながる総合的な探究の時間の充実に向けて－							
開催日	8/23（水）	対象	教職員（幼小中高特私学事務局）				定員 25 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①総合的な探究の時間の基本的な考え方について理解を深める。 ②総合的な探究の時間の単元構想、探究の指導方法について理解を深める。 ③ファシリテーションの価値・可能性を理解し、生徒の探究を支援しようとする意欲を高める。						
内容	「総合的な探究の時間」の指導で悩んでいる先生方のための研修です。 「総合的な探究の時間」の指導を充実させたいけれど上手くいかない、生徒が主体的に取り組む探究活動を実現したいけれど、どうしたらいいのかな…こんなお悩みを、ワークショップを中心とした研修で楽しく解決してみませんか？研修員同士の情報交換や質疑応答の時間も設けています。 ○講演・演習「探究学習実践ワークショップ～課題設定編」 講師：産業能率大学経営学部 教授 杉田 一真 氏 〈研修員の声〉「どうしよう、という焦りもありますが、先生方と協力してやらなければならないこと、生徒だけでなく、先生方も主体的に一緒に学んでいくことが大切だと感じました。」「生徒一人ひとりと対話しながら課題を引き出すロールプレイは本当に勉強になりました。」「課題設定の指導の仕方で本当に悩んでいたの、今日の研修がとてもありがたかったです。」						
備考							

No.45 探究指導者養成研修（調査・分析編） －高等学校魅力化につながる総合的な探究の時間の充実に向けて－							
開催日	12/26（火）	対象	教職員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員 25 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①総合的な探究の時間の単元構想、探究の指導方法について理解を深める。 ②データサイエンスの考え方を踏まえた調査・分析法について理解を深める。 ③ファシリテーションの価値・可能性を理解し、生徒の探究を支援しようとする意欲を高める。						
内容	「総合的な探究の時間」の指導で悩んでいる先生方のための研修です。 「総合的な探究の時間」を充実させたいけれど「調べ学習」の域を出ることができない、設定した課題に対してもっと深く考察させたいけれど上手いかわからない、そんな悩みをお持ちではないですか？データサイエンスの考え方を取り入れた調査・分析法の習得を通して指導力の向上を図ります。ワークショップを中心とした研修で楽しく学べます。研修員同士の情報交換や質疑応答の時間も設けています。 ○講演・演習「探究学習実践ワークショップ～調査・分析編」 講師：産業能率大学経営学部 教授 杉田 一真 氏 質問紙調査（アンケート）にも「作法」があります。このちょっとした「作法」を学ぶだけで、ワンランク上の指導が実現できます。生徒に「調べ学習」で満足させない、新たな問いを発見させ、夢中になって取り組むような探究のサイクルを回す指導について、学べるチャンスです。						
備考	課題設定編を受講していない方も申し込みます。						

No.46 S D G s 教育推進研修							
開催日	7/14（金）午後	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員 40 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力 ○生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	・SDGsの理念や17の目標、企業や学校のSDGsに関連する事例を理解する。 ・校内外の資源を活用しながら、自校において子どもたちに持続可能な社会をつくる力を育む教育活動を計画する。 ・自校においてSDGs教育を推進しようとする意欲を高める。						
内容	持続可能な社会の担い手を育む教育活動とは？ SDGsについて理解を深め、自校の教育活動と関連付けながら、子どもたちに持続可能な社会をつくる力を育む取組について考える研修です。SDGs教育を推進するための手掛かりを得ることができます。 ○講義「SDGsの理念及び企業や学校におけるSDGs教育の推進」（仮） 講師：静岡大学教育学部 教授 田宮 縁 氏 ○実践発表「本校におけるSDGs教育」 発表者：静岡県SDGsスクールアワード2022受賞校（予定） ○グループワーク「SDGs教育の取組を考えよう」						
備考							

No.47 ヤングケアラー支援のための資質向上研修							
開催日		2/8（木）午前	対象	教員（幼 小 中 高 特 私立学 事務局）			定員 50 人
発揮向上を目指す資質能力		○教育的素養・総合的人間力 ◎生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択 【小中】6年次 【特支】初任
目標		○ヤングケアラーの実態や支援方法について理解する。 ○自校においてヤングケアラーを支援するための体制づくりや具体的な取組を計画する。 ○自校においてヤングケアラーを組織的に支援しようとする意欲を高める。					
内容		ヤングケアラーの実態は？ 学校ではどのような支援ができるの？ ヤングケアラーの実態や支援方法について理解を深めるとともに、ヤングケアラーを支援するための体制づくりや具体的な取組を考える研修です。 ○講義「ヤングケアラーの実態や支援方法及び学校の役割や取組」（仮） 講師：埼玉県立大学保健医療福祉学部・同大学院保健医療福祉学研究科 教授 上原 美子 氏 ※講師はZoomで登壇 ○行政説明「県のヤングケアラーの状況や市町の支援状況等」 静岡県健康福祉部こども家庭課 ○グループワーク「自校におけるヤングケアラーの実態把握と支援方法について」 講師の上原美子先生は、公立の小、中、高等学校で養護教諭としての御経験をお持ちのほか、埼玉県教育委員会で指導主事をお務めになるなど、学校教育の現場にも大変お詳しい方です。					
備考							

No.48 障害のある子どもの保護者支援 ー基礎的理解から支援の実際へー							
開催日		7/7（金）	対象	教職員（幼 小 中 高 特 私立学 事務局）			定員 100 人
発揮向上を目指す資質能力		○教育的素養・総合的人間力 ○授業力 ◎生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択 【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標		①障害のある子どもの保護者への支援の在り方について理解を深める。 ②障害のある子どもの保護者を支援するための具体的な方法を理解する。 ③得られた知識・技能を基に、保護者支援に役立てようとする意欲を高める。					
内容		保護者や家族への支援について悩んでいませんか？ そんなあなたのための研修です。 ○講演「障害のある子どもの家族が抱える悩みや不安等に応じた支援」 ○演習「事例を通して家族支援の在り方を考える」 講師：静岡大学教育学部 教授 香野 毅 氏 障害のある子どもの保護者や家族は多くの悩みや不安を抱えています。正しい理解を深め、支援の一步を踏み出しましょう。相談支援の現場での経験が豊富な講師から、専門的な知見や具体的な事例を学ぶことができる研修です。					
備考		・講演をあすなろeゼミナールにてリアルタイム配信とオンデマンド配信します。					

No.49	子どもの困難さへのアプローチ －発達を支える指導の充実－						【選択】 集合／リアルタイム	
	開催日	7/11（火）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）			定員	集合100 リアルタイム25 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力 ○生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ	
目標	①困難さのある子どもの特性について理解を深める。 ②困難さのある子どもへの具体的な指導・支援について理解する。 ③得られた知識・技能や気づきを基に、教育実践に役立てようとする意欲を高める。							
内容	子どもの困難さを理解し、もっとよい支援をしたい先生大集合！ 幼稚園教育要領解説、小・中・高等学校学習指導要領解説では、全ての教科・領域等で「学びの過程で考えられる困難さ」ごとに、教科等の特性に応じた手立てが例示されています。子どもの困難さに焦点を当て、意図をもった手立てを講じていきたい方にお勧めの研修です。 ○講演「困難さのある子どもの特性理解」 ○演習「事例を基に具体的な支援の仕方について考える－困難さの軽減に向けて－」 講師：子どもの発達科学研究所 主任研究員 弓削 香織 氏 <研修参加者の声>講演の中から支援のヒントを多くいただくことができた。現在行っている指導が、児童の将来を左右していくことの自覚と責任を持つことの大切さを学んだ。様々な事例とその指導や指導方法を聞き、子どもたちに還元できるように学び続けていきたい。							
備考	集合研修又はeラーニング（リアルタイム型）より選択できます。 申込みは選択画面に表示される「クラス名」を確認し、選択してください。 特別支援学校6年次研修選択の場合は、集合研修を受講してください。						研修管理システムでは、集合・リアルタイム研修共に「eラーニング研修」と表示されます。	

No.50	知的障害のある子どもの国語・算数（数学）						【選択】 集合／リアルタイム	
開催日	8/21（月）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員	集合100 リアルタイム25 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力 ○生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ	
目標	①学習指導要領に基づいた知的障害のある子どもの教科指導について理解を深める。 ②各教科の段階の目標等について理解し、授業づくりへの見通しをもつ。 ③知的障害のある子どもの国語・算数（数学）における基本的な知識・技能を習得し、授業づくりへの意欲を高める。							
内容	知的障害のある子どもの国語・算数（数学）の授業づくりについて 学習指導要領に沿って学びます							
	知的障害のある子どもたちの各段階における発達の特徴、国語・算数（数学）の学習内容、学習のポイントを学ぶことができる研修です。 ○講演「段階の目標等を踏まえた国語・算数（数学）の教科指導」 ○演習「知的障害のある子どもの国語・算数（数学）の指導計画」 講師：静岡大学教育学部 准教授 山元 薫 氏 知的障害のある子どもの教科指導を基礎から学びたい方におすすめの研修です。演習では、各段階の事例を基に指導計画を立案していきます。							
備考	集合研修又はeラーニング（リアルタイム型）より選択できます。 申込みは選択画面に表示される「クラス名」を確認し、選択してください。 特別支援学校6年次研修選択の場合は、集合研修を受講してください。						研修管理システムでは、集合・リアルタイム研修共に「eラーニング研修」と表示されます。	

No.51	特別支援教育における 1人1台端末を活用した学びの充実							
開催日	9/5（火）	対象	教員（幼小中高特私学事務局）				定員	100人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力 ○生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ	
目標	①特別な支援を必要とする子どもの1人1台端末の活用について基本的な考え方や方法を理解する。 ②子どもの実態に応じた1人1台端末活用について内容や方法を知り、実践への意欲を高める。							
内容	1人1台端末を活用して、今よりももっとわくわくする学びを子どもと一緒に作っていきませんか？ 1人1台端末が整備され、特別な支援を必要とする子どもたちの可能性の拡大や学びの充実が期待されます。目の前の子どもに、どのように活用していいかわからないという方、この研修に参加して、子どもの実態に応じた端末活用のイメージを膨らめ、活用への一歩を踏み出しましょう。 ○講演「特別支援教育における1人1台端末を活用した学びの充実」 ○演習「個の実態に応じた1人1台端末の活用」 講師：帝京大学 教育学部 教授 金森克浩 氏 午後の演習は、校種別のグループに分かれて行います。							
備考								

No.52	重度知的障害のある子どもの理解と指導							
開催日	8/25（金）	対象	教員（幼小中高特私学事務局）				定員	70人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力 ○生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【特支】初任・6年次・ステップ	
目標	・重度知的障害の子どものアセスメントの概要について理解する。 ・重度知的障害の子どもの具体的な指導内容や方法を知り、実践へ生かす見通しをもつ。 ・障害に応じた指導について、実践に役立てようとする意欲を高める。							
内容	知的障害が重い子どものアセスメントを学び、 子どもが主体的に活動するヒントを掴みましょう！ ○講演・演習「重度知的障害のある子どものアセスメントから目標・内容設定・評価」 ○演習「重度知的障害のある子どもの理解と指導の実際」 講師：東京福祉大学 社会福祉学部 教授 立松 英子 氏 知的障害の特別支援学校に在籍する、言葉の理解に弱さのある子どもが主体的に学び活動するための大切な視点を学びます。子どもの認知発達を捉えるための太田ステージ評価から、事例を基に教材、教具の活用等、明日からの支援、指導につながる手掛かりを得ることができる研修です。							
備考								

No.53	教育相談スキルアップ研修1						
	－信頼関係を築く教育相談の基本姿勢－ 東部						
開催日	6/21（水）午後	対象	教職員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員 30 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】6年次・ステップ
目標	①発達段階に即した教育相談の基本的な考え方や進め方についてより深く理解する。 ②児童生徒や保護者と信頼関係を築くための対応において必要となる、基本的な応答の知識・技能を習得する。 ③知識や技能を習得する過程での気づきを大切に、日頃の教育実践（個に応じた指導・組織的な生徒指導等）に生かそうとする意欲を高める。						
内容	教育相談の基本姿勢 見つめ直してみませんか 信頼関係を築く教師の姿勢とはどのようなものなのでしょうか。ロールプレイを通して、子どもや保護者との関わり方の基本を学ぶことができる研修です。教育相談の基本的な実践力を身に付けたいと考えている方におすすめです。 ○講義：「信頼関係を築く教育相談の基本姿勢」（eラーニング） ○演習：「面接相談の実際」（集合研修） 教育相談スキルの向上を目指す研修です。教育相談スキルアップ研修は1～3までありますが、この研修のみ受講することもできます。						
備考	・会場：東部会場（プラサヴェルデ（沼津市）を予定） ・初任者研修と重なる内容があるため、重複して受講しないようにしてください。 ・事前に動画視聴あり						

No.54	教育相談スキルアップ研修2						
	－明日から使える学校カウンセリングスキル－						
開催日	9/11（月）	対象	教職員（小 中 高 特 私学 事務局）				定員 40 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①人間関係構築支援をするための学校カウンセリングスキルを生かした教育相談について理解する。 ②子どもや保護者と信頼関係を築くための教育相談において必要な学校カウンセリングスキルを習得する。 ③習得した学校カウンセリングスキルを個に応じた指導や集団づくりに生かそうとする意欲を高める。						
内容	学校カウンセリングスキルを学んで、スキルアップしませんか？ 悩みや問題を抱え、その解決を望んでいる子どもや保護者に関わる際に役立つのが、「学校カウンセリングスキル」です。様々な学校カウンセリングの場面で生かすことのできる具体的なスキルを学べます。「解決志向の技法を学びたい」「教育相談スキルを高めたい」という方におすすめです。 ○講演・演習：「学校カウンセリングスキルの実際」 講師：静岡文化芸術大学 文化政策学部 教授 高木 邦子 氏 教育相談スキルの向上を目指す研修です。教育相談スキルアップ研修は1～3までありますが、この研修のみ受講することもできます。						
備考							

No.55 教育相談スキルアップ研修3 －保護者との効果的な教育相談－							
開催日	11/2（木）午後	対象	教職員（幼小中高特私学事務局）				定員 40 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○生徒指導力 ◎教育業務遂行力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】6年次・ステップ
目標	①保護者と良好な信頼関係を築くための教育相談的な関わり方について、さらに理解を深める。 ②保護者と良好な信頼関係を築くための個に応じた指導や対応の仕方を習得する。 ③様々な教育課題に対する教育相談的な関わり方やよりよい対応の仕方など、学んだことを今後の教育相談に生かそうとする意欲を高める。						
内容	保護者との関わり、見つめ直してみませんか？ 多様な価値観や複雑な背景をもつ保護者と良好な関係を築くことに難しさを感じたことはありませんか？そんな先生方の悩みを解決するために、保護者とより良好な人間関係を築いていくための方法を学ぶ研修です。ロールプレイを通して、保護者の気持ちを想像したり、対応を学んだりすることができます。 ○講義：「保護者との教育相談的な関わり方について」（eラーニング） ○演習：「保護者と良好な信頼関係を築くための教育相談的な関わり方の実際」（集合研修） 教育相談スキルの向上を目指す研修です。教育相談スキルアップ研修は1～3までありますが、この研修のみ受講することもできます。						
備考	・事前に動画視聴あり						

No.56 不登校の未然防止－子どものレジリエンスを育てる－							
開催日	7/19（水）	対象	教職員（幼小中高特私学事務局）				定員 50 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任・6年次・ステップ
目標	①子どもの実情や発達段階などを整理し、子どもを理解するための新たな視点を習得する。 ②不登校の未然防止につながる子どものレジリエンスを育てる手立てを理解する。 ③習得した知識や対応の仕方を今後の実践に生かし、組織的な生徒指導につなげようとする意欲を高める。						
内容	レジリエンスの育て方を学び、不登校の未然防止に役立てよう 学校教育活動の中で子どものレジリエンスをどう高めていけば良いのでしょうか。子どもの実情などを整理し、講師の先生の研究事例に触れながら、不登校の未然防止につながるレジリエンスの育て方を学びます。 ○講演・演習：「子どものレジリエンスを育てる」 講師：静岡大学 教育学部 教授 小林 朋子 氏 <研修員の声>「レジリエンスを理解した上で子どもたちへアプローチすることで新たな教育効果が得られそうだと感じました」「具体事例が大変興味深く、しかもエビデンスに基づいていてためになりました」						
備考							

No.57 不登校に対するチーム支援の在り方							
開催日	8/24（木）	対象	教職員（幼 小 中 高 特 私立学 事務局）				定員 35 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎生徒指導力 ○組織運営力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①不登校児童生徒を、組織的な生徒指導により支援する際の知識や対応の仕方を理解する。 ②不登校の未然防止、早期発見・早期対応の手立てや、組織的対応の必要性などを理解する。 ③習得した知識や対応の仕方を、同僚との協働を得ながら今後の実践に生かそうという意欲を高める。						
内容	不登校への対応や、チーム支援について学べます A－P（アセスメント－プランニング）シートを使った模擬ケース会議を行い、不登校の直接的な対応を学びます。また、児童生徒が自らSOSを出したり、教職員がSOSを素早くとらえたりするための方法を学び、チーム支援の在り方について考えていく研修です。 ○講義・演習：「A－Pシートを活用した模擬ケース会議」 ○講義・演習：「チームで支援する不登校」 校内において、不登校児童生徒の対応の中心的な役割を担っている方、または不登校の児童生徒の対応に携わっている方に受けていただきたい研修です。						
備考							

No.58 集団における「気になる子」の理解と効果的な支援 －教育相談的な視点から－							
開催日	10/16（月）	対象	教職員（幼 小 中 高 特 私立学 事務局）				定員 35 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①不登校の早期発見・早期対応のために、児童生徒を多面的・多角的に観察する力の必要性を理解する。 ②不登校背景要因となる発達障害やヤングケアラーなどについての理解を深める。 ③困難を抱える児童生徒に対して、学校内や関係機関と連携した支援方法について理解する。						
内容	問題行動や矛盾した言動も、その背景に目を向けると支援方法が見えてきます 早い段階で児童生徒のSOSサインに気付くための「観察する力」を高め、学校不適応を起こす児童生徒の背景への理解を深めたり、本人やその保護者への具体的な支援の在り方について考えたりすることで、今後の指導や支援に役立てることが出来ます。 ○演習：「研修ワークシートを活用したグループワーク」 ○講演：「集団における「気になる子」の理解と効果的な支援」 講師：静岡大学大学院 人文社会科学領域 教授 江口 昌克 氏 <研修員の声>「様々な課題を持つ生徒の事例や、その手立てについて知ることができました」「江口先生の講演は勉強になることが多く、アドバイスも大変参考になりました」						
備考							

No.59	学級経営力向上研修 リアルタイム						
開催日	8/23（水）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）			定員	120 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任
目標	①学級経営を向上させるための基本的な考え方を理解する。 ②学級経営上の課題解決のための具体的な手立てを理解する。 ③良好な学級経営に向けた指導技術等を活用する意欲を高める。						
内容	良いクラスづくりをしたい全ての先生へ より良い学級経営に向け、「何をすればよいのか」、「どうクラスを成長させていけばよいのか」、共に考え学ぶ研修です。 ○講演・演習：講演と演習を交互に交えて研修を進めます。 講師：鳴門教育大学教職大学院 教授 久我 直人 氏 「もっと良いクラスをつくりたい」、「初めて担任をしている」、「これから担任をする」といった先生方をお待ちしています。終日、Zoomでのオンライン研修ですが、ブレイクアウトルームでの情報共有や意見交換も行う予定です。						
備考							

No.60	情報モラル教育実践研修 リアルタイム						
開催日	7/26（水）午前	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）			定員	32 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力 ○生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任
目標	①学校における情報モラル教育の基本的な考え方の理解を図る。 ②情報モラル教育の実践方法を知る。 ③情報モラル教育を実践する意欲を高める。						
内容	1人1台端末活用時代の「情報モラル教育」について考える研修です。 今までのようにトラブル事例を紹介するだけでは子どもの情報モラルを育成しきれません。情報社会における様々な問題を自分事として捉え、子どもが主体的に問題を解決できるようになるために、どのような情報モラル教育が必要なのだろうか？1人1台端末活用時代の情報モラル教育を考え実践する研修です。 ○講演「GIGAスクール1人1台端末下における情報モラル教育の進め方」【7/26（水）午前中】 講師：静岡大学教育学部 准教授 塩田 真吾 氏 ※講師はZoomで登壇 ○演習「情報モラル教育の計画・実践」【7/27（木）～12/1（金）】 校内での情報モラル教育の実践を見据えた研修内容になっています。Zoomでのオンライン研修ですが、チャット機能やブレイクアウトルームを活用し情報共有や意見交換も行います。						
備考	・本研修の講義を基に、自校における情報モラル教育を計画・実践し簡単な報告書（A4 1枚以内）を12月1日までに提出していただきます。 ・小学校、中学校、高等学校、特別支援学校の定員を各8名程度とします。						

No.61	人権課題を「知る」「見つめる」「感じる」研修 						
開催日	12/15（金）午後	対象	教職員（幼小中高特私学事務局）				定員 30 人
発揮向上を目指す資質能力	◎教育的素養・総合的人間力 ○生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次
目標	①人権教育の基本的な知識を得る。 ②教職員自身の人権感覚を高める契機を得る。 ③児童生徒教職員の人権を尊重した学校環境づくりについて、見通しを持つ。						
内容	子供の人権の理解を通して、自己の人権感覚を高めよう。 静岡県では「自他の人権を大切にできる態度や行動力の育成」を人権教育の目標に掲げています。人権についての正しい理解は、自他尊重の精神を養うための土台として大切なことです。 ○講演・演習「もめごとを収めるコツ～ピア・メディエーション～」 講師：日本ピア・サポート学会理事・第一学院高校顧問 山口 権治 氏 ○協議「人権感覚あふれる学校・学級づくりのためにできることは何か」 〈研修情報〉 本研修では、17の人権課題（啓発活動年間強調事項／法務省）から、問題を「知り」、「見つめ」、「感じる」ことで、自らの人権感覚を高め、児童生徒の人権感覚を高めるために私たちができようことを考えます。						
備考							

No.62	地域とともにある学校づくり研修 ～「社会に開かれた教育課程」の実現を目指して～						
開催日	7/11（火）	対象	教職員（幼小中高特私学事務局）				定員 20 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○教育業務遂行力 ○組織運営力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①次世代育成のために多様な主体が連携・協働することの意義や、児童生徒に与える効果を理解することができる。 ②「社会に開かれた教育課程」の理念や、その実現に向けた取組の具体を知る。 ③自校の課題を明確にし、地域との連携・協働の見通しを持つことで、学校運営に参画する意欲を高めることができる。						
内容	地域とともにある学校づくりについて、一緒に考えましょう。 教育現場と聞いて“学校”だけを思い浮かべた方、その認識を少し変えてみませんか。子どもたちの教育は学校だけのものではありません。講演・演習を通して、学校と地域との連携・協働の意義や、その実現のための「社会に開かれた教育課程」について学び、理解を深めましょう。 ○講義 「学校運営協議会と地域学校協働本部の一体的推進について（仮）」 講師：静岡県教育委員会 義務教育課・社会教育課 ○講演・演習 「地域との連携・協働の意義と社会に開かれた教育課程の実現に向けて（仮）」 講師：静岡大学大学院 教授 武井 敦史 氏 地域との連携・協働についての他校との情報交換や、自校で取り組めることを考える場を設けます。						
備考	・小中推薦者44人が参加する研修ですが、8人の希望枠を設けます。 ・対象の特・私学は、高等学校及び高等部の教職員を除きます。						

No.63 1人1台端末環境下における多様なメディア活用 — 学校図書館活用研修 —							
開催日	7/5（水）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員 20 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①学校図書館の活用が児童生徒の自発的、主体的な学習活動につながることを理解することができる。 ②学校図書館の資料、情報を活用する学び方について、演習を通して理解し、実施する手立てをつかむことができる。 ③学校図書館を活用した学習指導や教科指導について、講演及び演習を通じ、実際の指導方法をつかむ。						
内容	1人1台端末と、学校図書館が持つ多様なメディアの活用方法を知ること、児童・生徒の情報活用能力育成を促進しましょう。 情報活用能力を育てる授業や教育活動の実現のため、1人1台端末や学校図書館の活用について、講演・演習を行います。演習では、実践に使用できる具体的な方法を学びます。また、端末を使用した情報収集について、講演・演習を実施します。 ○講義・演習「データベースを利用した情報収集について」 講師：静岡県立中央図書館 調査課一般調査班 ○講演・演習「学校図書館における1人1台端末の活用を考える」 講師：放送大学客員教授 堀川照代 氏 司書教諭、学校図書館の活用に関心のある教職員、学校図書館担当職員の方におすすめの研修です。						
備考	・小中推薦者43人が参加する研修ですが、7人の希望枠を設けます。 ・対象の特・私学は、高等学校及び高等部の教職員を除きます。 ・同時中継で、加茂地域教育振興センターで受講することができます。申込は選択画面に表示される「クラス名」を確認し、選択してください。						

No.64 個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICTの活用（発展編）							
開催日	8/25（金）午後	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員 200 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【小中】6年次 【特支】初任
目標	①「個別最適な学びと、協働的な学びの実現」について理解する。 ②アプリの特性を理解し、活動の目的に合ったアプリを選択することができる。 ③自身が担当する教科に対して、ICTを活用した「個別最適な学び」と「協働的な学び」を取り入れた授業を計画することができる。						
内容	個別最適な学びと協働的な学びの実践を ○講義1：個別最適な学びと協働的な学びの実現について ○講義2：アプリの特性を活用した学習活動 ○演習：自身が担当する教科の「個別最適化された学び」と「協働的な学び」を取り入れた授業計画の立案 ○協議：演習で作成した授業計画の発表と共有 講師：聖心女子大学 教授 益川 弘如 氏 令和の日本型教育の「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体的な充実とは？ 昨年度実施の「基礎編」に引き続き、より実践的な内容で研修をお届けします！						
備考	・前年度の「基礎編」を受講されていない方は、あすなろeゼミナールで視聴できるので、可能な限り研修前にご視聴ください ・研修ではZoom, Google Classroomを使用する予定です。 ・センターから発行されたGoogleアカウントでログインできる端末が必要です。						

No.65 子どもの「学びに向かう力」を支える 非認知能力涵養研修  リアルタイム						
開催日	8/23（水）午後	対象	教職員（幼小中高特私学事務局）			定員 200 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択 【小中】6年次 【特支】初任
目標	①非認知能力とはどのような能力か、説明することができる。 ②子どもたちの非認知能力を涵養する仕掛けを設定することができる。 ③子どもたちの「学びに向かう力、人間性等」を育成する意欲を高める。					
内容	非認知能力について学び、子どもたちへのアプローチに活かしませんか！ ○講演：「非認知能力とは何か」 ○講義：「非認知能力を向上させる方策」 ○演習：非認知能力に基づいた生徒への関わり方 講師：岡山大学 准教授 中山 芳一 氏 非認知能力とは何か？新学習指導要領で重視されている子どもたちの「学びに向かう力」を支える非認知能力を向上させる方策を身につけることで、生徒指導力の向上を図りましょう！					
備考	・基礎・向上期以外の教員も受講いただけます。 ・研修ではZoom, Google Classroomを使用する予定です。 ・センターから発行されたGoogleアカウントでログインできる端末が必要です。					

No.66 事務職員のための学校マネジメント研修（発展編）  リアルタイム						
開催日	8/29（火）午後	対象	事務職員（幼小中高特私学事務局）			定員 100 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎組織運営力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択
目標	①事務職員の既成概念を払拭する意識改革を目指す。 ②事務職員の学校での新たな立ち位置を探究する。 ③事務職員のさらなる学校経営参画の拡大を目指す。					
内容	事務職員として学校での新たな立ち位置を考えるきっかけに！ 県の最新の働き方改革の情報や新たな職域の可能性を知り、幅広い視点から今後の事務職員の学校での立ち位置について考えます。グループワークでは、他校の様子や考えを共有することができます。事務職員としての今後を考えていきましょう。 ○講義「ICTを活用した事務職員の働き方改革」 講師：教育DX推進課 DX企画班 ○講義「事務職員の新たな職域について」 講師：教育総務課 人事班 ○演習「事務職員の学校での新たな立ち位置（既成概念の払拭）」 ○協議「演習で作成した新たな立ち位置の発表と共有」					
備考	・Zoomを利用した研修です。ブレイクアウトルームを利用し、グループワークを実施します。タブレット又はPC、Webカメラ等を御用意ください。					

No.67		通信教育研修支援																																								
開催日	7～12月	対象	教育行政職員、小中学校事務職員			定員	20 人程度																																			
発揮向上を目指す資質能力		キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	—																																			
目標	①組織の中で職務を遂行するために必要なマネジメント・スキルやビジネス・スキルを身に付ける。 ②マネジメント・スキルやビジネス・スキルを職務の遂行に活用しようとする意欲を高める。																																									
内容	事務職員の方、日常の隙間時間を使って行える研修があるのを御存じでしょうか。あなたの知的好奇心を刺激するコースを選んで受講してみてください。																																									
	○開講時期 7月1日（受講期間はコースによって異なります。） ○研修内容 学校法人産業能率大学（以下、「産能大」という）が実施する通信研修コースのうち、センターが指定するコース（次頁「通信教育研修コース一覧」参照） ○受講の流れ ・研修管理システムから「通信教育研修支援」の受講を申請してください。 ・管理職の承認後、研修管理システムのアンケートから希望するコースを選択し回答してください。 ・アンケートの回答が行われた時点で申込完了となります。申込締切日は、4月に各所属へ送付する実施要項で確認してください。 ・6月上旬に、センターから受講決定通知を送付します。 ・6月下旬に、産能大から自宅に教材及び受講料の払込票が届きます。 ・払込票により受講料を支払ってください。 ・コース別に定められた受講期間内で計画的に学習を進めてください。 ・全科目のレポートを在籍期間内に提出し、合格すると修了となります。 ○受講料の負担 ・受講期間内に修了した場合は、受講料の3分の1相当額(10円未満切り上げ)をセンターが負担します。（後日還付） ・受講期間内に修了しなかった場合は、在籍期間内の修了であっても全額研修員の負担となります。（【受講の例】を参照） 【研修開始までの流れ】 <table><tr><td>～5月中旬</td><td>6月上旬</td><td>6月下旬</td><td>7/1～</td></tr><tr><td>申込み</td><td>受講決定通知の送付</td><td>教材及び払込票の送付</td><td>研修開始</td></tr><tr><td>所属 → センター</td><td>センター → 所属</td><td>産能大 → 研修員自宅</td><td></td></tr></table> ※払込票により期限までに受講料を支払ってください。 【受講の例】 受講期間2か月、在籍期間4か月の場合 受講期間  在籍期間  <table><tr><td></td><td>7月</td><td>8月</td><td>9月</td><td>10月</td><td>11月</td></tr><tr><td>例1</td><td></td><td>修了</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>例2</td><td></td><td></td><td></td><td>修了</td><td></td></tr><tr><td>例3</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>未修了</td></tr></table> → 修了証の授与、受講料3分の1還付あり → 修了証の授与、受講料3分の1還付なし → 除籍、受講料3分の1還付なし							～5月中旬	6月上旬	6月下旬	7/1～	申込み	受講決定通知の送付	教材及び払込票の送付	研修開始	所属 → センター	センター → 所属	産能大 → 研修員自宅			7月	8月	9月	10月	11月	例1		修了				例2				修了		例3				
～5月中旬	6月上旬	6月下旬	7/1～																																							
申込み	受講決定通知の送付	教材及び払込票の送付	研修開始																																							
所属 → センター	センター → 所属	産能大 → 研修員自宅																																								
	7月	8月	9月	10月	11月																																					
例1		修了																																								
例2				修了																																						
例3					未修了																																					
備考																																										

通信教育研修コース一覧

カテゴリー	コース No	コース名	詳細URL	受講 期間	在籍 期間	受講料 (円)
職層別						
中級管理者	1	マネジメントの実践知識	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B362-01.html	3か月	6か月	24,200
初級管理者	2	初級管理者基本	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A1P2-01.html	3か月	6か月	20,900
一般	3	フォロワーシップ入門 上司や周囲と信頼関係を築いてイキイキ活躍	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C3T1-01.html	2か月	4か月	16,500
	4	ケースで学ぶ 中堅社員	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A1S1-01.html	3か月	6か月	22,000
	5	中堅社員のキャリアと自己成長	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C4E0-01.html	2か月	4か月	13,200
	6	自律的・主体的な中堅社員をめざす ザ・仕事プロ	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A1U2-01.html	3か月	6か月	21,450
マネジメントスキル						
リーダーシップ	7	実践 リーダーシップ 私ならではのリーダーシップを育てる	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A2E1-01.html	2か月	4か月	17,600
	8	実践 チームビルディング できるチームをつくり、動かす	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B8W1-01.html	2か月	4か月	14,300
	9	実践 ファシリテーション 会議の成果を最大にする!	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A2G1-01.html	2か月	4か月	15,400
	10	任せたくない、任せられないからの卒業 物語で学ぶ上手な仕事の任せ方	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C1A1-01.html	2か月	4か月	16,500
	11	任せる人ほどうまくいく! 任せる心得・任せるコツ	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C1B1-01.html	2か月	4か月	11,000
歴史古典 に学ぶ	12	「論語」に学ぶ人徳力 人を導く5つの力	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B4R1-01.html	2か月	4か月	22,000
	13	名著に学ぶ知恵-最強の戦略『孫子』・ あるがままに生きる『老子』	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B9C1-01.html	2か月	4か月	11,000
ダイバーシティ	14	多様な人材を活かす! ダイバーシティ・マネジメント入門	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B8V1-01.html	2か月	4か月	9,900
	15	イノベーションを生み、育てる デザイン思考入門	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C1S1-01.html	2か月	4か月	16,500
人材育成	16	自分とまわりのモチベーションUP術	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B341-01.html	2か月	4か月	20,900
	17	メンバーが活きる教え方・育て方	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B331-01.html	2か月	4か月	20,900
	18	褒め上手・叱り上手・教え上手になる	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B5F1-01.html	2か月	4か月	18,700
	19	コーチング入門 (DVD教材付き)	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B7C1-01.html	2か月	4か月	20,900
	20	定着と早期戦力化をめざす 若手社員の受け入れ方・接し方・育て方	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B9N1-01.html	2か月	4か月	17,600
意思決定	21	結果を出せる判断と決断 ケースで学ぶ意思決定	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C3O1-01.html	2か月	4か月	17,600
	22	ブレずに判断!ベストな決断! 意思決定力を磨く	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C361-01.html	2か月	4か月	13,200
労務管理	23	実務に役立つ職場の労務	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A2B2-01.html	2か月	4か月	15,400
リスク マネジメント	24	職場で役立つリスクマネジメント実践	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A2A1-01.html	2か月	4か月	17,600
	25	1から学ぶ! セクハラ・パワハラ・マタハラ防止	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B6U2-01.html	2か月	4か月	9,900

通信教育研修コース一覧

カテゴリー	コース No	コース名	詳細URL	受講 期間	在籍 期間	受講料 (円)
ビジネススキル						
考える力	26	情報の分析・加工・活用ができる 情報分析力を鍛える	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A2P3-01.html	2か月	4か月	15,400
	27	仕事の勝率アップ!判断のコツをつかむ 判断力を高める	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A9C1-01.html	2か月	4か月	15,400
伝える力	28	読ませる文章・伝わる文章 文章力を磨く	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A2T2-01.html	2か月	4か月	15,400
	29	わかりやすく、簡潔に、印象深く 話す力を磨く	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A9B1-01.html	2か月	4か月	15,400
	30	Win-Winの関係をつくる 説得・交渉力を高める	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A2R2-01.html	2か月	4か月	15,400
	31	やる気と協力を引き出す コミュニケーションで影響力を高める	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A2V1-01.html	2か月	4か月	15,400
やり抜く力	32	成果とゆとりを手に入れる 段取り力を高める	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A9A1-01.html	2か月	4か月	15,400
	33	仕事を動かす・自分を動かす 実行力を高める	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B6L1-01.html	2か月	4か月	15,400
	34	心と仕事をスッキリさせる 整理・整頓力を磨く	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B5Y1-01.html	2か月	4か月	15,400
	35	あるべき姿を実現する 問題発見・解決力を伸ばす	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A2O2-01.html	2か月	4か月	15,400
ビジネス 対人力	36	必ず伝わる!わかりやすく説明する技術	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B4Q1-01.html	2か月	4か月	20,900
	37	相手の真意に応える! 聴く技術・質問の技術	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A9W1-01.html	2か月	4か月	20,900
	38	相手をきちんと理解する 傾聴と質問の基本	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C4G0-01.html	2か月	4か月	11,000
DX・ICT	39	わかる!進める!DXの基本 よくわかる「理解促進動画」と「演習動画」つき	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C4Y0-01.html	2か月	4か月	14,300
	40	早わかり! DX入門 よくわかる「理解促進動画」つき	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C4Z0-01.html	2か月	4か月	12,100
	41	DX推進への第一歩 AI・IoT時代の仕事と働き方	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C1T2-01.html	2か月	4か月	13,200
習慣	42	ビジネスに活かす 「7つの習慣®」スタンダード	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B4L1-01.html	3か月	6か月	22,000
ライティング	43	まとめ上手は仕事上手 議事録の書き方	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B3S1-01.html	2か月	4か月	18,700
	44	企画書もプレゼン資料もこんなに変わる 伝わる! 使える! 図解とデザイン	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B7E0-01.html	2か月	4か月	13,200
	45	仕事の生産性を高める わかりやすい資料作成の技術	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C2L1-01.html	2か月	4か月	14,300
コミュニ ケーション	46	好感度が高まる! 電話対応レベルアップ術	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C2P0-01.html	2か月	4か月	9,900
	47	アサーティブ・コミュニケーション入門 互いを活かし、対等に伝え合う	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C3R1-01.html	2か月	4か月	16,500
	48	成果を上げる・仲間を増やす 相談スキル50%アップ!	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C1O1-01.html	2か月	4か月	8,800
	49	いいね!と言われる仕事の目配り・心配り	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B8X2-01.html	2か月	4か月	13,200
思考力	50	考える! 伝わる! 人が動く! トレーニングで磨くロジカルシンキング	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C2J1-01.html	2か月	4か月	14,300
	51	未来を予測し変化に備える 仮説思考力を身につける	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B4P1-01.html	2か月	4か月	20,900

通信教育研修コース一覧

カテゴリー	コース No	コース名	詳細URL	受講 期間	在籍 期間	受講料 (円)
ビジネススキル						
セルフ マネジメント 効率化	52	やる気は自分で上げられる! わたしのモチベーションアップ術	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C5C0-01.html	2か月	4か月	11,000
	53	怒りと感情を上手にコントロール アンガーマネジメント入門	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C390-01.html	2か月	4か月	13,200
	54	時短&ムダ取りで仕事の効率50%アップ!	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B8M1-01.html	2か月	4か月	9,900
	55	ムリ、ムダ、ムラを徹底カット! 残業しない仕事術	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C1C1-01.html	2か月	4か月	9,900
	56	「働き方改革」の新常識! 働くみんなのワークルール	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C1D2-01.html	2か月	4か月	11,000
	57	苦手な人も気にならない 対人スキル50%アップ!	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C1R1-01.html	2か月	4か月	9,900
	58	トップアスリート&アーティストに学ぶしなやかな心をつくるメンタルマネジメント	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B561-01.html	2か月	4か月	22,000
生産性向上	59	最短時間で最大成果を目指す 生産性の高い会議の進め方	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C2K1-01.html	2か月	4か月	14,300
	60	効率上げて、成果もあげよう 業務改善の進め方	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A5J2-01.html	2か月	4か月	19,800
	61	仕事の見える化 マニュアル化	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B8N1-01.html	2か月	4か月	15,400
キャリア 自己成長	62	ミドル・シニアのミライ戦略 私らしくイキイキ働くキャリアづくり	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C3Q1-01.html	2か月	4か月	15,400
	63	自律型人材をめざす 人生100年時代の社会人基礎力を磨く	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C2N1-01.html	2か月	4か月	11,000
ビジネス のコツ	64	心理学でビジネスセンス&スキル50%アップ!	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C3S1-01.html	2か月	4か月	13,200
	65	戦国武将に学ぶ今を生き抜く力(ちえ) ビジネスセンスを磨く	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B5G1-01.html	2か月	4か月	22,000
	66	ビジネスのコツ!読み、書き、話せる編	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A2W1-01.html	2か月	4か月	15,400
ビジネス トレンド	67	名著に学ぶ知恵-「アドラー心理学」・ 幸福術の古典「菜根譚」	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/B8D1-01.html	2か月	4か月	11,000
SDGs	68	基本の理解から具体的な取り組みまで 1から学ぶ! SDGsとESG	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C4B0-01.html	2か月	4か月	14,300
	69	知ることから始めよう 早わかり! SDGs	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C4C0-01.html	2か月	4か月	12,100
法律・倫理	70	ずばりコンプライアンスがわかる	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A223-01.html	2か月	4か月	17,600
クレーム対応	71	クレーム対応を極める クレームをチャンスに変える	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/A4Z1-01.html	2か月	4か月	19,800
Excel	72	Excelデータ集計・分析技あり (2021対応)	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C4U0-01.html	2か月	4か月	11,000
	73	Excelデータ集計・分析技あり (2019・2016対応)	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C261-01.html	2か月	4か月	11,000
	74	仕事が速く・ラクになる! Excelマクロ&VBA入門	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C3N1-01.html	2か月	4か月	12,100
時短	75	仕事サクサク! パソコン超速ワザ Windows11、Office2021対応	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C4Q0-01.html	2か月	4か月	11,000
	76	仕事サクサク! パソコン超速ワザ Windows10、Office2016対応	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C1V1-01.html	2か月	4か月	11,000
	77	仕事に差がつく! Excel時短テクニック(2021対応)	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C4R0-01.html	2か月	4か月	11,000
	78	仕事に差がつく! Excel時短テクニック(2016対応)	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C1W1-01.html	2か月	4か月	11,000
防災	79	心配が安心に変わる 今すぐ備える! 防災の基本	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C3U1-01.html	2か月	4か月	11,000
ボランティア	80	はじめよう! ボランティア活動	https://www.hj.sanno.ac.jp/cp/distance-learning/course/C2X1-01.html	2か月	4か月	15,400

Ⅲ あすなろ e セミナール、外部研修の紹介

1	あすなろ e セミナール対象講座一覧	-----	72
2	外部研修（NITS校内研修シリーズ）の紹介	-----	75

1 あすなろeゼミナール

あすなろeゼミナールは、希望研修における外部講師等の講演・講義部分のみを視聴するものです。

集合研修では受講対象となっていない校種、職種の方も視聴可能です。

配信方法はZ o o mを利用したリアルタイム型配信、研修管理システムを利用したオンデマンド型配信の2種類です。

なお、年次別研修（小中6年次研、特支初任研、特支6年次研、幼稚園中堅研）の選択研修及び特支ステップアップ研修としては受講できません。

（1）申込方法

P.29「希望研修受講方法」により、申し込んでください。一部希望研修と異なる点がありますので、御注意ください。

（2）リアルタイム型配信

申込みされた方には、実施日の前日までに研修管理システム上（受講画面）から受講方法等を案内します。メールでの通知は原則しませんので、当日受講忘れのないよう御注意ください。

研修 No.	実施日	講演時間	研修名	演 題	講師名	所属・職名
9	11/1(水)	15:00～16:00	国語科授業づくり研修 (小)	「小学校国語科における 授業づくりのポイント」	大塚健太郎	国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官
11	8/21(月)	10:30～12:00	社会科授業づくり研修 (小)	「小学校社会科における 単元デザインのポイント」	小倉 勝登	国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官
12	9/27(水)	10:15-12:00 (多少前後する場合があります)	社会科授業づくり研修 (中・高)	「社会的な見方・考え方」を働かせた「思考力、判断力、表現力等」の育成	空 健太	国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官
14	8/28(月)	10:00～11:50	中学校数学科授業づくり 研修	「全国学力・学習状況調査を踏まえた中学校数学科における授業づくりのポイント」	伊吹 竜二	国立教育政策研究所 教育課程研究センター 学力調査官
16	9/1(金)	9:40～11:40	小学校理科教材づくり研修	「『指導と評価の一体化』を実現し、資質・能力を育む理科の授業づくり」	有本 淳	国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官
17	8/22(火)	9:40～11:40	中学校理科教材づくり研修	「これからの理科教育で求められる授業づくりの視点（仮）」	野内 頼一	国立教育政策研究所 教育課程研究センター 教育課程調査官
19	8/17(木)	10:00～12:00	小学校英語指導力向上研修	「外国語活動と外国語科における授業づくり及び評価の視点」	直山木綿子	文部科学省 初等中等教育局 視学官
20	8/7(月)	13:30-15:40	英語教員のためのCAN-DOテスト作成研修	CAN-DOリストに準拠した指導と評価の一体的な改善について	向後 秀明	敬愛大学国際学部国際学科教授
28	8/24(木)	13:05～15:50	GIGAスクール構想とICT機器を活用した授業実践研修（オンライン編）	「GIGAスクール構想下での主体的・対話的で深い学びの在り方」	遠山 紗矢香	静岡大学情報学部 講師

48	7/7（金）	9：40～12：00	障害のある子どもの保護者支援	障害のある子どもの家族が抱える悩みや不安等に 応じた支援	香野 毅	静岡大学教育学部 教授
52	8/25（金）	9：40～12：00	重度知的障害のある子どもの理解と指導	重度知的障害のある子どものアセスメントから目標・内容設定・評価	立松 英子	東京福祉大学社会福祉学部教授
60	7/26（水）	9:30～11:00	情報モラル教育実践研修	「GIGAスクール1人1台端末下における情報モラル教育の進め方」	塩田 真吾	静岡大学教育学部 准教授

※講演時間は変更になることがあります。

(3) オンデマンド型配信

あすなろeゼミナールは、希望研修における外部講師等の講演・講義部分のみを視聴するものです。

研修 No.	視聴開始日	研修名	演 題	講師名	所属・職名
6	8/29(火)	マネジメント講座9ー教職員の ための勤務・サービスー	「教職員の勤務・サービスにつ いて」		教育総務課
26	8/28(月)	小学校におけるプログラミング 教育実践研修	「学校におけるプログラミ ング教育の基本的な考え 方」	遠山 紗矢香	静岡大学情報学部 講師
27	8/31(木)	GIGAスクール構想とICT機器を活 用した授業実践研修（入門編）	「GIGAスクール構想下での 主体的・対話的で深い学び の在り方」	遠山 紗矢香	静岡大学情報学部 講師
37	8/30(水)	S T E A M教育基礎研修	「S T E A M教育」	熊野 善介	静岡大学教育学部名誉教 授・特任教授
			「デザイン思考」	磯村 克郎	静岡文化芸術大学デザイ ン学部教授
48	7/14(金)	障害のある子どもの保護者支援	障害のある子どもの家族が 抱える悩みや不安等に応じ た支援	香野 毅	静岡大学教育学部 教授
53	6/28(水)	教育相談スキルアップ研修1ー 信頼関係を築く教育相談の基本 姿勢ー	「信頼関係を築く教育相談 の基本姿勢」		総合教育センター 教育相談課
54	9/18(月)	教育相談スキルアップ研修2ー 明日から使える学校カウンセリ ングスキルー	「学校カウンセリングスキ ルの実際」	高木 邦子	静岡文化芸術大学文化政 策学部 教授
55	11/9(木)	教育相談スキルアップ研修3ー 保護者との効果的な教育相談ー	「保護者との教育相談的な 関わり方について」		総合教育センター 教育相談課
56	7/26(水)	不登校の未然防止ー子どものレ ジリエンスを育てるー	「子どものレジリエンスを 育てる」	小林 朋子	静岡大学教育学部 教授
60	8/2(水)	情報モラル教育実践研修	「GIGAスクール1人1台端末 下における情報モラル教育 の進め方」	塩田 真吾	静岡大学教育学部 准教 授
61	12/22(金)	人権課題を「知る」「見つめ る」「感じる」研修	「もめごとを収めるコツ〜 ピア・メディエーション 〜」	山口 権治	日本ピア・サポート学会 理事・第一学院高校顧問
65	9/1(金)	個別最適な学びと協働的な学び の実現に向けたICTの活用（発展 編）	「個別最適な学びと協働的 な学びの実現」	益川 弘如	聖心女子大学 教授
66	8/30(水)	子どもの「学びに向かう力」を 支える非認知能力涵養研修	「非認知能力とは何か」	中山 芳一	岡山大学 准教授

※オンデマンド型配信は、令和6年3月19日（火）まで申込みできます。

2 外部研修（NITS校内研修シリーズ）の紹介

独立行政法人教職員支援機構(NITS)の校内研修シリーズの動画教材を紹介します。いずれの動画教材も短い時間でテーマに即した内容を学習できるようになっていますので、是非御活用ください。

* 動画タイトルをクリックするとNITSの動画教材のページにジャンプします。

No.	タイトル	講師名
4	新しい学習指導要領において期待される学び	國學院大學 教授 田村学
5	道徳教育	香川大学教育学部附属 教職支援開発センター センター長 七條正典
9	学習指導要領	文部科学省初等中等教育局教育課程課 課長 合田哲雄
10	総則とカリキュラム・マネジメント	文部科学省初等中等教育局教育課程教育課程企画室 室長 大杉住子
11	教育と法Ⅰ（学習指導要領と教育課程の編成）	明星大学 教授 樋口修資
12	教育と法Ⅱ（生徒指導）	明星大学 教授 樋口修資
13	生徒指導	関西外国語大学 教授 新井肇
15	教育相談に関するマネジメントの推進	神田外語大学 客員教授 嶋崎政男
16	人材育成とコーチング	神田外語大学 客員教授 嶋崎政男
17	特別支援教育の実践～通常学級における「特別な配慮」～	FR教育臨床研究所 所長 花輪敏男
18	総合的な学習の時間とカリキュラム・マネジメント	甲南女子大学 教授 村川雅弘
21	カリキュラム・マネジメントとは	千葉大学 特任教授 天笠茂
23	道徳科の授業の充実を図るために	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見哲也
24	「地域に開かれた学校」から「地域とともにある学校」へ～コミュニティ・スクールを核とした学校と地域の連携・協働～	文部科学省初等中等教育局 参事官 木村直人
25	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて	國學院大學 教授 田村学
26	災害安全～災害から生き抜く力を育む防災教育～	岩手大学大学院 准教授 森本晋也
27	保健教育の基礎	横浜国立大学 教授 物部博文
28	幼児教育	國學院大學 教授 神長美津子
29	学校全体で取り組む食育の進め方～学級活動(2)で進める食育の授業づくりを中心に～	福岡教育大学教職大学院 教授 脇田哲郎
31	教職員のメンタルヘルス・マネジメント～管理職に求められる個別対応～	早稲田大学教育・総合科学学術院 教授 河村茂雄

33	研修の企画・運営・評価	独立行政法人教職員支援機構 チーフ・研修プロデューサー 堀田竜次
34	新学習指導要領を具現化した新教材の解説	文部科学省初等中等教育局教育課程課・国際教育課 教科調査官 直山木綿子
35	言語活動	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 臼井学
36	外国人児童生徒等に対する日本語指導	東京学芸大学 教授 齋藤ひろみ
37	学校教育の情報化	東京学芸大学 准教授 高橋純
38	体力向上マネジメント	筑波大学体育系 教授 柳沢和雄
39	教育と法Ⅲ（地方教育行財政制度）	明星大学 教授 樋口修資
40	教育と法Ⅳ（学校の保健安全管理）	明星大学 教授 樋口修資
41	キャリア教育の実践	筑波大学人間系 教授 藤田晃之
42	消費者教育 ―「社会への扉」を活用した授業展開	鳴門教育大学大学院学校教育研究科 准教授 坂本有芳
43	教育現場におけるコーチングコミュニケーション	シナジープラス株式会社 代表取締役社長 三宅裕之
44	リスクマネジメント～学校の危機をいかに防ぐか～	高崎経済大学講師、高崎市教育長 飯野真幸
45	ネットいじめの未然防止及び解決に向けた指導と対応	兵庫県立大学 准教授 竹内和雄
46	道徳科に求められる評価	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 浅見哲也
47	不登校児童生徒の支援と教育相談	FR教育臨床研究所 所長 花輪敏男
48	いじめ問題に関する保護者との連携、信頼関係構築の在り方	公益社団法人日本社会福祉士会 アドバイザー 愛沢隆一
49	地域の教育活性化とスクールリーダー	愛媛大学大学院 教授 露口健司
50	学校における働き方改革「先生が忙しすぎる」をあきらめない	文部科学省 学校業務改善アドバイザー 妹尾昌俊
51	地域と共に創る教育 ～隠岐島前高校の探究的な学びが目指すもの～	島根大学教職大学院 准教授 中村怜詞
52	学校財務マネジメント	日本大学 教授 末富芳
53	アクティブ・ラーニングとカリキュラム・マネジメントをつなぐ	独立行政法人教職員支援機構 研修協力員／研修プロデューサー 稲岡寛
54	カリキュラム・マネジメント～新学習指導要領とこれからの授業づくり～	横浜国立大学 名誉教授 高木展郎
55	児童虐待防止に向けた学校の取組	大正大学 教授 玉井邦夫
56	いじめの捉え方と予防	日本大学 文理学部 教授 藤平敦
57	育成指標の機能と活用	独立行政法人教職員支援機構次世代教育推進センター長 大杉昭英 愛媛大学 教授 露口健司

58	『主体的・対話的で深い学び』を見取り、実現する校内研修	國學院大學 教授 田村学 独立行政法人教職員支援機構 研修協力員／研修 プロデューサー 宮迫隆浩
59	働き方改革時代の管理職に求められるタイムマネジメント・スキル	東北大学 准教授 青木栄一
60	教員採用統一試験実施の可能性と課題	国士舘大学 教授 北神正行
61	教師の資質と役割とをめぐるディスコースの国際動向	独立行政法人教職員支援機構 上席フェロー 百合 田真樹人
62	あの日学校で起きたこと ～改めて備えと災害時の対応について考える～	富谷市教育委員会 生涯学習専門指導員・相談 員、戸倉小学校 元校長 麻生川敦
63	学習指導要領の読み解き方	國學院大學 教授 田村学
64	災害から考える リスク・マネジメント	鳴門教育大学大学院 教授 阪根健二
65	深い学びを実現するカリキュラム・マネジメント	國學院大學 教授 田村学
66	コーチングのスキルと活用Ⅰ	別府大学 教授 佐藤敬子
67	発達の段階に応じた道徳科の指導	畿央大学 教授 島恒生
68	道徳教育とカリキュラム・マネジメント	帝京大学大学院教職研究科 教授 赤堀博行
69	コーチングのスキルと活用Ⅱ	別府大学 教授 佐藤敬子
70	自閉症スペクトラム当事者からみた特別支援教育	NPO法人東京都自閉症協会 綿貫愛子
71	事件や事故に遭遇したとき、学校はどう対応すればよいのか	鳴門教育大学大学院 教授 阪根健二
72	学校組織力の向上「みんなの学校」をつくるために	大阪市立大空小学校 初代校長 木村泰子
73	重大事故発生時の対応 ～救命処置の観点から～	公益社団法人日本AED財団 理事 桐淵博
74	これからの学校におけるミドルリーダーシップ	岐阜聖徳学園大学 教授 玉置崇
75	リーダーシップとマネジメント	THS経営組織研究所 代表社員 小杉俊哉
76	学校におけるICTを活用した学習場面	放送大学 教授 中川一史
77	多様な学びの支援 ～新学習指導要領「障害の状態等に応じた指導内容や指導方法の工夫」を実現するために～	十文字学園女子大学 准教授 齋藤忍
78	病弱教育におけるICT活用	京都女子大学 教授 滝川国芳
79	コーチングのスキルと活用Ⅲ ～不登校解決のためのリソースを探す～	別府大学 教授 佐藤敬子
80	コーチングのスキルと活用Ⅳ ～円滑な保護者対応に生かす～	別府大学 教授 佐藤敬子
81	高等学校における道徳教育の充実に向けて	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査 官 飯塚秀彦
82	情報社会に主体的に参画する態度を育む指導	静岡大学教育学部 准教授 塩田真吾

83	児童生徒の協働的な学びにおけるICT活用	放送大学 教授 中川一史
84	学校における環境衛生（感染症対策）	文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官 小出彰宏
85	学校における感染症対策の在り方	文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 健康教育調査官 松崎美枝
86	学校のマネジメントモデルの転換と事務職員の役割	国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長 藤原文雄
87	学校で配慮と支援が必要なLGBTsの子どもたち	宝塚大学看護学部 教授、厚生労働省エイズ動向委員会 委員、日本思春期学会 理事 日高庸晴
88	分かりやすい授業づくりのための教科指導におけるICT活用	東京学芸大学 准教授 高橋純
89	教育機会確保法と不登校支援施策	文部科学省初等中等教育局児童生徒課 課長補佐 廣石孝
90	学校におけるいじめ問題への対応のポイント	文部科学省初等中等教育局児童生徒課 専門官 伊藤淳
91	学校における児童虐待対応のポイント	文部科学省初等中等教育局児童生徒課 生徒指導調査官・児童虐待防止対策専門官 岡部陽一
92	コミュニティ・マネジメント ～地域との連携・協働を進める視点～	独立行政法人教職員支援機構 つくば中央研修センター長 清國祐二
93	幼児教育の質の向上の重要性	京都教育大学 教授 古賀松香
94	「令和の日本型学校教育」の構築を目指して	中央教育審議会 第10期初等中等教育分科会長 荒瀬克己
95	自殺予防	関西外国語大学 教授 新井肇
96	不登校児童生徒の理解と保護者への支援	開善塾教育相談研究所 所長 藤崎育子
97	学校のビジョンと戦略	千葉大学 名誉教授 天笠茂
98	特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育 ～特別支援学級における指導の在り方：理論編～	聖徳大学 名誉教授 吉本恒幸
99	特別な支援を要する児童・生徒に対する道徳教育 ～特別支援学級における指導の在り方：実践編～	聖徳大学 名誉教授 吉本恒幸
100	ハンセン病問題学習	盈進中学高等学校 校長 延和聰
101	学校の内外環境の分析と特色づくり	兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一
102	学校ビジョンの理解と共有	兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一
103	教職員が育つ学校づくり ～校内QJTの考え方と進め方～	兵庫教育大学大学院 特任教授 浅野良一
104	1人1台端末の活用による情報活用能力の育成	信州大学教育学部 助教 佐藤和紀
105	スクール・コンプライアンス（著作権）	東京学芸大学 教授 佐々木幸寿
106	ESD（持続可能な開発のための教育）	宮城教育大学教育学部 教授 市瀬智紀
107	主権者教育の推進① ～現代的な諸課題に対応して求められる資質・能力の育成～	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 磯山恭子

108	主権者教育の推進② ～指導上の政治的中立の確保等の留意点～	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官、国立教育政策研究所教育課程研究センター研究開発部 教育課程調査官 磯山恭子
109	キャリア・パスポート	筑波大学人間系 教授 藤田晃之
110	幼保小の接続について	文部科学省初等中等教育局 幼児教育課長 大杉住子
111	これからのへき地・複式・小規模校教育（上）	北海道教育大学 へき地・小規模校教育研究センター センター長 玉井康之
112	これからのへき地・複式・小規模校教育（下）	北海道教育大学 へき地・小規模校教育研究センター センター長 玉井康之
113	人権教育	学習院大学文学部教育学科 教授 梅野正信
114	生活安全	大阪教育大学 教授、学長補佐（校安全担当）、学校安全推進センター長 藤田大輔
115	学校における医療的ケアについて	文部科学省初等中等教育局 視学官（併）特別支援教育課特別支援教育調査官 菅野和彦
116	学校安全（総論）	東京学芸大学教職大学院 教授 渡邊正樹
117	学校における男女共同参画の推進～無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）に気づき、変革につなげるために～	独立行政法人国立女性教育会館 研究員 飯島絵理
118	子供を性犯罪・性暴力の加害者・被害者・傍観者にしないための「生命（いのち）の安全教育」について	文部科学省 総合教育政策局 男女共同参画共生社会学習・安全課 安全教育調査官 森本晋也
119	特別支援教育総論 学習のユニバーサルデザイン・段階的対応・合理的配慮	新潟大学 教授 長澤正樹

※こちらに掲載している情報は令和5年2月時点のものです。改訂や掲載期限終了等により予告なく動画教材が変更等されることがあります。

最新の情報はNITSホームページ（<https://www.nits.go.jp/>）を御確認ください。

IV 教育DX推進課主催の研修

授業におけるICT活用及び情報セキュリティに関する希望研修です。
これらの研修は、操作体験を中心に段階的に学べます。

教育DX推進課主催の希望研修

No.68 ICT活用研修（入門編） ～ 69	-----	81
No.70 ICT活用研修（基礎編） ～ 71	-----	82
No.72 ICT活用研修（実践編） ～ 74	-----	83,84
No.75 新しい時代に向けたICT活用研修 ～ 76	-----	84,85
No.77 アプリケーションの使用方法	-----	85
No.78 令和5年度ICTを活用した授業動画の共有	-----	86
No.79 情報セキュリティ入門	-----	86

申込方法

P.29「希望研修受講方法」により、申し込んでください。

〈問合せ先〉

教育DX推進課

(電話) 054-221-3391・3239 ※受付時間9:00～11:00, 13:00～16:00

(メールアドレス) kyoui_dx@edu.pref.shizuoka.jp

件名は「(学校名)研修名」として下さい。

No.68 (三島長陵・8月2日) ICT活用研修(入門編)							
開催日	8/2(水)午前	対象	教員 (幼小中高特私学事務局)			定員	15人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①ICTの基本的な使い方(効果的に提示する)を理解する。 ②授業においてICTを活用する意欲を高める。						
内容	ICTの基本的な操作やクラウドへの保存について学べます！ この研修は、深化・熟練期を対象とした、初歩の操作体験研修になります。 ○講義「学校の情報化」 ○実習「画像(静止画)の取り込みと比較・拡大表示、データのクラウド管理」 ○演習「グループワーク」 〈研修情報〉 画像を活用した教材作成やクラウド保存を体験することでICTの良さを学ぶ。						
備考	・使用するICT機器：iPad、chromebook ・作成する教材：画像を活用した教材の作成、クラウド保存						

No.69 (センター・7月24日) ICT活用研修(入門編)							
開催日	7/24(月)午前	対象	教員 (幼小中高特私学事務局)			定員	15人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①ICTの基本的な使い方(効果的に提示する)を理解する。 ②授業においてICTを活用する意欲を高める。						
内容	機器の接続方法やICTの基本的な操作を学べます！ この研修は、深化・熟練期を対象とした、初歩の操作体験研修になります。 ○講義「学校の情報化」 ○実習「機器の接続方法、実物投影機等の操作体験」 ○演習「グループワーク」 〈研修情報〉 キーノートを活用したフラッシュ教材を作成します。						
備考	・使用するICT機器：iPad、実物投影機 ・作成する教材：キーノートを活用したフラッシュ教材の作成						

No.70 (三島長陵・8月2日) ICT活用研修(基礎編)							
開催日	8/2(水)午後	対象	教員 (幼小中高特私学事務局)			定員	18人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①ICT活用の今後の方向性について知る。 ②アンケート機能の理解を深め、活用のイメージを持つ。 ③授業においてICTを活用する意欲を高める。						
内容	アンケート機能を使って生徒の意見を可視化しよう 操作体験が中心の研修です。実習でアプリの活用方法を学びます。演習では、グループワークを通して、教育現場ですぐ活用できる教材を作成していきます。 ○講義「学校の情報化」 ○実習「アンケートアプリ(GoogleとMicrosoft)の操作体験」 ○演習「グループワーク」 〈研修情報〉 アンケートアプリ(GoogleとMicrosoft)を活用した教材を作成します。						
備考	・使用するICT機器：iPad、chromebook ・作成する教材：アンケート機能を活用した小テスト等の作成						

No.71 (センター・7月24日) ICT活用研修(基礎編)							
開催日	7/24(月)午後	対象	教員 (幼小中高特私学事務局)			定員	18人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①ICT活用の今後の方向性について知る。 ②アンケート機能の理解を深め、活用のイメージを持つ。 ③授業においてICTを活用する意欲を高める。						
内容	アンケート機能を使って生徒の意見を可視化しよう 操作体験が中心の研修です。実習でアプリの活用方法を学びます。演習では、グループワークを通して、教育現場ですぐ活用できる教材を作成していきます。 ○講義「学校の情報化」 ○実習「アンケートアプリ(GoogleとMicrosoft)の操作体験」 ○演習「グループワーク」 〈研修情報〉 アンケートアプリ(GoogleとMicrosoft)を活用した教材を作成します。						
備考	・使用するICT機器：iPad、chromebook ・作成する教材：アンケート機能を活用した小テスト等の作成						

No.72 (三島長陵・8月4日) ICT活用研修(実践編)							
開催日	8/4(金)	対象	教員 (小中高特私学事務局)				定員 24人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①ICT活用の今後の方向性について知る。 ②協働編集による情報共有を通じて、より効率的な情報共有の実現について理解を深める。 ③授業においてICTを活用する意欲を高める。						
内容	デジタル技術を活用して授業をデジタル化することを目指す 操作体験が中心の研修です。Googleフォームや様々なツールを利用して、授業で利用する教材や資料を作成する方法を学びましょう。 ○講義「学校の情報化」 ○実習「協働編集とClassroom」 ○演習「グループワーク」 〈研修情報〉 Classroomの課題配布、採点、返却や成績一覧の作成等を体験します。						
備考	・使用するICT機器：chromebook ・作成する教材：学校ですぐに活用できる教材をグループワークで作成						

No.73 (センター・7月25日) ICT活用研修(実践編)							
開催日	7/25(火)	対象	教員 (小中高特私学事務局)				定員 24人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①ICT活用の今後の方向性について知る。 ②協働編集による情報共有を通じて、より効率的な情報共有の実現について理解を深める。 ③授業においてICTを活用する意欲を高める。						
内容	デジタル技術を活用して授業をデジタル化することを目指す 操作体験が中心の研修です。Googleフォームや様々なツールを利用して、授業で利用する教材や資料を作成する方法を学びましょう。 ○講義「学校の情報化」 ○実習「協働編集とClassroom」 ○演習「グループワーク」 〈研修情報〉 Classroomの課題配布、採点、返却や成績一覧の作成等を体験します。						
備考	・使用するICT機器：chromebook ・作成する教材：学校ですぐに活用できる教材をグループワークで作成						

No.74 (センター・10月11日) ICT活用研修(実践編)							
開催日	10/11(水)	対象	教員 (小中高特私学事務局)				定員 24人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①ICT活用の今後の方向性について知る。 ②協働編集による情報共有を通じて、より効率的な情報共有の実現について理解を深める。 ③授業においてICTを活用する意欲を高める。						
内容	デジタル技術を活用して授業をデジタル化することを目指す 操作体験が中心の研修です。Googleフォームや様々なツールを利用して、授業で利用する教材や資料を作成する方法を学びましょう。 ○講義「学校の情報化」 ○実習「協働編集とClassroom」 ○演習「グループワーク」 〈研修情報〉 Classroomの課題配布、採点、返却や成績一覧の作成等を体験します。						
備考	・使用するICT機器：chromebook ・作成する教材：学校ですぐに活用できる教材をグループワークで作成						

No.75 (三島長陵・8月1日) 新しい時代に向けたICT活用研修							
開催日	8/1(火)	対象	教員 (小中高特私学事務局)				定員 15人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①クラウドシステムの今後の方向性について知る。 ②クラウドシステムを活用したアプリケーションを活用するイメージを持つ。 ③新時代の「教え方」・「学び方」の方向性について知る。						
内容	ICTを活用した世界の取組や先端技術を学ぼう！ これから到来するSociety5.0の社会に向けて、学校や事務局がやるべき事、取り組むべき課題等を発見し、「教え方」・「学び方」について意識向上を図ります。 ○講義：「未定」 ○実習：「新たな学びを実現するアプリケーション体験」 講師：Google 〈研修情報〉 Googleが講師として研修を実施します						
備考	・使用するICT機器：chromebook						

No.76		(センター・7月24日)						
新しい時代に向けたICT活用研修								
開催日	7/24(月)	対象	教員 (小中高特私学事務局)				定員	15人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択		
目標	①クラウドシステムの今後の方向性について知る。 ②クラウドシステムを活用したアプリケーションを活用するイメージを持つ。 ③新時代の「教え方」・「学び方」の方向性について知る。							
内容	ICTを活用した世界の取組や先端技術を学ぼう！ これから到来するSociety5.0の社会に向けて、学校や事務局がやるべき事、取り組むべき課題等を発見し、「教え方」・「学び方」について意識向上を図ります。 ○講義：「未定」 ○実習：「新たな学びを実現するアプリケーション体験」 講師：Google 〈研修情報〉 Googleが講師として研修を実施します							
備考	・使用するICT機器：chromebook							

No.77	アプリケーションの使用方法							 オンデマンド		
開催日	5月～2月	対象	教員（小中高特私学事務局）				定員	無制限 人		
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択				
目標	アプリケーションを授業等で利用できるようになる。									
内容	授業で利用する機会が多いアプリケーションの使い方を学べます！ 要望がありそうなコンテンツを都度作成し公開していく。									
	＜コンテンツ＞ ▪ Googleクラスルームの作り方 ▪ Googleクラスルームを使った情報発信の方法 ▪ Googleフォームを使った小テストの作り方									
備考	・ eラーニングで実施									

No.78 令和5年度ICTを活用した授業動画の共有							
							
開催日	4月～3月	対象	教員（小中高特私学事務局）				定員 無制限 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	ICTを活用した授業動画を通じて、学習の質と効率を向上させることを目指す						
内容	ICTを活用した授業の動画を公開しています 授業動画は、4分から13分程度でまとめられています。教科に特化せずどのようにICTを活用して授業をおこなっているかを知ることができます。						
備考	・eラーニングで実施						

No.79 情報セキュリティ入門							
							
開催日	7月～12月	対象	教員（小中高特私学事務局）				定員 無制限 人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎教育業務遂行力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	
目標	①情報セキュリティの概要と個人情報の適切な取扱方法について理解する。 ②自校で取り組める情報セキュリティ対策を知る。 ③情報セキュリティに対する意識を高める。						
内容	防ごう！情報セキュリティ事故！！ 学校は、個人情報の宝庫です。注意していても毎年多くの情報セキュリティ事故が起きています。研修をととして、情報セキュリティの現状や個人情報の適切な取扱方法について学び、情報セキュリティに対する意識を高めましょう！						
備考	・eラーニングで実施						

V 幼稚園等の教職員等を主な対象とする研修

幼児教育に関する研修です。「インクルーシブ保育研修」や「幼小接続期の教育・保育研修の研修」は小学校の先生方にも是非参加していただきたい研修です。参加希望の方は、幼児教育センター申込方法を御覧になり、各自申込をして下さい。

- | | | | |
|---|--|-------|----|
| 1 | 幼児教育センター主催の希望研修 | ----- | 88 |
| | No.80 インクルーシブ保育研修 | | |
| | No.81 乳幼児保育研修 | | |
| | No.82 幼小接続期の教育・保育研修 | | |
| | No.83 幼児理解研修 | | |
| | No.84 幼児教育マネジメント研修 | | |
| | ※中堅教諭等資質向上研修の対象者はそれぞれの研修の悉皆研修選択欄を御覧ください。 | | |
| 2 | 幼児教育センター主催の希望研修申込方法 | ----- | 90 |
| | ※毎年、幼児教育センター主催の研修と総合教育センター主催の研修を混同する方がおります。主催者が異なるため、申込方法もそれぞれ違いますのでお間違いないよう確認をお願いします。 | | |
| 3 | 総合教育センター等が主催する
幼稚園等の教職員等を対象とする研修 | ----- | 91 |

〈申込み〉

研修の申込みは、右の二次元コード又は下記のURLから申込みをしてください。

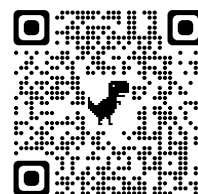
URL <https://forms.gle/HLvEd8XKkWXWwnAD8>

〈問合せ先〉

幼児教育センター

(電話)054-221-3287

(メールアドレス)kyoui_gimu@pref.shizuoka.lg.jp



No.80	インクルーシブ保育研修 中部							 【選択】 集合／リアルタイム	
開催日	7/27（木）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員	80 人	
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【幼】中堅教諭等		
目標	特別な配慮を必要とする幼児への理解を深め、指導力の向上を図る。 ①発達特性と支援方法を学び、それぞれの特性の違いに応じた効果的な関わり方や、ともに育ち合うクラスづくりについて考える。								
内容	特別な支援の必要な子供たちに寄り添う保育と インクルーシブ保育を踏まえたクラスづくりについて考えてみましょう！ 発達特性と支援法に関する知識を学び、それぞれの特性や違いに応じた効果的な関わり方、共に育ち合うクラスづくりについて考えます。研修で学んだことを、明日からの保育に生かせる内容を実施予定です。 ○ 講演「幼児期におけるインクルーシブ保育の在り方とは」（仮題） ○ 講師：常葉大学 准教授 赤塚めぐみ 氏 昨年度も県内の保育者に大好評の研修です。小学校の先生方においても参考になる内容です。								
備考	・会場：静岡県男女共同参画センター あざれあ								

No.81	乳幼児保育研修							【選択】 集合／リアルタイム	
開催日	9/1（金）	対象	教員（幼 小 中 高 特 私学 事務局）				定員	80 人	
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【幼】中堅教諭等		
目標	乳幼児の保育について理解を深め、保育の質の向上を図る。 ①講演を通して、乳幼児期の保育について学び、乳幼児期から幼児期や小学校教育へのつながりを踏まえた保育の在り方について考える。 ②講演やグループワークを通して、自分の保育を振り返り、今後の保育に生かしていこうとする意欲をもつことができる。								
内容	乳幼児期の育ちについて理解を深め、保育の在り方について考えます。 乳幼児期の保育に携わっている先生方の困り感に寄り添いながら、乳幼児期の保育の在り方について考え、理解を深めることを目指します。また、幼児期への円滑な接続を踏まえ、乳幼児期の保育を考えます。乳幼児期であっても、『幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿』を意識して保育をすることの大切さについても学びます。 ○ 講演「乳児保育を考える～体と心の主人公になる土台を創る～」 ○ 講師：あおぞらキンダーガーデン 園長 岡村由紀子 氏 昨年度も県内の保育者に大好評の研修です。小学校の先生方においても参考になる内容です。								
備考	・会場：静岡県総合教育センター								

No.82 幼小接続期の教育・保育研修							
【選択】 集合／リアルタイム							
開催日	9/26（火）	対象	教員（幼小中高特私学事務局）			定員	80人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○授業力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【幼】中堅教諭等
目標	幼児教育と小学校教育の学びのつながりについて理解を深め、現状よりも一歩進んだ幼小連携の実現を目指す。 ①講演を通して、幼児期の学びを小学校教育へ円滑につなげるための幼小の連携について学ぶ。 ②学んだことを基に、自園や自校等の取組について振り返り、今後の実践に生かそうとする意欲をもつ。						
内容	「幼保小の架け橋期」の学びのつながりについて理解を深め、幼保小連携の在り方についてともに考えましょう！ 10の姿を手がかりに「架け橋期」の学びのつながりについて理解を深めます。自園や自校等の今後の幼小接続の取組のヒントになる研修です。小学校の先生方においても、あそびを通して学ぶ幼児教育を小学校教育へつなぐ学びのつながりについて理解を深めることができます。校種関係なく多くの先生方におすすめの研修です。 ○ 講演「子供主体の円滑な幼小接続とは ～10の姿をつなぐ～」 ○ 講師：静岡福祉大学 講師 宮村典雄 氏 ○ 演習「自園・自校等の幼小接続を考える」（仮） 講義を通して、文部科学省における「幼児教育スタートプラン」や「幼保小の架け橋プログラム」についても、理解を深めます。小学校の先生方にもおすすめの研修です。						
備考	・会場：静岡県総合教育センター						

No.83 幼児理解研修 ～エピソード記録と保育～ 中部							
【選択】 集合／リアルタイム							
開催日	10/6（金）	対象	教員（幼小中高特私学事務局）			定員	80人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ○生徒指導力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択	【幼】中堅教諭等
目標	幼児期の子供たちの表れの効果的な見方を学び、幼児理解をより深める。 ①講義・演習を通して、子供たちの様々な表れについて理解し、明日の保育につながる記録の取り方を知る。 ②保護者とともに幼児理解するために、家庭との効果的な連携の在り方について考える。						
内容	日々の子供たちの表れをどう見取るか… 明日の保育につながる効果的な記録について一緒に学びましょう！ 多忙な保育現場の中でも、子供たちの表れをしっかりと見取り、幼児理解や保育に生かすことのできる記録について学びます。記録を元に、幼児理解を深め、環境の再構成や子供たちへの関わり方等について考えます。また、家庭とともに幼児理解をしていくために、家庭との連携の在り方についても考え、日々の保育に生かすことを目指します。 ○ 講演「幼児理解につながる子供の表れの見取り方とエピソード記録」（仮題） ○ 講師：静岡大学 教授 田宮 緑 氏 ○ 講義・演習「家庭との連携の在り方 ～家庭とともに幼児理解を～」 ○ 講師：静岡県教育委員会社会教育課 教育主幹等 講義・演習を通して、参加者同士の交流や情報交換をします。自分自身の実践を振り返りながら、理解を深めます。						
備考	・会場：静岡市内						

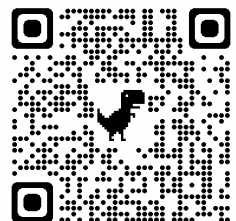
No.84	幼児教育マネジメント研修 中部						【選択】 集合／リアルタイム	
開催日	10/27（金）	対象	管理職（幼小中高特私学事務局）				定員	80人
発揮向上を目指す資質能力	○教育的素養・総合的人間力 ◎組織運営力	キャリアステージの目安	基礎・向上期	充実・発展期	深化・熟練期	悉皆研修選択		
目標	保育者の人材育成や園等の運営業務改善につながるマネジメントスキルを身に付ける。 ①講義・演習を通して、自園等の保育者の人材育成や教育課程、安全管理等自園の園経営を振り返り成果や課題を整理したり、自園等をより活性化させるための方策について考えたりする。							
内容	魅力的な園づくりのために管理職として今すべきことや 保育の質の向上を目指した人材育成について、ともに考えましょう！ 保育の質の向上を目指した人材育成や安心・安全な園運営の実現のために管理職としてどのようにアプローチしていけばよいか等、講義・演習を通してじっくり考え学びます。 ○ 講演「保育の質の向上を目指すマネジメントとは」（仮題） ○ 講師：静岡大学 教授 田宮 縁 氏 保育者に求められる資質・能力を踏まえた人材育成の方法、組織の危機管理・安全管理体制の整備等について学びたい県内幼児教育施設の管理職の方におすすめの研修です。							
備考	・会場：静岡市内 ・管理職研修							

2 幼児教育センター主催の希望研修(No.80～84) 申込方法

★申込方法★

右にある二次元コードまたは下記のURLから申し込む。

<https://forms.gle/HLvEd8XKkWXWwnAD8>



【問合せ】 幼児教育センター

（電話） 054-221-3287

3 総合教育センター等が主催する幼稚園等の教職員等を対象とする研修

- 研修No.は、P.25～28の「希望研修一覧」、P.34～70「希望研修案内」の研修No.と同じです。
 それぞれの研修の詳細は、下表「詳細ページ」欄に記載のページで確認してください。
 ○ 備考欄の「中堅研」欄に「○」印があるものは、「中堅教諭等資質向上研修(選択研修)」として選択できるものです。

研修 No.	研 修 名		開催日	職 種	中 堅 研	詳細 ページ
マネジメントに関する研修（総合教育センター主催研修）						
2	マネジメント講座3－学校の経営ビジョンづくりと共有化－		10/24（火）	・ 園長 ・ 副園長 ・ 教頭		35
3	マネジメント講座4－組織の活性化と管理者の役割－		9/19（火）			35
4	マネジメント講座5－職場における人材育成－		1/19（金）			36
特別支援教育に関する研修（総合教育センター主催研修）						
48	障害のある子どもの保護者支援-基礎的理解から支援の実際へ-		7/7（金）	教職員	○	57
49	子どもの困難さへのアプローチ-発達を支える指導の充実-		7/11（火）	教職員	○	58
51	特別支援教育における1人1台端末を活用した学びの充実	ハイブリッド	9/5（火）	教職員		59
幼児理解や保育技術向上に生かせる研修（総合教育センター主催研修）						
53	教育相談スキルアップ研修1-信頼関係を築く教育相談の基本姿勢-	東部	6/21（水）	教職員	○	60
55	教育相談スキルアップ研修3-保護者との効果的な教育相談-		11/2（木）	教職員	○	61
61	人権課題を「知る」「見つめる」「感じる」研修	オンライン	12/15(金)午後	教職員	○	64
65	子どもの「学びに向かう力」を支える非認知能力涵養研修	オンライン	8/23(水)午後	教職員	○	66
教育の情報化に関する研修（教育D X推進課主催研修）						
68	(三島長陵・8月2日) ICT活用研修 (入門編)		8/2(水) 午前	教 員		81
69	(センター・7月24日) ICT活用研修 (入門編)		7/24(月) 午前	教 員		81
70	(三島長陵・8月2日) ICT活用研修 (基礎編)		8/2(水) 午後	教 員		82
71	(センター・7月24日) ICT活用研修 (基礎編)		7/24(月) 午後	教 員		82
幼児理解や保育技術向上に生かせる研修等（幼児教育センター主催研修）						
80	インクルーシブ保育研修	ハイブリッド	7/27（木）	教職員等	○	88
81	乳幼児保育研修	ハイブリッド	9/1（金）	教職員等	○	88
82	幼小接続期の教育・保育研修	ハイブリッド	9/26（火）	教職員等	○	89
83	幼児理解研修～エピソード記録と保育～	ハイブリッド	10/6（金）	教職員等	○	89
84	幼児教育マネジメント研修	ハイブリッド	10/27（金）	教職員等		90

VI 悉皆・推薦による研修

経験段階や、職務に応じた教職員全員が受講する悉皆研修、推薦により指定された教職員が受講する推薦研修があります。

1	教員の悉皆研修	-----	93
(1)	小・中学校年次別研修	-----	93
(2)	高等学校年次別研修	-----	95
(3)	特別支援学校年次別研修	-----	97
(4)	職務に応じて該当教職員が受ける研修	-----	99
(5)	年齢に応じて該当教員が受ける研修	-----	100
2	事務職員の悉皆研修	-----	101
(1)	経験段階に応じて全員が受ける研修	-----	101
(2)	職務に応じて該当職員が受ける研修	-----	101
3	推薦研修	-----	102

1 教員の悉皆研修

(1) 小・中学校年次別研修

ア 初任者研修

回次	開催日(★はセンター外会場)		日数	研修の概要
	静西	静東		
第1回	4/3(月)	★4/3(月)	1日	辞令伝達式
第2回	5/25(木)	★5/18(木)	1日	教員の勤務・服務・給与、1か月の振り返り、接遇・マナー、学級経営
第3回	中：6/8(木)～9(金)		2日	生徒指導、教育相談、子ども・保護者との基本的な接し方、授業づくりの基本、教科別研修
	小：6/14(水)～15(木)	小：6/22(木)～23(金)		
第4回	7/27(木)	★7/28(金)	1日	人権教育、特別支援教育、メンタルヘルス、外国語教育(小)・授業における安全管理(中)、4か月の振り返り
第5回	8/9(水)	8/10(木)	1日	教科別研修
第6回	中：10/4(水)～5(木)		2日	特別活動、道徳教育、総合的な学習の時間、教育の情報化、身体表現活動
	小：10/12(木)～13(金)	小：10/26(木)～27(金)		
第7回	★11/9(木)	★11/30(木)	1日	公開授業参観、研究協議
第8回	1/18(木)	★1/25(木)	1日	課題研究実践報告会、1年間の振り返り・今後の決意
この他に、市町教育委員会主催の研修及び校内研修があります。				

イ 6年次研修

回次	開催日	日数	研修の概要
全体研修Ⅰ	5/30(火)	1日	教科別研修
全体研修Ⅱ	10/17(火)	1日	教科別研修
この他に、選択研修(希望研修から1つ選択)、所属校授業実践Ⅰ及びⅡがあります。 希望研修の申込方法についてはP.29を参照してください。(申込前に、希望研修一覧表(P.25～)の選択欄や該当する希望研修案内ページ(P.34～)の内容及び備考欄を必ず確認してください。)			

ウ 中堅教諭等資質向上研修

回次	開催日(★はセンター外会場)		日数	研修の概要
	静西	静東		
第1回	5/23(火)	5/24(水)	1日	中堅教諭に求められるもの、学校組織マネジメント、教育相談、10年間の振り返り
第2回	5/31(水) AM：小 PM：中	★6/2(金) AM：小 PM：中	集合 半日	勤務・服務 特別支援教育、キャリア教育(オンデマンド)
第3回	＊A：6/29(木)		1日	教科別研修、学校と警察の連携
	＊B：6/30(金)			
第4回	10/3(火)	★10/6(金)	1日	ミドルリーダーの役割、メンタルヘルス、コーディネート
第5回	11/16(木)	11/17(金)	1日	教科別研修、今後の展望
この他に、社会体験研修、異校種体験、校内研修があります。				

＊A：国語、生活、体育／保健体育、図画工作／美術、外国語

＊B：社会、算数／数学、理科、音楽、技術・家庭

※研修を受講する上で、特に身体的理由等による配慮を必要とする場合は、研修担当者まで御相談ください。

(2) 高等学校年次別研修

ア 初任者研修

回次	開催日(★はセンター外会場)	日数	研修の概要
第1回	5/10(水)	1日	教職員の服務・モラル、メンタルヘルス、接遇・マナー、1か月を振り返る
第2回	6/1(木)	1日	授業の基礎技術、授業改善、教科別研修
第3回	7/25(火)～26(水)	2日	部活動指導、特別支援教育、生徒指導、教育相談、ファシリテーション
第4回	9/7(木)	1日	キャリア教育、特別活動、教科別研修
第5回	10/19(木)～20(金)	2日	教育の情報化、人権教育、身体表現活動、道德教育、ホームルーム経営
第6回	★教科毎に定める 1日(11月)	1日	教科別研修
第7回	1/12(金)	1日	総合的な探究の時間、教科別研修
第8回	2/6(火)	1日	教科別研修、1年間を振り返る
この他に、校内研修及び自主研修があります。			

イ 2年次研修

回次	開催日	日数	研修の概要
—	6/16(金)	1日	ホームルーム経営、チーム研修の活動報告、教科別研修
この他に、校内研修及び自主研修があります。			

ウ 3年次研修

回次	開催日(★はセンター外会場)	日数	研修の概要
—	★教科毎に定める 1日(10月)	1日	合同教科別研修(6年次研修者、中堅教諭等資質向上研修者と合同実施)、チーム研修の活動報告
この他に、校内研修及び自主研修があります。			

エ 6年次研修

回次	開催日(★はセンター外会場)	日数	研修の概要
第1回	5/17(水)	1日	教科別研修
第2回	★教科毎に定める 1日(10月)	1日	合同教科別研修(3年次研修者、中堅教諭等資質向上研修者と合同実施)、チーム研修の活動報告
この他に、校内研修及び自主研修があります。			

オ 7年次研修

校内研修及び自主研修があります。

カ 8年次研修

回次	開催日	日数	研修の概要
—	1/24(水)	1日	今後の教育改革の方向性、これまでの成果と今後の教員生活
この他に、校内研修及び自主研修があります。			

キ 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ期

回次	開催日	日数	研修の概要
第1回	6/12(月)～13(火)	2日	教育法規、学校組織マネジメントの基礎、学校内外の環境分析、学校と警察の連携、カリキュラムマネジメントの導入、教科別研修
第2回	★教科毎に定める 1日(10月)	1日	合同教科別研修(3年次研修者、6年次研修者と合同実施)、チーム研修の活動報告
第3回	11/7(火)	1日	特別支援教育、教育相談、コーディネート
この他に、校内研修及び社会体験研修があります。			

ク 中堅教諭等資質向上研修Ⅱ期

回次	開催日	日数	研修の概要
第1回	6/27(火)	1日	教科別研修
第2回	1/11(木)	1日	社会体験研修及び自主研修報告会、組織におけるミドルリーダーとしての役割
この他に、校内研修及び自主研修があります。			

ケ フォローアップ研修

回次	開催日	日数	研修の概要
—	4月～2月	2日	自己のキャリアデザインに応じ、自律的、主体的に研修を計画、実施

※研修を受講する上で、特に身体的理由等による配慮を必要とする場合は、研修担当者まで御相談ください。

(3) 特別支援学校年次別研修

【悉皆研修】

ア 初任者研修

回次	開催日(★はセンター外会場)	日数	研修の概要
第1回	5/9(火)	1日	静岡県の特支援教育、授業づくり、職場における人間関係づくり 等
第2回	★東部地区 ★中部地区 ★西部地区 } 6/13(火)	1日	地区別研修(特別支援学校にて) 学校概要説明、校長講話、授業参観、研究協議 等
第3回	8/7(月)～8(火)	2日	勤務・服務、特別支援学校教員に求められていること、教育相談、教育の情報化、授業づくり 等
第4回	10/10(火)～11(水)	2日	特別支援学校における危機管理、職場における人間関係づくり、人権教育、メンタルヘルス、授業の振り返り等
第5回	★視覚・聴覚・病弱 ★知的(東部地区) ★知的(中部地区) ★知的(西部地区) ★肢体不自由 } 11/7(火)	1日	障害別研修(特別支援学校にて) 校長挨拶、学校概要説明及び対象障害種への教育について、授業参観、研究協議 等
第6回	★東部地区 ★中部地区 ★西部地区 } 12/5(火)	1日	地区別研修(小学校にて) 学校概要説明、校長講話、授業参観、研究協議 等
第7回	1/23(火)	1日	先輩教員の実践に学ぶ、指導教員からのアドバイス、初任者研修の自己評価と今後に向けて 等

この他に、校内研修及び校外研修(自主研修等)があります。自主研修として、センターの希望研修を2日分選択してください。選択の際は、少なくとも1日は集合研修とすること、半日研修の場合は2つ選択で1日分とすることに注意してください。申込方法についてはP.29を参照してください。(申込前に、希望研修一覧表(P.25～)の選択欄や該当する希望研修案内ページ(P.34～)の内容及び備考欄を必ず確認してください。)

イ 2年次研修

回次	開催日	日数	研修の概要
—	5/19(金)	1日	学校経営への参画、問題解決の方法 等

この他に、校内研修及び自主研修があります。

ウ 6年次研修

回次	開催日	日数	研修の概要
第1回	5/29(月)	1日	学習指導要領、特別支援教育の現状と課題、授業づくり 等
第2回	12/14(木)	1日	人権教育、リーダーシップ、生徒指導、授業づくり、実践と省察、今後の課題について 等

この他に、校内研修及び校外研修(自主研修等)があります。自主研修として、センターの希望研修を1つ選択してください。その際、必ず集合研修を選択すること、半日研修の場合は2つ選択で1日分とすることに注意してください。申込方法についてはP.29を参照してください。(申込前に、希望研修一覧表(P.25～)の選択欄や該当する希望研修案内ページ(P.34～)の内容及び備考欄を必ず確認してください。)

エ 中堅教諭等資質向上研修Ⅰ期

回次	開催日	日数	研修の概要
第1回	6/20(火)～21(水)	2日	教育法規、学校組織マネジメントの基礎、学校と警察の連携、特別支援教育の現状と課題、学習指導要領 等
第2回	10/18(水)	1日	人権教育、今後の目指す教師像 等
第3回	11/24(金)	1日	メンタルヘルス セルフケアとラインケア,教育相談 等

この他に、校内研修及び社会体験研修があります。

オ 中堅教諭等資質向上研修Ⅱ期

回次	開催日	日数	研修の概要
第1回	6/28(水)	1日	リーダー研修活動報告、授業づくり 等
第2回	1/11(木)	1日	社会体験研修及び自主研修報告会、組織におけるミドルリーダーの役割 等
この他に、校内研修及び自主研修、社会体験研修があります。			

【希望研修】

カ フォローアップ研修		対象	＊「ウ」が未修了で「エ」を受講していない者
回次	開催日	日数	研修の概要
—	5/29(月)	1日	学習指導要領、特別支援教育の現状と課題、授業づくり等
「ウ 6年次研修（第1回）」と合同の開催。			

キ ステップアップ研修		対象	＊「ウ」を修了し「エ」を受講していない者
回次	開催日	日数	研修の概要
—	6月～2月	1日	総合教育センターの希望研修(6年次研選択可能なもの)から1つ選択する。
※選択できるのは1回のみ。選択肢についてP.25～27「希望研修一覧」の「6年次研対象」と同様。			

◆研修についての御案内◆

- ◇上記の掲載内容は、センターでの実施研修です。各研修内容の詳細や実施時期については、各校に配布される研修実施要項等を参照してください。
- ◇「カ フォローアップ研修」は、「ウ 6年次研修」を修了していない方が、希望できます。
- ◇「キ ステップアップ研修」は、「ウ 6年次研修」の修了後、研修を積んで自らのステップアップを図りたい方に向けて設定しています。受講できる回数は1人につき1回です。
- ◇「カ」と「キ」は希望研修です。受講の申し込みについては、当該研修の通知等を参照してください。

【年次別研修等の基本実施時期】

1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	7年次	8年次	9年次	10年次	11年次	12年次
初任者研修	2年次研修	3年次研修*			6年次研修	フォローアップ・ステップアップ研修(希望研修)				中堅研Ⅰ期	中堅研Ⅱ期

＊3年次研修はセンターでの研修はありません。

※研修を受講する上で、特に身体的理由等による配慮を必要とする場合は、研修担当者まで御相談ください。

(4) 職務に応じて該当教職員が受ける研修

No.	研 修 名	対 象	開 催 日	日数
1	新任校長研修(小・中)	小・中	① 4/19(水) ② 静西 : 4/20 (木) 静東 : 4/25 (火) ③ 9/12(火) : マネジメント講座1	3日
2	新任校長研修(高・特)	高・特	① 4/12(水) ② 9/12(火) : マネジメント講座1 ③ 次年度「マネジメント講座2～6」から選択	3日
3	新任教頭研修(小・中)	小・中	① 5/8(月) ② 静西 : 5/9(火) 静東 : 5/17(水)	2日
4	新任副校長研修(高・特)	高・特	① 5/16(火) ② 「マネジメント講座2～6」から選択。 初めて管理職となった者は「マネジメント講座2」を必修とする。 ③ 次年度「マネジメント講座2～6」から選択	3日
5	新任教頭研修(高・特)	高・特	① 5/16(火) ② 5月～8月の1日 : マネジメント講座2 ③ 次年度「マネジメント講座3～6」から選択	3日
6	中学校体育指導者講習会	中・特	静西 8/3(木) 静東 8/4(金)	半日
7	高等学校 保健体育科主任研修会	高	4/17(月)	1日
8	高等学校 体育指導者講習会	高	8/2(水)	1日
9	公立高等学校 研修主任研修	高	4/18(火)	半日
10	高等学校産業教育実技講習会 (商業)	高	12/1(金)	1日

No.	研 修 名	対 象	開 催 日	日数
11	商業実習研修会	高	12/4(月)	1日
12	工業実習研修会	高	12/4(月)	1日
13	農業・水産実習研修会	高	1/19(金)	1日
14	産業教育専門研修	高	I期 6/20(火) II期 8/23(水)	2日
15	公立高等学校 教諭(実習)初任者研修	高	5/10(水)	1日
16	静岡県の生徒指導 研究協議会	小・中	静西 5/19(金) 静東 5/26(金)	1日
17	静岡県高等学校 教育課程研究集会	高・特	7月～8月	1日
18	公立高等学校 任期付教員等研修	高	4/28(金)	1日
*	マネジメント講座1	新任校長	9/12(火)	1日
*	マネジメント講座2 (オンデマンド研修)	新任管理職 高・特	5月～8月(新任管理職)	1日

(5) 年齢に応じて該当教員が受ける研修

No.	研 修 名	対 象	開 催 日	日数
1	キャリアデザイン研修Ⅰ (高・特)	高・特	① 7/4(火) ② 2/1(木)	2日
2	キャリアデザイン研修Ⅱ (高・特)	高・特	東部 11/28(火) 西部 11/10(金)	1日

※キャリアデザイン研修Ⅰは年度末年齢40歳、キャリアデザイン研修Ⅱは年度末年齢50歳の方が対象です。
※研修を受講する上で、特に身体的理由等による配慮を必要とする場合は、研修担当者まで御相談ください。

2 事務職員の悉皆研修

(1) 経験段階に応じて全員が受ける研修

No.	研 修 名	対 象	開 催 日	日数
1	新規採用職員研修（小中事務・司書）	・小中学校事務 ・司書	I 期 4/10(月)～11(火) II 期 7/11(火) III 期 9/25(月)～26(火)	5 日
2	経験3年職員研修（小・中）	・小中学校事務 ※1	I 期 10/25(水) II 期 11/10(金)	2 日
3	教育行政新任職員研修	・行政 ※2 ・小中学校事務	5/26(金)	1 日

※1 在職期間が3年に達した職員（主任級昇任者は除く）

※2 教育委員会に配属された新規採用職員及び他部局から初めて学校に出向した職員（行政職給料表級別職務区分表における職務の級6級第1号以上の者は除く）

(2) 職務に応じて該当職員が受ける研修

No.	研 修 名	対 象	開 催 日	日数
1	教育キャリア開発セミナーⅠ	・教育行政 ※1 ・小中学校事務	共通研修：5/15(月) 職層別研修：9/8(金) 選択研修：マネジメント講座9・10から1研修を選択必修とする	2 日 1 日
2	教育キャリア開発セミナーⅡ	・教育行政 ※2 ・小中学校事務	共通研修：5/15(月) 職層別研修：7/24(月) 選択研修：マネジメント講座9・10から1研修を選択必修とする	2 日 1 日
3	教育キャリア開発セミナーⅢ	・教育行政 ※3 ・小中学校事務	共通研修：5/15(月) 職層別研修：6/19(月) 選択研修：「マネジメント講座3～5」から1研修を選択必修とする	2 日 1 日

※1 主任級昇任者

※2 主査級昇任者

※3 班長級昇任者

このほか、他部局から出向している行政職員のうち希望者も受講できます。

行政職員・教育行政職員については、上の研修のほか、自治研修所が主催する研修の対象となる場合があります。

※研修を受講する上で、特に身体的理由等による配慮を必要とする場合は、研修担当者まで御相談ください。

3 推薦研修

No.	研 修 名	対象	開 催 日	日数
1	マネジメント研修	小・中・高・特	I 期 6/5(月)～7(水)	教員 9 日 事務 職員 8 日
			II 期 7/12(水)～13(木) ※事前eラーニングあり	
			III 期 9/29(金) ※小・中・義務教育学校の教員のみ	
			IV 期 12/6(水)～8(金)	
			次年度 マネジメント講座9を選択必修とする ※高等学校、特別支援学校教員のみ	
2	キャリアデザイン 研修Ⅰ（小・中）	小・中	① 7/5(水) 静東	2 日
			② 2/7(水) ① 7/7(金) 静西 ② 2/2(金)	
3	キャリアデザイン 研修Ⅱ（小・中）	小・中	静東 11/29(水)	1 日
			静西 11/21(火)	
4	「主体的・対話的で深い学び」 を支える授業研究―個別最適な 学びと協働的な学びの一体的な 充実に向けて―	小・中・高・特	① 7/6(木)	2 日
			② 12/11(月)	
5	生徒指導総合研修	小・中・高・特	I 期 7/3(月)～5(水)	7 日
			II 期 9/14(木)～15(金)	
			III 期 11/27(月)～28(火)	
6	地域とともにある学校づくり研 修 ～「社会に開かれた教育課 程」の実現を目指して～	小・中	7/11(火)	1 日
7	1人1台端末環境下における多 様なメディア活用 -学校図書 館活用研修-	小・中	7/5(水)	1 日
8	公立高等学校会計 年度任用職員（非常勤講師）研 修	高	5/13(土)	1 日

※研修を受講する上で、特に身体的理由等による配慮を必要とする場合は、研修担当者まで御相談ください。

VII 欠席等の手続

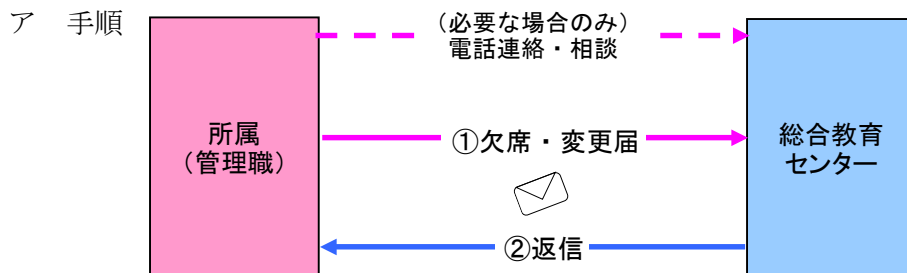
欠席・変更等の手続について	-----	104
★欠席・変更届	-----	105

1 欠席・変更等の手続について

(1) 総合教育センターが主催する研修

研修を欠席・変更する場合は、事由がわかり次第、管理職からメールで「欠席・変更届」を提出してください。電話連絡は原則不要としますが、各研修主催者が必要とする場合及び当日の欠席・遅刻については電話連絡をしてください。

※悉皆研修及び推薦研修の欠席は、今後の研修に影響が出る場合があるため、各学校において慎重に判断するとともに、必要に応じて提出前にセンターに問い合わせてください。



- ① 管理職は「欠席・変更届」をメールで提出してください。
- ② メールが確認でき次第、本センターから受領した旨を返信します。
※メールの返信を必ず確認してください。返信がない場合は受理ができていない可能性がありますので、一週間以内に返信がない場合はセンターへ御連絡ください。

イ 注意点

- ・必ず管理職から提出・連絡をしてください。
- ・交通機関の遅れに伴う遅刻等の場合は、電話連絡のみとし、欠席・変更届の提出は不要です。
- ・実施要領や要項等で欠席等に関する手続が別に定められている場合は、その案内に従ってください。

ウ 連絡・提出先

(担 当) 静岡県総合教育センター総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班
(メールアドレス) centerkensyu@pref.shizuoka.lg.jp
(電 話) 0537-24-9706

※受付時間8:30～12:00, 13:00～17:00

欠席・変更届はこちらからダウンロードしてください。

リンク

研修によって、欠席等の連絡方法が異なります。
必ず実施要項等を御確認ください。

(2) 教育DX推進課が主催する研修

研修を欠席する場合には、管理職から電話で連絡をお願いします。

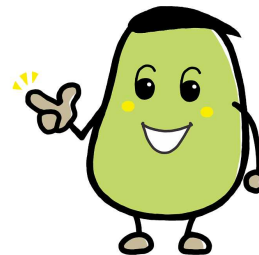
(担当) 教育DX推進課 (電話) 054-221-3391・3239

(3) 幼児教育センターが主催する研修

研修を欠席する場合には、右の二次元コードまたは下記のURLから連絡してください。

<https://forms.gle/NqAxPMGoRcVRkgHw6>

(担当) 幼児教育推進室



欠席・変更届

令和 年 月 日

静岡県総合教育センター所長 様

所 属 名

所属長氏名

電 話 番 号

下記のとおり提出します。

記

研 修 名															
研 修 日			年		月		日	～			年		月		日
職 員 番 号															
職 名															
研 修 員 番 号															
フリガナ															
氏 名															
内 容															
理 由															

水色のセルに御入力ください

※年間複数回実施の研修について、特定回を欠席する場合は研修名「第〇回～研修」等と記入する。

※改姓の場合は、旧姓と新姓を記入する。なお、氏名欄は新姓とする。

※欠席等理由がその他の場合は、具体的理由を記入する。

※悉皆研修及び推薦研修の欠席は、今後の研修に影響が出る場合があるため、各学校において慎重に判断するとともに、必要に応じて提出前にセンターに問い合わせること。

VIII 学校等支援研修

学校等が主催する自主的な研修に指導主事等が訪問し、学校づくり・授業づくりを支援します。

学校等支援研修	-----	107
---------	-------	-----

1 支援内容

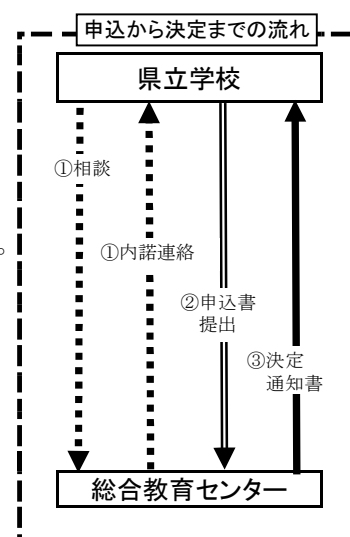
分野	支援内容(例)
マネジメント等	○ファシリテーション ○学校のビジョンづくり ○コーチング ○職場における人材育成 ○チームビルディング
学習指導等	○教科指導 ○特別活動、総合的な学習（探究）の時間 ○学習指導（「主体的・対話的で深い学び」の実現、学習評価等）
特別支援教育等	○インクルーシブ教育システムの理念の構築に向けた特別支援教育の推進 ○障害特性や困難さに対する理解と支援方法 ○特別支援教育の視点を生かした授業づくり ○ユニバーサルデザインの視点を取り入れた生活づくり・授業づくり
教育の情報化等	○授業におけるICT活用 ○プログラミング教育 ○情報モラル教育
学校図書館等	○主体的な学びを支える学校図書館づくり（運営、配架、選書、読書支援の方法等）
生徒指導等	○生徒指導 ○人間関係づくり ○いじめの未然防止
教育相談等	○児童生徒、保護者との教育相談の基本と演習 ○教職員の観察力の向上（不登校の未然防止、早期発見・早期対応） ○ケース会議の手法（アセスメントとプランニングによる不登校支援）
進路指導等	○進路指導 ○キャリア教育 ○進路シラバス

2 県立高等学校及び特別支援学校への支援

- ① 依頼したい内容、実施希望日時等について、学校等の担当者は総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班に電話で相談してください。
電話番号 0537-24-9706
- ② センターから内諾の連絡を受けた後、学校等の担当者は総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班へメールで「学校等支援研修申込書」を送信してください。
(メールアドレス) centerkensyu@pref.shizuoka.lg.jp
申込様式は、こちらからダウンロードしてください。

[リンク](#)

- ③ センターは「学校等支援研修決定通知書」を担当者宛てにメールで送付します。



3 小・中学校、市町教育委員会等への支援

小・中学校、市町教育委員会等への支援の申込については、市町教育委員会を通し、教育事務所に相談ください。また、センターが行う「1 支援内容」にある支援を御希望の場合も同様に、センターに問い合わせる前に教育事務所に御相談ください。

留意点

- (1) 4月3日(月)から申込みを開始します。その後は、随時申込が可能です。研修実施日の1か月前までに申込書を送付してください。
- (2) 決定通知書が送付された後、訪問する職員と事前に打合せを行ってください。
企画・運営は学校等の担当者をお願いします。研修会場については、学校等が希望する場所で行います。センターで実施することも可能ですが、事前に施設利用申請が必要です。
- (3) センター業務に支障がある場合には、学校等支援研修に対応できないこともあります。対応できない場合でも、他機関の紹介や資料の提供が可能なこともあります。問合せの際に確認してください。
- (4) 訪問するセンター職員の旅費の負担先については、相談の上で決定します。
- (5) 申込後、実施できなくなった場合には、訪問するセンター職員に必ず電話で連絡してください。

研修管理システム

[リンク](#)



※総合教育センターHPからも開くことができます

研修管理システム各種マニュアル

[リンク](#)



【教職員用マニュアル】		
(1) ログイン・初期設定	(2) 受講申込	(3) eラーニング受講方法
(4) 履歴確認	(5) PWリセット方法（県立）	

【管理職用マニュアル】		
(1) PWリセット方法（小中）	(2) 受講申込承認	(3) 所属長による受講者推薦
(4) 所属長による履歴確認	(5) 申込状況の確認方法	

欠席・変更届ダウンロード

[リンク](#)



学校等支援研修ダウンロード

[リンク](#)



端末貸出 申込

[リンク](#)



（注意）端末の貸出は、会場が総合教育センターのみとさせていただきます。

ICTを活用した研修プログラム一覧表

No	研修名	令和5年度							教員のICT活用指導力(文科調査項目※)																	
		種類	形式			定員	対象	初級 中級 上級	回数	A				B				C				D				
			集合	オンライン	e- ラー ニング					1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
1	ICT活用研修(入門編)	希望	○			15	幼小中高特	初級	2回	○				○	○	○										
2	アプリケーションの使用方法	希望			○	-	小中高特	初級	-					○	○		○									
3	情報セキュリティ入門研修	希望			○	-	小中高特	初級	-													○		○		
4	初任者研修(小中学校) 講義「教育の情報化」(第6回)	悉皆	○			292	小中	初級	1回	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
5	情報モラル教育実践研修	希望		○		32	小中高特	初級	1回	○				○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	
6	高等学校共通教科「情報Ⅰ」基礎研修	希望	○			28	高特	初級	1回	○				○	○	○	○	○	高	○	○	○	○	○	○	
7	STEAM教育基礎研修	希望		○		20	中高	初級	1回	○				○	○		○	○	○	○	○				○	
8	GIGAスクール構想とICT機器を活用した授業改善実践研修(入門編)	希望	○			30	小中高特	初級	1回	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○					
9	小学校におけるプログラミング教育 実践研修	希望	○			24	小特	初級	1回	○				○	○	○	○				○				○	
10	1人1台端末環境下における多様なメディア活用 - 学校図書館活用研修 -	推薦希望	○			50	小中特	初級	1回	○						○		○							○	
11	GIGAスクール構想とICT機器を活用した授業改善実践研修(オンライン編)	希望		○		36	小中高特	中級	1回	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					
12	ICT活用研修(基礎編)	希望	○			18	幼小中高特	中級	2回	○	○			○	○											
13	ICT活用授業力向上研修(高校)	悉皆		○		88校	高	中級	2回	○						○		○			○	○	○	○	○	
14	ICT活用授業力向上研修(特支)	悉皆		○		39校	特	中級	1回	○				○	○			○								
15	新しい時代に向けたICT活用研修	希望	○			15	小中高特	中級	2回	○	○	○	○	○	○	○	○					○				
16	ICTを活用した授業動画の共有	希望			○	-	小中高特	中級	-	○				○	○											
17	技術・家庭科(技術分野)授業づくり研修	希望	○			10	中特	中級	1回	○					○	○	○	○	○			○	○		○	
18	個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けたICTの活用(発展編)	希望		○		100	小中高特	中級	1回	○		○	○	○	○	○		○			○				○	
19	GIGAスクールサポート研修	悉皆	○			467校	小中	中級	3回	○	○	○	○	○	○	○	○					○		○		
20	ICT活用研修(実践編)	希望	○			24	小中高特	上級	3回	○			○		○		○									
22	学校等支援研修(高校)	希望	○	○		-	高	-	-	依頼内容によって変更される																
23	学校等支援研修(特支)	希望	○	○		-	特	-	-																	
24	学校等支援研修(市町)	希望	○	○		-	小中	-	-																	

※ 教員のICT活用指導力の状況に関する調査項目

A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力	
1	教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用する。
2	授業で使う教材や校務分掌に必要な資料などを集めたり、保護者・地域との連携に必要な情報を発信したりするためにインターネットなどを活用する。
3	授業に必要なプリントや提示資料、学級経営や校務分掌に必要な文書や資料などを作成するために、ワープロソフト、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。
4	学習状況を把握するために児童生徒の作品・レポート・ワークシートなどをコンピュータなどを活用して記録・整理し、評価に活用する。
B 授業にICTを活用して指導する能力	
1	児童生徒の興味・関心を高めたり、課題を明確につかませたり、学習内容を的確にまとめさせたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。
2	児童生徒に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり、比較検討させたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して児童生徒の意見などを効果的に提示する。
3	知識の定着や技能の習熟をねらいとして、学習用ソフトウェアなどを活用して、繰り返し学習する課題や児童生徒一人一人の理解・習熟の程度に応じた課題などに取り組ませる。
4	グループで話し合って考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に、コンピュータやソフトウェアなどを効果的に活用させる。
C 児童生徒のICT活用を指導する能力	
1	学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能（文字入力やファイル操作など）を児童生徒が身に付けることができるように指導する。
2	児童生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり、目的に応じた情報や信頼できる情報を選択したりできるように指導する。
3	児童生徒がワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどを活用して、調べたことや自分の考えを整理したり、文章・表・グラフ・図などに分かりやすくまとめたりすることができるように指導する。
4	児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する。
D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力	
1	児童生徒が情報社会への参画にあたって自らの行動に責任を持ち、相手のことを考え、自他の権利を尊重して、ルールやマナーを守って情報を集めたり発信したりできるように指導する。
2	児童生徒がインターネットなどを利用する際に、反社会的な行為や違法な行為、ネット犯罪などの危険を適切に回避したり、健康面に留意して適切に利用したりできるように指導する。
3	児童生徒が情報セキュリティの基本的な知識を身に付け、パスワードを適切に設定・管理するなど、コンピュータやインターネットを安全に利用できるように指導する。
4	児童生徒がコンピュータやインターネットの便利さに気づき、学習に活用したり、その仕組みを理解したりしようとする意欲が育まれるように指導する。

あすなろ学習室

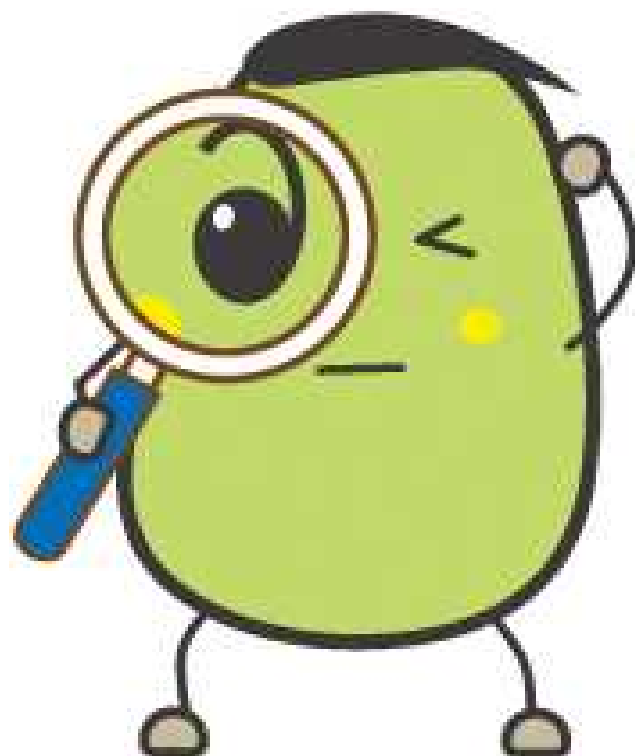
「あすなろ学習室」は、総合教育センターが発信している、誰でも、いつでも自由に学べる場です。

「あすなろ学習室」の中にある教材や問題、アイデアを生かして、新しい教材開発や、新しい授業スタイルの実践にお役立てください。

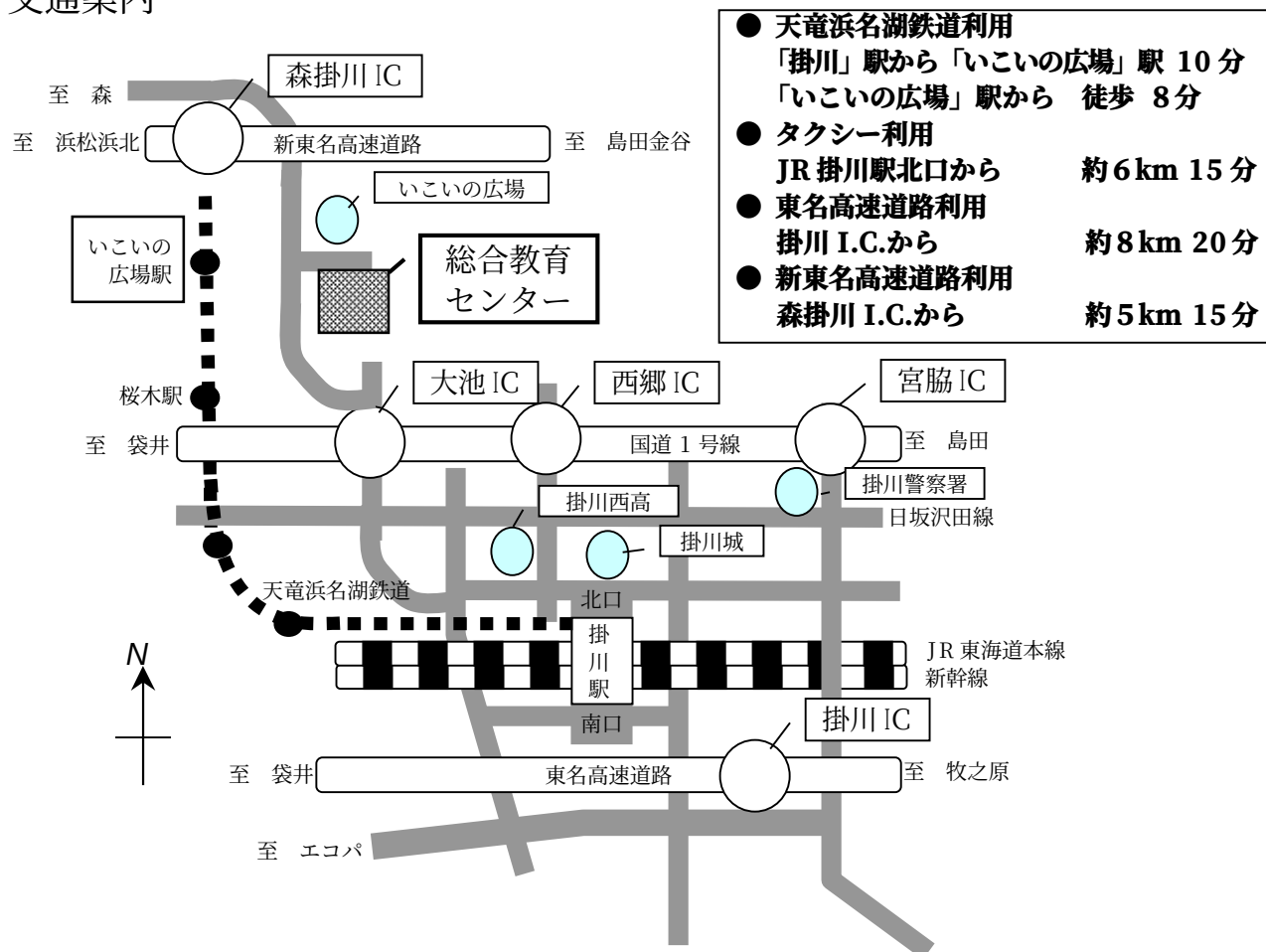


こちらからチェック！

<https://gakusyuu.shizuoka-c.ed.jp/index.html>



交通案内

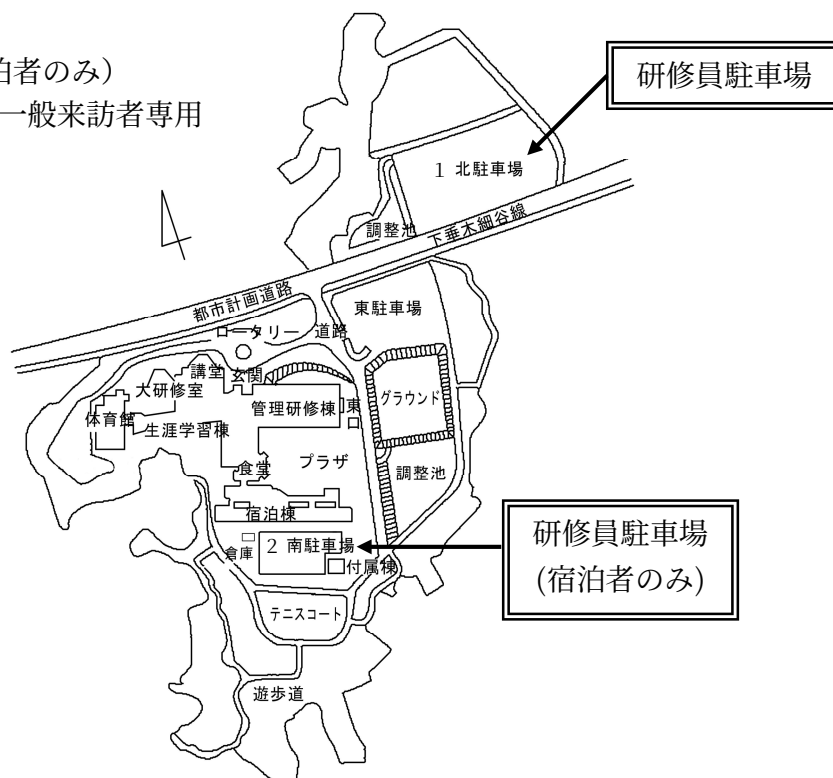


研修員駐車場案内

研修員駐車場

- 1 北駐車場
- 2 南駐車場（宿泊者のみ）

注）東駐車場は、一般来訪者専用



研修の申込み等に関する問合せ先

総務企画・ICT推進課 企画・ICT推進班

TEL 0537-24-9706

E-mail centerkensyu@pref.shizuoka.lg.jp^{エル}

センター各課問合せ先 ※受付時間 8：30～12：00, 13：00～17：00

総務企画・ICT推進課

総務管理班 TEL 0537-24-9700

企画・ICT推進班 TEL 0537-24-9706

生涯学習推進班 TEL 0537-24-9715

専門支援部

研修課 TEL 0537-24-9719

特別支援課 TEL 0537-24-9755

教育相談課 TEL 0537-24-9735

総合支援部

小中学校支援課 TEL 0537-24-9730

高等学校支援課 TEL 0537-24-9761

